

令和7年度

福島市の生涯学習・社会教育

福 島 市
福島市教育委員会

福島市民憲章

わたくしたちは、みどりにつつまれた信夫山と清い流れの阿武隈川をもつ福島市民です。

福島市は、地味豊かなしのぶの里に古くから開けた人情の美しいまちです。

わたくしたちは、平和で、さらに住みよく希望にみちたまちをつくるため、この市民憲章をさだめます。

- 1 空も水もきれいな みどりのまちをつくりましょう
- 1 教育と文化を尊び 希望に輝くまちをつくりましょう
- 1 親切で愛情あふれるまちをつくりましょう
- 1 きまりを守り、力をあわせて 楽しく働けるまちをつくりましょう
- 1 子どもからおとしよりまで安全で健康なまちをつくりましょう

昭和48年4月1日制定



市の木 ケヤキ



市の花 モモ



市の鳥 シジュウカラ

まえがき



福島市長 馬場 雄基

昨年12月の市長就任以来、物価高対策など目の前の課題に積極的に取り組んできました。今、日本は大きな構造変化の中にあります。AI等の技術進化、人口減少、気候危機も深刻です。公共施設更新期の集中、駅周辺空洞化など本市特有の課題や、東京一極集中、生活様式や地域経済の変化も重なり、課題は多様化、複雑化しています。

東日本大震災・原子力災害から15年を迎えます。災害の記録、教訓や復興を次世代へ継承するとともに、将来を見据えたさらなる発展へ向けて歩みを進めます。

新しいまちづくりは「次世代文教都市」を基本ビジョンに、ひとづくり、まちづくり、未来づくりが好循環を生み出す、豊かな経済都市を目指します。ともに前への基本姿勢のもと、今の暮らしの安心と未来への可能性を広げるため、変化を恐れず果敢に挑戦して未来を切り拓き、福島市をさらなる高みへと押し上げるべく、市政運営を進めてまいります。

令和8年3月



福島市教育委員会 教育長 佐藤 秀美

今年度は、「福島市教育振興基本計画」(R3～R7)の5年目となります。

施設予約システムの導入や、中央学習センターの市民センター内への移転新築、福島市子どもの夢を育む施設こむこむ館のリニューアルに向けた市民ワークショップの実施、放課後子ども教室「たっこ放課後クラブ」開講など本計画の各施策を着実に進めております。

生涯学習につきましては、「福島市生涯学習振興計画」(R3～R7)に基づき、社会情勢の変化に対応した様々な学習の推進や地域の持続的発展を支えてまいります。

目指す姿を「多様な学びの場において、市民一人一人が生涯にわたって主体的に学び、交流し、地域で支え合いながら心豊かに暮らしています」とし、人・つながり・地域を共に創る生涯学習を推進することで、つながりと支え合いのある、誰もが生き生きと暮らしやすい社会の実現を目指してまいります。

この度の「福島市総合計画」の期間1年延長に伴い、「福島市教育振興基本計画」及び「福島市生涯学習振興計画」の計画終期を令和7年度から令和8年度に変更いたします。新たに設定した目標値の達成を目指すとともに、次期計画策定についても引き続き進めてまいります。

令和8年3月

目 次

1 沿 革	1
2 本市の教育の目指す姿	5
3 教育委員会機構及び生涯学習・社会教育関係職員	8
4 社会教育施設等	9
5 学習センター位置図	10
6 予 算 概 要	11
7 生涯学習推進事業	12
8 社会教育事業	13
9 社会教育関係施設の概要	24
10 生涯学習・社会教育関係の委員と指導者	71
11 社会教育関係の各種団体	72
12 社会教育関係優良施設・団体表彰	73
13 福島市生涯学習推進本部設置要綱	74
14 福島市生涯学習活動推進員設置要綱.....	77
15 福島市生涯学習を進める市民会議設置要綱	78
16 福島市学習センター条例・施行規則・要綱	79
17 福島市社会教育関係団体認定基準	111
18 福島市社会教育館条例	112
19 市民学習プラン支援事業実施要綱	115
20 令和6年度福島市学習センター事業実施状況・使用状況一覧表	

福 島 市 の あ ら ま し

- ・ 市 制 施 行 明治 40 年4月
- ・ 地 域 東西 30.2 km・南北 39.1 km・面積 767.72 km²
- ・ 人 口 262,869 人(男 127,465 人・女 135,404 人)
- ・ 世 帯 数 124, 447 世帯

—令和7年4月1日現在—

1 沿 革

明治	40.4	市制施行、各施設に「福島市」を冠す
〃	41.9	市立図書館設置
大正	6.5	市公会堂新設
〃	10.	文部省で通俗教育を「社会教育」と改称
昭和	20.	文部省に社会教育局を設置
〃	21.12	中野村公民館、県下初の公民館として設置(旧、飯坂公民館中野分館)
〃	23.11	市公民館規則制定、市公民館設置
〃	24.6	社会教育法公布、市公民館条例公布
〃	26.6	市公民館に成人学校、青年学級、婦人学級開設
〃	26.10	市公民館の分館として、渡利、御山、森合、瀬上公民館を設置
〃	27.5	第1回全国公民館大会を市公会堂で開催
〃	27.9	仙台アメリカ文化センター福島分館を福ビル三階に創設
〃	27.11	市教育委員会を設置、社会教育係を置く、向鎌田公民館設置(分館)
〃	28.4	社会教育課(社会教育係、社会体育係)を置く
〃	29.4	余目公民館を設置(分館)
〃	30.4	町村合併により市公民館の分館として大波、笹谷、大笹生、吉井田、荒井、土湯公民館を設置
〃	30.12	市公民館に巡回文庫開設
〃	31.4	立子山、岡山、杉妻公民館を設置(分館)
〃	31.4	鎌田公民館設置(分館)
〃	31.5	南奥文化博物館寄贈、市公民館資料室所管展示(129㎡)
〃	32.4	佐倉公民館設置(分館)
〃	32.9	福島市児童館を設置(桜木町)、仙台アメリカ文化センター福島分館を併設
〃	33.7	市公民館で成人学校を市民教育講座として開設
〃	34.2	市公民館、公会堂を改築落成
〃	34.4	余目公民館にて、老人学級開設
〃	34.4	文化財調査委員、市史編纂委員を設置
〃	34.7	青少年の家設置(土湯)
〃	35.4	市公民館と各分館にて、夫妻学級開設
〃	35.4	社会教育委員を設置
〃	37.4	社会教育課が庶務係と指導係となり、社会体育係が課となる
〃	39.1	市公民館を中央公民館と改称 飯坂町合併により飯坂公民館を設置 中野、平野、湯野、東湯野、茂庭公民館を分館とする
〃	39.7	中央公民館に市民学校開設
〃	40.4	西公民館を設置 吉井田、荒井、土湯公民館を分館とする
〃	40.4	各公民館に、家庭教育学級開設
〃	41.6	町村合併により松川公民館、信夫公民館を設置
〃	42.4	市公民館設置条例を改正し、市内に中央、東、北、西、飯坂、松川、信夫公民館の7つの本館を設置する
〃	42.4	社会教育課に管理係、指導係、文化係を置き、市史編纂室を児童館内に設置する
〃	42.5	市民センターを飯坂町に竣工、飯坂公民館を併設する
〃	43.4	中央公民館を増改築し、敬老センター、少年センターを併設する
〃	43.4	市留守家庭児童会を設置する
〃	43.10	合併により吾妻公民館を設置
〃	43.10	合併により社会教育館(こぶし荘)を設置(高湯)
〃	45.3	東公民館落成 瀬上、鎌田を分館とする
〃	46.3	清水公民館落成
〃	46.4	青少年指導員設置(5名)、青年学級専任講師設置(4名)
〃	47.4	社会教育指導員設置(2名)
〃	47.10	婦人教育指導員設置(5名)
〃	47.11	児童館及び福島アメリカ文化センターを廃止し、児童文化センターを設置する
〃	48.6	湯野西原廃寺跡公園完成
〃	49.3	北公民館落成 大笹生公民館を分館とする
〃	50.10	蓬萊公民館落成
〃	50.11	松川公民館落成
〃	52.4	移動図書館を中央公民館内に設置

昭和	52.6	市内小学生を対象に「児童文化センター学習」を開設する
〃	53.3	三河台公民館落成
〃	54.3	杉妻公民館落成
〃	54.3	吾妻公民館落成
〃	54.4	分庁舎開庁により資料展示室設置、市史編纂室、移動図書館が中央公民館より分庁舎へ移設
〃	54.6	渡利公民館落成 郷土の森「民家園」着工
〃	54.10	松川公民館増改築落成
〃	55.4	県立文化施設(美術館、図書館)誘致決定
〃	55.11	公民館開放事業実施(12館)
〃	56.3	もちずり公民館落成
〃	56.4	民家園「旧奈良輪家」復原完成
〃	57.3	民家園「旧小野家」「旧寛家」復原、管理棟完成
〃	57.8	民家園開園
〃	57.11	音楽堂建設着工
〃	58.3	青少年の家廃止
〃	58.12	中央公民館駐車場整備
〃	59.3	民家園「旧渡辺家」「旧菅野家」復原完成
〃	59.3	音楽堂本体建設完成
〃	59.3	西公民館落成
〃	59.5	中央公民館改修
〃	59.7	県立文化施設(美術館・図書館)開館
〃	59.11	民家園「旧阿部家」復原完成
〃	60.2	民家園「旧佐久間家板倉」復原完成
〃	60.3	音楽堂パイプオルガン完成
〃	60.4	図書館開館
〃	61.3	福島市社会教育振興計画策定
〃	62.3	民家園長屋門落成
〃	62.4	機構改革により社会教育課文化係が文化課となる 福祉部児童家庭課青少年婦人係が社会教育課所管となる 公会堂、市民センター、少年センターが社会教育課所管となる
〃	62.10	伝統文化振興施設「草心苑」故山田英二氏富美夫人より寄贈される
〃	63.11	古関裕而記念館落成
平成	元.6	社会教育館「こぶし荘」改築落成(体育館、大型天体望遠鏡設置)
〃	元.9	市民センター廃止に伴い、飯坂公民館移設
〃	2.2	信夫公民館移転新築
〃	3.4	生涯学習推進指導員設置(1名)
〃	3.4	女性アカデミー開設
〃	3.11	第二次福島市社会教育振興計画策定
〃	3.11	市ふるさと創生事業「古関裕而音楽賞」制定
〃	4.5	福島市生涯学習推進本部設置
〃	4.7	福島市生涯学習を進める市民会議設置
〃	4.8	民家園「元客自軒(旧紅葉館)」復原完成
〃	5.4	機構改革により社会教育課青少年婦人係が女性青少年課となり、社会教育課内に 生涯学習係を新設
〃	5.4	東公民館移転改築により北信公民館落成
〃	5.4	社会教育館「立子山自然の家」開館
〃	5.6	福島市生涯学習推進基本構想策定
〃	5.10	蓬萊学習センター開館
〃	6.2	福島市生涯学習振興計画～ふくしま・いきいき学びプラン～策定
〃	6.6	生涯学習情報提供システム稼働(パソコン通信、キャプテン利用)
〃	6.7	北公民館移転改築により信陵公民館落成
〃	6.9	民家園「旧広瀬座」復原完成
〃	7.3	民家園「旧馬場家」復原完成
〃	7.4	機構改革により社会教育課が生涯学習課となり指導係が社会教育係となる
〃	7.7	吉井田公民館を設置
〃	8.3	第三次社会教育振興計画策定
〃	8.4	第二次生涯学習振興計画～ふくしま・いきいき学びプラン～策定
〃	8.8	資料展示室移転

平成	9.4	清水学習センター開館
〃	11.4	吾妻学習センター開館
〃	11.4	青年学級を廃止、ヤングカレッジを開設
〃	12.4	青年学級振興法廃止
〃	13.3	第四次社会教育振興計画策定
〃	13.3	第三次生涯学習振興計画～ふくしま・学びプランヒューマン21～策定
〃	13.6	ふくしま子どもセンター設置(13.7 情報誌「わくわくランド」発行)
〃	13.7	学校長期休業期間における公民館自由学習開放事業実施
〃	14.4	機構改革により女性青少年課廃止、総務部内に男女共同参画課新設。少年センターが青少年センターとなり市民生活部生活防災課へ移管
〃	14.4	公民館図書室土曜日開放事業実施(11館)
〃	15.4	宮畑遺跡整備室が総務部より教育委員会事務局所管となる
〃	15.4	文化課内に埋蔵文化財係を新設
〃	15.4	写真美術館(花の写真館)開館
〃	15.6	子どもの夢を育む施設着工
〃	15.7	広域連携・交流(都市間交流)事業～あぶくまシティ・カレッジ17～実施
〃	15.7	ふれあい歴史館(資料展示室)リニューアルオープン
〃	15.11	飯坂公民館着工
〃	16.12	福島市学習センター条例制定(福島市公民館条例廃止)
〃	17.2	飯坂学習センター開館
〃	17.3	児童文化センター閉館
〃	17.4	機構改革により生涯学習課(庶務係、生涯学習係)、こむこむ館(総務管理係、事業推進係)とする
〃	17.4	「福島市公民館条例」を廃止し、「福島市学習センター条例」を施行
〃	17.4	公民館と学習センターを一体化(全公民館を学習センターへ名称変更)
〃	17.7	子どもの夢を育む施設「こむこむ館」開館
〃	18.2	もちずり学習センター増改築、開館
〃	18.3	第四次生涯学習振興計画～ふくしま・ひとづくりプラン21～策定
〃	18.4	社会教育館(「こぶし荘」・「立山自然の家」)・草心苑・古閑裕而記念館・音楽堂・写真美術館(花の写真館)が指定管理者制度を導入
〃	19.2	ふくしま子どもセンター協議会解散
〃	19.4	福島市生涯学習活動推進員設置要綱制定・福島市生涯学習アドバイザー設置要綱廃止
〃	19.4	学習センター館長への地域の優れた人材登用(吾妻学習センター)
〃	20.3	北信学習センター増改築、開館
〃	20.7	合併により飯野学習センター及び青木・大久保・明治の分館を設置
〃	21.4	学習センター館長への地域の優れた人材登用(渡利・北信学習センター)
〃	21.4	福島市放課後子どもプラン運営委員会設置
〃	21.4	公会堂・民家園が指定管理者制度を導入
〃	22.4	学習センター館長への地域の優れた人材登用(三河台・杉妻・もちずり・吉井田学習センター)
〃	22.4	婦人学級を女性学級へ名称変更、婦人教育指導員を女性教育指導員へ名称変更
〃	23.3	第五次生涯学習振興計画策定
〃	23.3	東日本大震災・東京電力福島第一原子力発電所事故発生。学習センター避難所開設(18施設(分館含む))
〃	23.5	学習センター館長への地域の優れた人材登用(蓬萊・西・松川・信夫学習センター)
〃	23.8	震災復興事業として福島市子どもたち・夏のリフレッシュ体験事業実施(~27.8)
〃	24.3	学習センターに食品放射能簡易測定器配置
〃	24.4	学習センター館長への地域の優れた人材登用(清水・信陵・飯坂・飯野学習センター)
〃	26.6	じょーもぴあ宮畑 休憩棟・炊事棟供用開始
〃	27.2	松川学習センター移転新築、開館
〃	27.8	宮畑遺跡史跡公園(じょーもぴあ宮畑)全面開園
〃	28.4	第六次生涯学習振興計画策定
〃	28.4	学校支援地域本部事業を市内全地区で実施
〃	31.3	福島市社会教育館「こぶし荘」廃止
〃	31.4	機構改革により文化振興課、スポーツ振興課が市長部局へ移管(市民・文化スポーツ部)
〃	31.4	海外チャレンジ応援事業を開始
〃	31.4	子どもの夢を育む施設「こむこむ館」に指定管理者制度を導入
令和	2.4	地域学校協働本部事業をモデル地区で実施
〃	2.4	高齢者元気アップ事業(ICTお達人講座)を実施(長寿福祉課より移管)
〃	2.4	機構改正により中央学習センターの役割として、地区学習センターを統括する機関と明確に

- 位置づける
- 令和 2. 4 大型図書室を有する学習センター図書室(7館)の配置職員の所属について、福島市立図書館から各学習センター所属へ変更
- // 2. 11 渡利学習センター建替え
- // 3. 1 令和3年福島市成人式をオンライン開催
- // 3. 4 第7次生涯学習振興計画策定
- // 3. 4 大型図書室を有する学習センター図書室の利用時間を変更
- // 3. 4 市内全地区で地域学校協働本部事業を実施
北信中学区でモデル事業を実施(令和3・4年度)
- // 4. 1 令和4年福島市成人式を二部制(午前・午後)開催
- // 4. 4 ふれあい歴史館及び市史編纂室が統合し郷土史料室として開室
- // 5. 1 令和5年福島市二十歳の集い(旧成人式)を開催(企画委員による記念事業を開催)
- // 5. 4 三河台学習センター新築、開館
- // 5. 5 飯野学習センター 飯野支所と複合化、開館
- // 7. 1 学習センター施設使用料金等改正
- // 学習センター予約申請方法にオンライン予約システムを導入
- // 7. 3 中央学習センター移転新築、開館(市民センター内)

2 本市の教育の目指す姿

1 基本理念

豊かで恵まれた自然、先人が築いた歴史や文化を基盤として、「ひとがひとをつくる、ふれあいあふれる教育のまちづくり」を進め、「人間尊重の精神に基づき、広い視野を持ち、生涯を通じて自己の向上」に努めるとともに、「社会平和の進展に貢献する心身ともに健康な市民の育成」を推進します。

自分たちのまちは、自分たちで考え、自分たちで創り、守り、そして育んでいくという意識を市民と行政が共に持ち、共に考え、共に行動する市民との共創^{※1}のまちづくりを推進します。

2 基本目標

市民総ぐるみで推進するため、目標を共通認識できるよう、本市の教育が目指す姿を次のように掲げます。

ふるさとへの誇り 夢とあこがれ ^{ひとみ}心 かがやく ふくしまっ子

やがて独り立ちし、未来を担っていく子ども一人一人が、郷土への愛着と誇り、「夢」と「志」を持ち、自信を持って健やかにたくましく成長するために、学校・家庭・地域社会がそれぞれの責任と使命を自覚し、連携を深め、子どもたちの「生きる力」を培い、未来を切り拓く^{ひら}力を育む教育を推進します。

市民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、生涯にわたって生き生きと学べる生涯学習社会の構築を目指し、学習機会の拡充と環境の整備を推進します。

※1 共創：これまでの「協働」を基本としつつ、その考え方をさらに進化させ、世代や性別等を問わず市民一人一人、団体、企業、大学、地域、行政等の多様な主体がお互いの立場を理解し合い、気さくで自由な関係のもと、目標設定の段階から連携し、解決しなくてはならない「地域の課題」を把握・共有するとともに、異なる視点や価値観のもと多方面から意見を出し合いながら解決策の検討を行う。そして、それぞれの特徴を生かしながら積極的に課題解決に向けて実践的な取組を展開することにより、地域としての新たな魅力や価値を共に創り上げていくこと。

本市教育における目指す姿を具現化するための基本方針を、次のように定めます。

① 夢と志を持ち、可能性に挑戦するふくしまっ子の育成

超スマート社会（Society 5.0）の到来や、グローバル化の一層の進展により、社会情勢の変化を予測することができない時代を迎えています。

子どもたちがこれからの社会を生き抜くためには、学校教育がこれまで目指してきた「生きる力」の育成に加え、子どもたちが持続可能な社会の創り手として、変化を前向きに受け止め、予測不可能な社会を自立的に生きていく資質・能力を育てていくことが必要です。

そのため、これまでの学校教育の中で育まれてきた「生きる力」や、その中で重視されてきた知・徳・体の育成の現代的な意義を改めて捉え直し、自分の夢に向かって可能性に挑戦するために必要な力の育成に取り組みます。また、特別支援教育やいじめ、不登校などの多様な教育課題へのきめ細かな対応を進め、子どもたち一人一人の状況に応じた教育に取り組みます。

② ふくしまっ子の健やかな成長と学びを支える環境の整備

情報化の進展に伴うインターネットやSNS^{※1}依存、学習意欲の低下、生活習慣の乱れなど、子どもたちを取り巻く環境の変化により、様々な課題が指摘されています。

子どもたちが健やかに成長するためには、学校はもとより、家庭や地域が教育の場としての役割を担い、地域全体で子どもたちを育てることが重要です。また、学校教育の直接の担い手である教員が、従来必要とされてきた授業力^{※2}に加え、学校教育を取り巻く新たな変化に対応できる力量を高めることが必要です。

そのため、教職員の指導力向上に努めるとともに、働き方改革^{※3}やサポート体制の強化を進め、熱意と元気あふれる教職員の育成に取り組みます。また、学びを支える家庭・地域と学校が課題を共有し、パートナーとして連携しながら、地域全体で子どもたちを育む取組を進めるとともに、子どもたちの学習活動の基盤となる安全安心で良好な施設の整備のほか、ICTをはじめ先端技術の活用に向けた整備を進めるなど、質の高い教育活動を可能とする環境の整備に取り組みます。

※1 SNS：Social Networking Service の略。登録された利用者同士が交流できるウェブサイトの会員制サービス。

※2 授業力：授業をする上で必要とされることの総称。具体的には、児童生徒を理解すること、素材を教材として理解すること、必要な指導法を身に付けていること、授業のための学習集団を形成することなどが挙げられる。

※3 働き方改革：働く人が、個々の事情に応じた多様で柔軟な働き方を自分で選択できるようにするための改革。

③ 人・つながり・地域を共に創る生涯学習の推進

人口減少や少子高齢化が進行していく一方で、医学の進歩や生活水準の向上等により人生100年時代の到来が予測されています。また、SDGsにおいては、「すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」ことを目指しています。

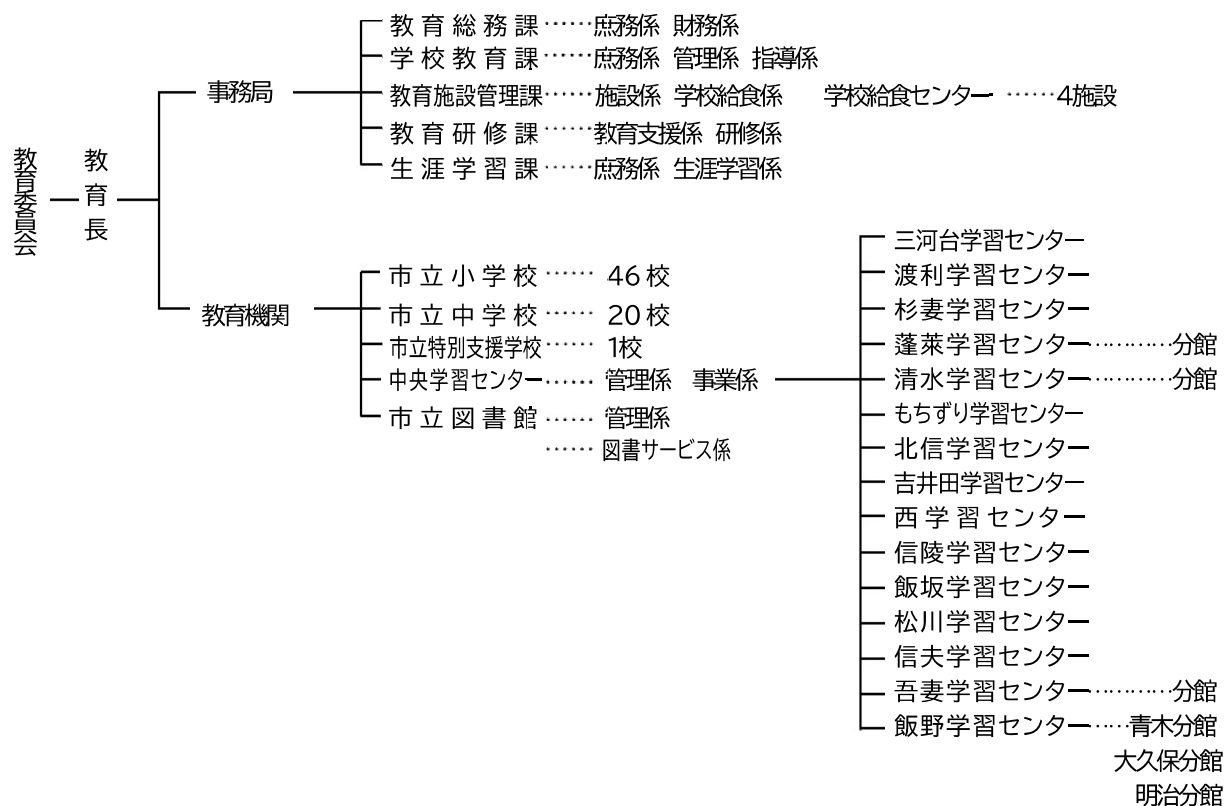
社会が大きく変化する中であって、市民一人一人が生きがいを持ってより豊かな人生を送るためには、生涯にわたって学び続けることができる環境づくりが必要です。また、学んだ成果を地域の活動につなげ、活動を踏まえてさらに学びを深める「学びと活動の循環」が重要です。

そのため、市民一人一人のライフステージに応じた多様な学びの機会を提供するとともに、市民自らが地域運営の担い手として学びの成果を生かすことができる生涯活躍の地域づくりを推進します。また、安心して快適に利用できる施設の整備を進めるほか、多様な主体との共創や学びの可能性を広げる新しいテクノロジーを活用しながら様々な学びを展開できる学習環境の整備を推進します。



3 教育委員会機構及び生涯学習・社会教育関係職員

(1) 教育委員会機構



(2) 生涯学習・社会教育関係職員

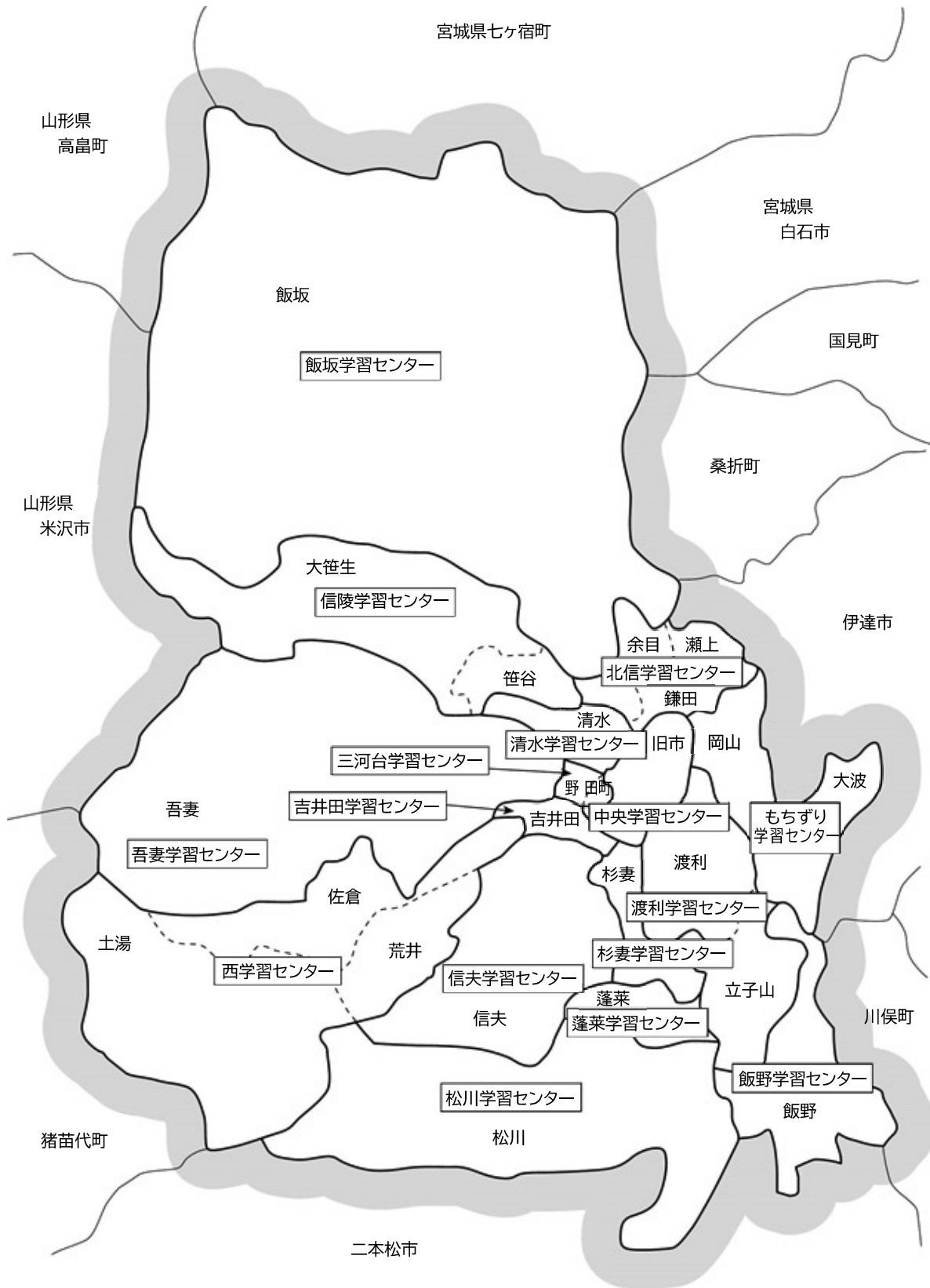
課名	職員と職員数								
生涯学習課	課長1. 庶務係=係長1. 主査1. 主事1 生涯学習係=係長1. 主査1. 主事1. 生涯学習指導員1								計 9
施設名	館長	館長補佐 係長 主任	事務職員	社会教育 主事	技能職員 (含許後任期職員も含む)	生涯学習 指導員	図書職員	その他	計
中央学習センター	1	2	5	(1)	0	3		7	18
三河台学習センター	1	1	1		1	1		1	6
渡利学習センター	1	1	1		1	1		1	6
杉妻学習センター	1	1	1		1	1		1	6
蓬萊学習センター	1	1	1		1	2	3	2	11
清水学習センター	1	1	2		1	2	3	2	12
もちずり学習センター	1	1	1	(1)	1	1	3	1	9
北信学習センター	1	1	2		1	1	3	1	10
吉井田学習センター	1	1	1	(1)	1	1		2	7
西学習センター	1	1	1		1	1	1	1	7
信陵学習センター	1	1	1		1	1		3	8
飯坂学習センター	1	1	1		1	2	3	2	11
松川学習センター	1	1	2		1	1	3	2	11
信夫学習センター	1	1	2		1	1		2	8
吾妻学習センター	1	1	2		1	2	3	3	13
飯野学習センター	1	1	1		1	1		2	7
図書館	1	2	3 司書10		3		21	4	44
計	17	18	37	(6)	16	21	43	28	180

4 社会教育施設等

施設名	所在地	設置年月日	施設建設年月日	建設費(千円)		面積(m ²)		職員数等	電話番号
				総事業費	補助金	建物	敷地		
中央学習センター	〒960-8601 五老内町3-1 (市民センター内)	昭和 23.11.23	令和 7.3.1	-	-	9147.90	10,611.02	18 (10)	534-6631
三河台学習センター	〒960-8055 野田町七丁目1-42	昭和 53.4.1	令和 4.10.28	604,230	-	1245.89	5198.00	6 (2)	533-8330
渡利学習センター	〒960-8141 渡利字岩崎町190	昭和 54.7.1	令和 2.11.16	751,708	国県 16,000 2,000	1,490.91	8,977.54	6 (2)	523-1551
杉妻学習センター	〒960-8153 黒岩字田部屋53-2	昭和 54.4.1	昭和 54.3.31	105,901	国県 16,000 2,000	671.69	1,372.88	6 (3)	545-5717
蓬萊学習センター	〒960-8157 蓬萊町四丁目1-2	平成 5.10.1	平成 5.9.30	608,033	-	1,720.02	3,771.00	9 (5)	549-1821
〃分館	〒960-8157 蓬萊町四丁目1-1	昭和 50.10.1	昭和 50.10.1	187,844	国県 16,000 500	1,170.62	513.61	2 (2)	549-1636
清水学習センター	〒960-8252 御山字松川原5-1	平成 9.4.1	平成 8.11.21	909,983	-	2,159.90	12,629.46	11 (6)	557-7400
〃分館	〒960-8254 南沢又字柳清水8-1	昭和 32.4.1	昭和 46.3.25	29,481	国県 2,000 500	674.00	1,383.50	2 (2)	557-1411
もちずり学習センター	〒960-8204 岡部字高畑46	昭和 56.4.1	昭和 6.3.20 平成 8.1.23	132,588 211,949	国県 21,000 2,000	670.32 1,316.40	6,360.00	10 (6)	534-2470
北信学習センター	〒960-0102 鎌田字中江1	昭和 42.4.1	平成 3.15 平成 0.3.28	331,582 216,781	-	1,554.98	8,996.78	11 (6)	554-1115
吉井田学習センター	〒960-8166 仁井田字西下川原1-1	平成 7.7.1	平成 7.6.1	363,508	国 60,000	852.22	6,436.10	7 (3)	546-3445
西学習センター	〒960-2155 上名倉字妻下4-2	昭和 40.4.1	昭和 59.3.26	209,975	国県 28,000 2,000	821.04	4,904.12	7 (3)	593-1013
信陵学習センター	〒960-0241 笹谷字オノ神1	昭和 42.4.1	平成 6.5.30	368,504	-	955.06	9,264.76	8 (4)	558-1234
飯坂学習センター	〒960-0201 飯坂町字銀杏6-11	昭和 23.4.1	平成 16.12.24	621,530	国 3,753	1,799.58	9,858.23	12 (8)	542-2122
松川学習センター	〒960-1241 松川町字杉内33	昭和 24.4.1	平成 27.2.27	724,996	県 13,071	1,960.36	9,078.00	11 (6)	567-2323
信夫学習センター	〒960-1101 大森字馬場1	昭和 22.10.1	平成 2.2.10	251,582	国 38,000	830.28	9,860.00	8 (3)	546-5207
吾妻学習センター	〒960-8057 笹木野字折杉41-1	平成 11.4.1	平成 11.2.26	758,801	国 10,309	2,037.00	9,994.46	11 (6)	526-3353
〃分館	〒960-8076 上野寺字下平場35-1	昭和 31.9.30	昭和 54.4.1	130,177	国県 16,000 2,000	766.47	6,009.43	3 (3)	591-4571
飯野学習センター	〒960-1301 飯野町字後川10-2	昭和 30.5.1	令和 5.3.31	538,219	-	2,054.00	6,443.20	7 (3)	562-3335
こむこむ館	〒960-8044 早稲町1-1	平成 17.7.23	平成 17.3.17	4,834,484	国 20,463 その他 81,623	9,886.42	5,000.00	-	524-3131
図書館	〒960-8018 松木町1-1	昭和 60.4.1	昭和 33.10.31	-	-	2,694.81	-	43 (27)	531-6551
草心苑	〒960-8105 仲樞町3-21	昭和 62.10.1	昭和 62.6.25	-	-	226.68	253.26	-	573-5061
社会教育館 (立子山自然の家)	〒960-1321 立子山字金井作1	平成 5.4.1	平成 5.3.12	454,333	-	1,029.60	24,036.61	-	597-2951
古閑裕而館 記念	〒960-8117 入江町1-1	昭和 63.10.1	昭和 63.6.30	330,000	-	656.60	-	-	531-3012
音楽堂	〒960-8117 入江町1-1	昭和 59.4.1	昭和 59.3.20	3,653,318	国県 85,000 34,000	6,023.48	11,916.86	-	531-6221
民家園	〒960-2115 上名倉字大石前地内 「あつま総合運動公園」内	昭和 57.8.1	昭和 57.3.31	1,344,942	-	管理棟1棟 民家9棟ほか	110,826.00	-	593-5249
郷土史料室 (資料展示室)	〒960-8228 松山町39-1	昭和 54.7.23	-	-	-	1,065.27	-	12 (10)	563-7858
写真美術館 (花の写真館)	〒960-8002 森合町11-36	平成 15.4.1	-	-	-	654.00	-	-	563-4990
宮知遺跡史跡公園 体験学習施設	〒960-8201 岡島字宮田78	平成 27.8.8	平成 27.6.30	705,045	国 310,330	1,187.67	56,754.00	-	573-0015

※職員数()内は指導員、図書職員、その他で、内書とする。

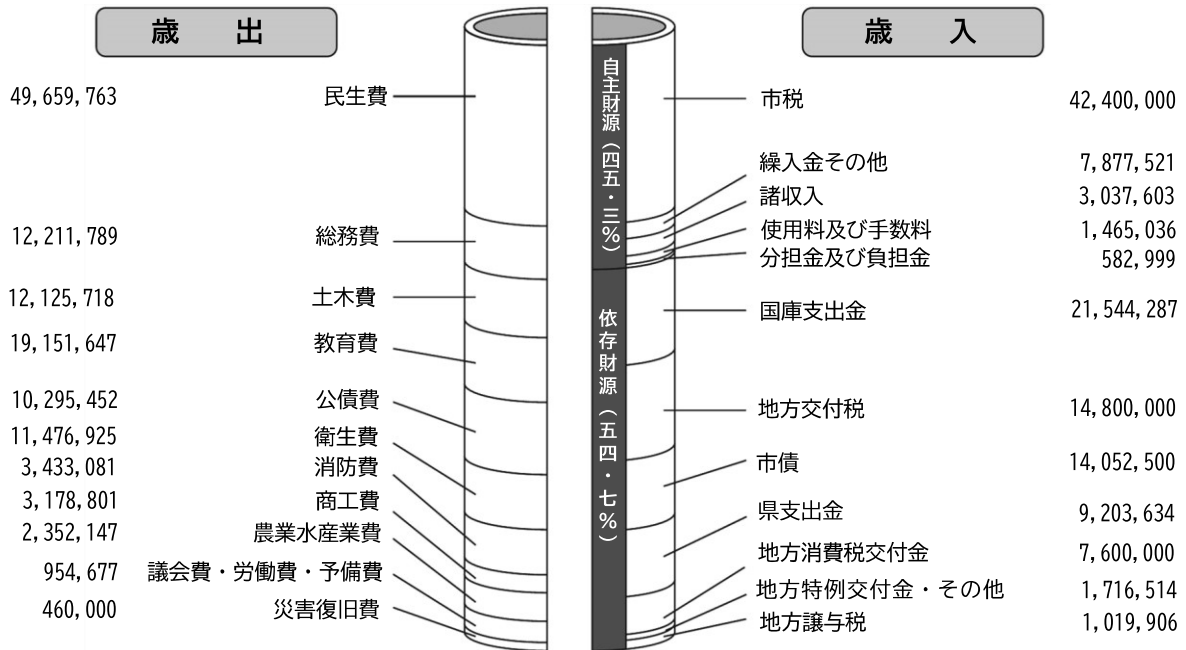
5 学習センター位置図



6 予算概要 (当初)

一般会計 125,300,000

(単位：千円)

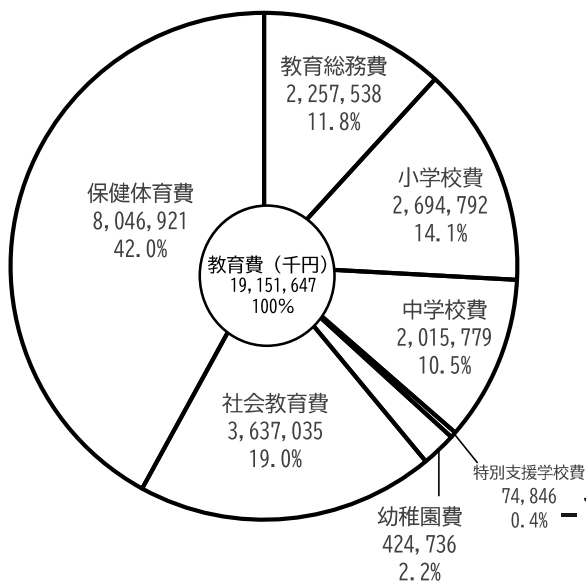


〔年度別予算の推移〕

(単位：千円)

年度	一般会計支出	市民1人当たり (円)				
		内 教育費	内 社会教育費		社会教育費	学習センター費
			内 社会教育費	内 学習センター費		
R 3	112,300,000	(10.4%) 11,638,603	(27.2%) 3,168,232	(21.4%) 678,562	11,540	2,472
R 4	115,900,000	(10.6%) 12,252,775	(22.7%) 2,781,522	(27.6%) 768,126	10,234	2,846
R 5	114,700,000	(11.6%) 13,266,920	(19.9%) 2,641,360	(31.9%) 842,290	9,806	3,127
R 6	117,700,000	(10.1%) 11,916,205	(27.1%) 3,226,116	(25.7%) 827,648	12,123	3,110
R 7	125,300,000	(15.3%) 19,151,647	(19.0%) 3,637,035	(24.0%) 873,471	13,836	3,149

〔教育費内訳〕



〔社会教育費内訳〕

(単位：千円)

目	本年度
1 社会教育総務費	173,283
2 社会教育振興費	16,071
3 生涯学習振興費	7,395
4 文化振興費	486,165
5 学習センター費	873,471
6 文化施設費	955,233
7 図書館費	466,067
8 こむこむ館費	644,864
9 社会教育館費	14,486
合計	3,637,035

7 生涯学習推進事業

No.	事業名	時期	内容
1	生涯学習推進本部会議 及び幹事会の開催	年 間	生涯学習に関する施策を総合的に推進するため本部会(定例部長会メンバー)及び幹事会(関係課長)を開催する。
2	生涯学習を進める市民会議 の開催	年 間	市民各層の意見を施策に反映させるため、市民会議を開催する。
3	生涯学習指導員の設置	年 間	生涯学習に関する指導・相談及び社会教育事業の実施にあたるため設置する。 (生涯学習課1名、学習センター22名)
4	生涯学習ボランティアの養成 及び支援事業	年 間	学習センター等で活動可能なボランティアの育成、また団体を支援する。
5	市民学習プラン支援事業	年 間	市民団体が主体的に企画、立案した生涯学習講座の実施を支援する。
6	令和8年二十歳の集い	1月11日	対象:平成17年4月2日～平成18年4月1日の出生者 式典、記念事業、記念品の贈呈

8 社会教育事業

(1) 会議及び研修会等

No.	事業名	時期	内容
1	社会教育委員の会議及び研修会	年6回	社会教育に関する諸計画の立案、諮問への意見及び調査研究等を行う。
2	社会教育関係指導員会議及び研修会	適時	指導員の任務・活動分野及び実務について会議及び研修を行う。
3	館長・実施機関長会議	年5回	学習センターの事業についての協議及び連絡調整と情報交換を行う。
4	領域別担当者会議	年2回	少年・家庭・女性・成人・高齢者の各教育担当者による情報交換、研究協議と青年教育の担当者による事業打合せを行う。
5	学習センター職員研修	適時	実施要項参照
6	学習センター訪問	適時	訪問要項参照

(2) 社会教育関係団体

No.	事業名	対象数	内容
1	青少年団体に対する事業	2団体	・ボーイスカウト福島地区協議会 ・福島市子ども会育成会連合会
2	成人団体に対する事業等の補助	3団体	・福島市婦人団体連絡協議会 ・福島ユネスコ協会 ・福島市小中学校 PTA 連合会

(3) 少年教育事業

No.	事業名	時期等	内容
1	少年学級開設	年間	豊かな体験活動を通じて心身ともに健全な人間形成のための学習
2	青少年指導員の設置と会議	〃	地域における少年活動の振興を図るために委嘱する。 16名（各地区1名）
3	福島市海外チャレンジ 応援事業 (令和2・3・4・5年度は事業実施見送り)	〃	世界に羽ばたく人材の育成を目的に、海外研修費用の一部を助成する。

(4) 青年教育事業

No.	事業名	時期等	内容
1	青年学級（ヤングカレッジ） ・青年教育講座	年間	発達課題や要求課題等の学習活動を通して、仲間や地域とのつながりを深める学習
2	青少年指導員の設置と会議 (再掲)	年間	地域における青年活動の振興を図るために委嘱する。 16名（各地区1名）

(5) 女性教育事業

No.	事業名	時期等	内容
1	女性学級開設	年間	人間性の涵養、地域連帯意識の醸成及び自主性に基づく創造力と実践力の育成のための学習
2	女性学級交歓懇談会	年1回	女性学級相互の親睦と交歓を図るとともに、女性学級連絡協議会の役割や活動について知る機会を提供する。
3	女性学級委員長会議	年1回	学級活動や運営方法に関する研修と全市的な事業推進に関する共通理解のための情報交換を行い、女性学級の効果的な運営に役立てる。
4	女性教育指導員の設置と会議	年間	地域における女性教育活動の振興を図るために委嘱する。16名(各地区1名)
5	第54回女性大学講座 (市婦人団体連絡協議会共催)	10月	女性共通の課題への理解を深め、地域や団体での活動に反映させるため、一般市民に学習機会を提供する。

(6) 成人教育事業

No.	事業名	時期等	内容
1	ICT活用推進事業	年間	情報化社会に対応できる成人を育成する。
2	スマートフォン利活用支援事業	〃	日常生活でのスマートフォン活用に関する学習を行う。
3	ふるさと学びカレッジ事業 (地域で生きる入門講座)	〃	現役卒業の世代を主な対象とした学習機会を提供する。また、現役卒業の世代が活躍できる場面作りをする。

(7) 高齢者教育事業

No.	事業名	時期等	内容
1	高齢者学級開設	年間	健康で生きがいのある生活を送り、これまで培った経験を地域社会に還元するための学習

(8) 家庭教育支援事業

No.	事業名	時期等	内容
1	家庭教育学級開設	年間	将来親となる青年男女を含め、0歳から中学生までの子どもを持つ成人に対し、親の在り方について学習を行う。
2	語り合いネットワーク	〃	家庭と地域の教育力向上を目指し、各幼稚園、小・中学校PTA等との事業と連携して子育て学習の機会を提供する。
3	子育て支援講座	9月	一般市民及び子育て支援団体を対象に子育てや家庭教育支援のための学習機会を提供する。
4	家庭教育懇談会	適時	家庭と地域の教育力向上を目指し、家庭教育事業の振興策について懇談する。

(9) 地域と学校の共創の推進

No.	事業名	参加対象者	目的
1	地域学校協働本部事業(年間) ※各学習センターに 地域学校協働本部を設置	市内小・中・義務教育・ 特別支援学校、地域団体、 一般市民等	地域住民、各種団体等と学校が連携・協働した活動を通し、学習活動の充実、地域の活性化と市民協働のまちづくりを推進する。

(10)学習センター事業

領域	事業名		参加対象者	内容	
少年教育	少年リーダー養成研修会		小学生・中学生・高校生	地域少年団体等のリーダーの養成	
	少年教室		小学生	自然探勝、野外活動、工作、茶道、将棋等	
	親子教室		幼児・小学生・保護者	親と子の自然探勝、野外活動、映画会等	
	世代間交流事業		地域住民	青少年と高齢者や成人との交流活動、伝承教室	
	子ども会育成会指導者研修会		育成会員	団体の運営、育成会の役割、実技指導	
成人教育	女性教育	女性学級	成人女性	人間性の涵養と地域連帯意識の醸成	
		女性講座		一般教養等の学習	
	青年教育	青年学級 (ヤングカレッジ) 青年教育講座	青年	一般教養学習と仲間づくり、スポーツ等	
	各種講座等	市民学校	一般市民	一般教養、生活文化等の学習活動	
		市民大学講座		教養、文学等についての専門的な学習活動	
		ICT活用セミナー		情報化社会に対応できる成人の育成	
		ふるさと学びカレッジ		現役卒業の世代を中心とした学習機会の提供	
		スマートフォン利活用支援事業		日常生活でのスマートフォン活用に関する学習	
		ふくしまマスタース大学		生涯学習への意識高揚を図る講演会	
		出前講座		地域住民	地域課題の学習
		PTA研修講座		PTA会員	教育問題、団体運営等に関する研修
		しゃくなげ青年講座		知的障がいを持つ成人	知的障がいを持つ方の自立援助のための余暇活動等
	高齢者教育	寿大学	高齢者	教養や生活文化に関する学習活動	
寿講座		生活文化、老後の生きがいについての学習			
高齢者団体指導者研修会 交歓会		団体、クラブ、学級等の運営と指導者の役割			
家庭教育	家庭教育学級	保護者・祖父母	家庭における躾や教育についての学習		

領域	事業名	参加対象者	内容
芸術文化・文化財・芸能	各種展覧会	一般市民	文化祭、展覧会、作品展、盆栽展等
	俳句、短歌、川柳大会		作品の発表、鑑賞、交流活動
	文学散歩		文学散歩や移動文学探訪等
	読書活動		巡回文庫、読書教室等
	地方史講座、史跡めぐり		歴史研究、文化財めぐり、視察等
	芸能祭、音楽祭、発表会		舞踊、民謡、詩吟、合唱、合奏等の発表
体育・レクリエーション	スポーツ教室	一般市民	各種スポーツの基礎的な講習
	スポーツ大会		運動会、球技大会、水泳、スキー、マラソン等
	野外活動		登山、ハイキング、サイクリング、オリエンテーリング等
	囲碁、将棋大会		レクリエーション大会等
相談	生涯学習相談事業	一般市民	生涯学習を支援するための相談
住民運動	明るい選挙啓発運動	一般市民	常時啓発と推進
地域学校協働本部事業	地域学校協働活動	市内小・中・義務教育・特別支援学校及び地域団体、一般市民等	地域住民、各種団体等と学校が連携・協働した活動を通し、学習活動の充実、地域の活性化と市民協働のまちづくりを目的とした取り組み

(11) 各種学級開設一覧

① 少年学級等

No.	事業名	実施機関	対象	開催期間等
1	中央こどもクラブ	中央学習センター	小3~6	月1回 主に日曜日
1	中央こどもクラブ	中央学習センター	小3~6	月1回 日曜日
2	どじんじま道場	三河台学習センター	小4~6	月1回 第1土曜日
3	三河台リーダーズクラブ		中学生・高校生・大学生	不定期
4	わんぱくキッズ	渡利学習センター	小4~6	月1回 土曜日
5	すぎのめわんぱくクラブ	杉妻学習センター	小4~6	月1回 土曜日・日曜日
6	ちびっこ教室	蓬萊学習センター	小3~6	月1回 土曜日
7	ほうらい科学クラブ		小4~6	月1回 土曜日
8	ほうらい子どもひろば		小・中学生	7月~1月
9	遊びの広場	清水学習センター	小4~6	5月~3月 月1回 日曜日
10	もちずりジュニアリーダー教室	もちずり学習センター	小5・6	主に土曜日
11	いきいきふれあい広場 (世代間交流事業)		園児(年長)~小学4年生 一般人、ボランティア	月1回 第1土曜日
12	夏の宿題ごちそうSUMMER		中学生	7月~8月
13	ジュニア将棋教室	北信学習センター	小・中学生	月1回 土曜日
14	北信リーダー教室		小5・6・中学生	月1回 土曜日
15	あそびの広場		小3・4	月1回 土曜日
16	ヨッシーキッズ	吉井田学習センター	小3~6	月1回 土曜日
17	吉井田ジュニアリーダー		中学生・高校生	不定期
18	西こどもクラブ(西チル)	西学習センター	小4~6	月1回 土曜日
19	信陵ジュニアカレッジ -SJC-	信陵学習センター	小4~6	月1回 土曜日ま たは日曜日
20	飯坂方部少年教室 「遊びのがっこう2025」	飯坂学習センター	小4~6	月1回 日曜日

21	わくわく広場	松川学習センター	小4~6	月1回 土曜日
----	--------	----------	------	---------

No.	事業名	実施機関	対象	開催期間等
22	わくわくクラブ	信夫学習センター	小3~6	月1回 土曜日または日曜日
23	親子教室		小1~4と保護者	月1回 第2土曜日
24	しのぶジュニア茶道		小・中学生	月1回 第1土曜日
25	信夫ジュニア将棋教室		小2~6	月1回 第2土曜日
26	スノーラビット	吾妻学習センター	小4~6	月1回程度 土曜日
27	あづまっ子書道会		小3~6	月2回 第2・4土曜日
28	いいのこどもクラブ	飯野学習センター	小3~6	月1回 第2土曜日

②青年教育事業

No.	事業名	実施機関	対象	開催期間等
1	ヤングカレッジ中央	中央学習センター	中央地区在住・在勤の18歳~35歳程度の男女	毎週水曜または木曜 月4~5
2	吉井田・三河台・西・吾妻学習センター4館合同事業「1upカレッジ」	三河台学習センター 吉井田学習センター 西学習センター 吾妻学習センター	概ね20歳~30歳代の青年男女	前期：日曜 4回 後期：木曜 4回
3	もちずり・渡利・飯野・松川合同青年向け企画	渡利学習センター もちずり学習センター 飯野学習センター 松川学習センター	概ね18歳以上35歳までの男女	主に金曜日夜間12回
4	蓬萊学習センターヤングカレッジ	蓬萊学習センター	18~30歳代までの男女	不定期
5	清水青年スキルアップ講座	清水学習センター	—	不定期
6	青年教育講座	北信学習センター	—	不定期
7	ICA・KITAヤングカレッジ	信陵学習センター 飯坂学習センター	18~35歳程度の男女	月1~2回 木曜日
8	青年教育講座	信夫学習センター	—	不定期

③ 女性学級等

No.	学級名	実施機関	対象	開設曜日・時間
1	中央女性アカデミー 水曜日コース	中央学習センター	中央地区在住・在勤の概ね30～70歳代の女性	月2回程度 水曜日
2	中央女性アカデミー 日曜日コース		市内在住・在勤の概ね20～60歳代の女性	月1回程度 日曜日
3	三河台女性セミナー	三河台学習センター	三河台地区在住の成人女性	月1～2回 第2または第4木曜日
4	渡利レディースセミナー	渡利学習センター	渡利・小倉寺・南向台地区等在住の女性	月1～2回 第2・4木曜日
5	たつこレディース		立子山地区在住の成人女性	月1回
6	コスモスカレッジ	杉妻学習センター	杉妻地区在住または在勤の女性	月2回 水曜日
7	ほうらいレディースカレッジ	蓬萊学習センター	蓬萊地区在住の成人女性	月1～2回第2・4金曜日
8	しみず女性スクール (午前コース)	清水学習センター	清水地区在住の30～74歳の女性	月1回 第4水曜日
9	しみず女性スクール (夜間コース)		清水地区在住または在勤の30歳～74歳の女性	月1回 第3水曜日
10	もちずりレディース	もちずり学習センター	もちずり地区で活動している成人女性	月1回 水曜日
11	もちずり女性講座		もちずり地区で活動している成人女性	月1回 第3木曜日
12	大波地区女性講座		大波地区在住の成人女性	不定期
13	女性スクールふれあい	北信学習センター	北信地区在住または在勤の成人女性	月2回 金曜日
14	女性スクールゆうがお		北信地区在住または在勤の成人女性	月1～2回 金曜日
15	吉井田女性スクール SAKURA コース	吉井田学習センター	主に吉井田地区在住の概ね30～60歳代の女性	月1回 第3土曜日
16	西女性スクール	西学習センター	西地区の成人女性	月1回 不定期
17	信陵スマイルレディース	信陵学習センター	主に信陵地区在住の女性(昼コース)	月1回 第1木曜日
18	信陵梨花レディース		主に信陵地区在住の女性(夜コース)	月1回 第2金曜日
19	女性スクール はなももコース	飯坂学習センター	飯坂方部に在住または在勤の成人女性	月1回 第3月曜日
20	女性スクール ぎんなんコース		飯坂方部に在住または在勤の成人女性	月1回 第3木曜日
21	女性スクール よざくらコース		飯坂方部に在住または在勤の成人女性	月1回 第3水曜日
22	レディースまつかわ	松川学習センター	松川地区の成人女性	月1回 木曜日
23	しのぶ女性カレッジ	信夫学習センター	信夫地区在住・在勤の成人女性	月1～2回 第2・4木曜日
24	しのぶ花咲レディース			月1回 第1土曜日

25	ゆきうさぎ女性カレッジ	吾妻学習センター	吾妻地区在住の成人女性	月1回程度 主に木曜日
26	小富士学級		吾妻地区在住の成人女性	月1回 主に第3木曜日
27	ナイスレディ学級	飯野学習センター	飯野地区在住の成人女性	月1回 主に第1金曜日

④ 高齢者学級等

No.	学級名	実施機関	No.	学級名	実施機関
1	中央寿大学	中央学習センター	17	よしいだ悠遊塾	吉井田学習センター
2	三河台寿大学	三河台学習センター	18	西ことぶき学級	西学習センター
3	渡利寿大学	渡利学習センター	19	しんりょう悠遊塾 木曜コース	信陵学習センター
4	渡利グレートアカデミー		20	しんりょう悠遊塾 金曜コース	
5	杉妻寿大学	杉妻学習センター	21	平野ながいき大学	飯坂学習センター
6	蓬萊寿大学	蓬萊学習センター	22	飯坂ながいき大学	
7	蓬萊アカデミー		23	ことぶき学園	松川学習センター
8	不老の広場	清水学習センター	24	信夫いきいき倶楽部	信夫学習センター
9	生きがい広場		25	野田明大学級	吾妻学習センター
10	高齢者の意見発表大会		26	庭坂寿大学	
11	もちずりことぶき大学	もちずり学習センター	27	水保長寿大学	
12	もちずりゆうゆうセミナー		28	庭塚大学	
13	高齢者出前講座		29	熟年パワースクール	
14	北信悠々クラブ	北信学習センター	30	ナイスいいの学級	飯野学習センター
16	北信寿学園				

⑤家庭教育学級

No.	学級名	実施機関	対象	開設曜日・時間
1	カンガルー教室（0歳児コース） 前期・後期	中央学習センター	0歳児と保護者	前期：6～9月 後期：11～2月 月2回程度 主に木曜日
2	ペンギン教室（1歳児コース） 前期・後期		1歳児と保護者	前期：6～9月 後期：11～2月 月2回程度 主に木曜日
3	カルガモ教室 （2・3歳児コース）		概ね2～3歳児と保護者	月2回程度 水曜日 （6～10月）
4	義務教育コース		中央地区在住の小・中学生の子を持つ保護者	月2回程度 月曜日 （6～12月）
5	三河台ファミリー教室 （前期・後期）	三河台学習センター	前期：2～4歳児と保護者	第1・3月曜日 （5～10月）

			後期：3歳～小学生までの幼児・児童と保護者	第1日曜日 (11～3月)
6	コアラ学級		渡利地区在住の2～4歳児と保護者	月1～2回 月曜日
7	コアラファミリー	渡利学習センター	渡利地区在住の2歳～小学4年生までの幼児・児童と家族	月1回 日曜日(8～12月)
8	すこやかファミリー教室	杉妻学習センター	1～4歳児と家族	月2回 金曜日
9	メダカ为学校	蓬萊学習センター	概ね2～4歳児を育児する保護者	月1回 月曜日
10	すくすく親子広場		市内在住の1～4歳児と保護者	月1回 第3木曜日
11	清水思春期セミナー	清水学習センター	小5・6年～中学生の保護者	月1回 第2木曜日
12	もちずり子育て広場		もちずり地区内の0歳児～未就園児と保護者	月1回 主に第1水曜日
13	ひよこの広場	もちずり学習センター	0～4歳児と保護者	月1回 第3水曜日
14	ほくしんキッズクラブ	北信学習センター	1～4歳までの未就園児と保護者	月1回 第2金曜日
15	ママRing よしいだ (ももコース：前期) (りんごコース：後期)	吉井田学習センター	1～3歳児程度の未就学児をもつ保護者	ももコース：5～9月 りんごコース：11～3月 月1回 月曜日
16	ぽかぽか Club	西学習センター	西地区の0歳～3歳くらいの幼児と保護者、家庭教育に関心のある方(祖父母も可)	月1回 木曜日
17	ひまわり教室	信陵学習センター	概ね2～4歳児と保護者	月1回 金曜日
18	いいざか家庭セミナー		飯坂方部の小中学校PTA会員等	不定期
19	飯坂家庭教育学級 (ももちゃんクラブ)		飯坂方部の1～4歳児と保護者	第4木曜日
20	飯坂家庭教育講座	飯坂学習センター	主にいいざか幼稚園児と保護者	不定期
21	平野家庭教育学級		主にひらの認定こども園児・未就園児と保護者	不定期
22	家庭教育学級(すくすく)		乳幼児と保護者等	月1回 第2木曜日
23	家庭教育講座(ラッコ)	松川学習センター	乳幼児と保護者等	月1回 第3水曜日

24	まつかわ家庭教育出前講座 (地区内幼稚園・保育園)		保育園児・幼稚園児と保護者	各年4～5回
25	すくすくセミナー	信夫学習センター	2～4歳児と保護者	月1回 第1金曜日
26	いちごクラブ	吾妻学習センター	1～4歳児と保護者	月1回 木曜日
27	ユータンキッズ		未就学児と保護者	月1回 第3金曜日
28	子育てマルシェ (出前講座)	飯野学習センター	飯野地区の保育所・認定こども園・小学校	不定期

9 社会教育関係施設の概要

(1) 中央学習センター



所在地	〒 960-8601 福島市五老内町3-1 TEL 534-6631 535-1111 内線5513 FAX 533-7592		
交通機関	福島交通バス「市役所前」停留所より徒歩1分または「市役所入口」停留所より徒歩3分		
設置年月日	昭和23年11月23日	建設年月日	令和6年12月11日
面積と構造	(建物) 9,706㎡	(敷地) 9,250㎡	(構造) RC5F
人口 (R7.4.1現在)	(男)11,439人 (女)12,887人 (計)24,326人		世帯数 13,189世帯
地区面積	7.99km ²	学校数	(小) 7 (中) 6 (高) 6 (養) 1 (短) 1
職員数	館長 1名 職員 7名 生涯学習指導員 3名 その他 7名 計 18名		
委員 指導員数	運営審議委員 12名 青少年指導員 1名 女性教育指導員 1名		

<地域の概要>

県都福島市の中心部に位置し、JR福島駅から東へ約2km、市民の方々が多用途に活動できる拠点として、福島市役所本庁舎の西側に建設された福島市民センターにあります。

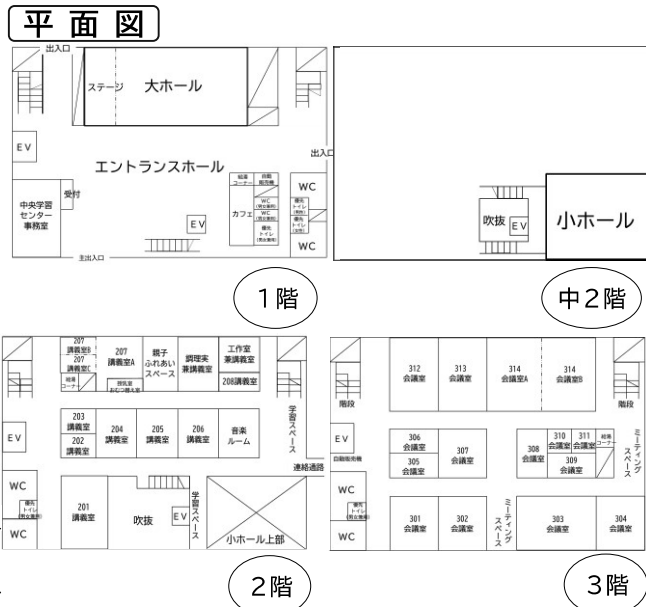
対象区域住民の生涯学習活動の場であるとともに、中央学習センターとして地区学習センターと連携を図りながら全市民を対象とする全市的社会教育事業と市民性の高揚に努めています。

<地域、施設の案内紹介>

○名所・旧跡 信夫山、岩谷観音(磨崖仏)

○市民センター施設概要

1階	大ホール	336.0 m ²	収容人数	156人
中2階	小ホール	149.0 m ²	収容人数	84人
2階	201 講義室	86.0 m ²	収容人数	36人
	202 講義室	28.0 m ²	収容人数	12人
	203 講義室	28.0 m ²	収容人数	12人
	204 講義室	51.0 m ²	収容人数	18人
	205 講義室	51.0 m ²	収容人数	18人
	206 講義室	51.0 m ²	収容人数	18人
	207 講義室	104.0 m ²	収容人数	57人
	208 講義室	21.0 m ²	収容人数	8人
	調理室兼講義室	73.0 m ²	収容人数	28人
	工作室兼講義室	50.0 m ²	収容人数	24人
	音楽ルーム	47.0 m ²		
3階	301 講義室	57.0 m ²	収容人数	24人
	302 講義室	57.0 m ²	収容人数	24人
	303 講義室	99.0 m ²	収容人数	48人
	304 講義室	70.0 m ²	収容人数	24人
	305 講義室	28.0 m ²	収容人数	12人
	306 講義室	28.0 m ²	収容人数	12人
	307 講義室	52.0 m ²	収容人数	24人
	308 講義室	52.0 m ²	収容人数	24人
	309 講義室	33.0 m ²	収容人数	12人
	310 講義室	12.0 m ²	収容人数	4人
	311 講義室	12.0 m ²	収容人数	4人
	312 講義室	99.0 m ²	収容人数	48人
	313 講義室	99.0 m ²	収容人数	48人
	314 講義室	278.0 m ²	収容人数	60人
	駐車可能台数	409台		



案内図



<運営方針>

本市学習センターの中核館として、全市的視野に立ち、各学習センターや町会、学校、PTAなど、関係機関・団体との連携を図りながら、ふれあいと生きがいに満ちた魅力ある生涯学習環境の創出を目指し、効果的で特色ある、ライフステージに応じた社会教育事業を推進する。

- (1) 市民一人一人が自分に合った学習を持続的に行い、学びを深め、日常生活の楽しみや心豊かさにつながるような事業の展開に努める。
- (2) 子どもから高齢者まで、ライフステージに応じた学びを推進する事業の展開に努める。
- (3) ICTの進展に伴う社会生活の進展や、多文化共生等、社会情勢の変化に対応した学習を取り入れ、現代社会の諸課題に対応する事業の展開に努める。
- (4) 学ぶにあたり配慮が必要な人に対して、学習の機会を確保する事業の展開に努める。
- (5) 地域の歴史や魅力、地域の課題の解決等の学びを通じて、地域づくりへの関心を高め、市民の主体的な参加による持続可能な地域づくりの人材を育てる事業の展開に努める。
- (6) 市民や地域の多様な機関・団体の参画により、地域と学校の共創を推進する事業の展開に努める。

<特色ある事業>

こども茶道教室、中央家庭教育学級（0・1歳児コース）、市民大学講座、しゃくなげ青年講座、生涯学習アップデート事業、ときめきウィークエンド事業、市民広場DEわくわく事業

<主な事業>

領域	事業名	対象	時期	回数	事業内容	
少年教育	中央こどもクラブ	小学3～6年生	6月～3月	10	・異なる学校や学年との交流・体験活動	
	親子の広場	小学1～3年生と保護者	7月～8月	2	・体験活動を通し親子のふれあいの場の提供	
	親子書き初め教室	小学生と保護者	12月	6	・親子で書き初めの課題に挑戦する	
	こどもスキー教室	小学3～6年生	1月	2	・スキー技術の習得	
	こども茶道教室	小学1～6年生	9月～12月	5	・茶道体験・日本文化やしきたりについての学習	
成人教育	教青年	ヤングカレッジ中央	18～35歳程度の男女	6月～2月	36	・青年期における教養、スポーツなどの学習をとおした仲間づくり
		教女性	中央女性アカデミー水曜日コース	30～70歳代の女性	5月～3月	18
	中央女性アカデミー日曜日コース		20～60歳代の女性	6月～3月	13	
	各種講座等	市民学校（3コース）	一般市民	4月～3月	9	・実生活に即した各種分野の学習
		ICT活用セミナー	〃	7月～12月	8	・ICT技能の習得
		市民大学講座	〃	1月～2月	2	・高度で専門的な知識・技術や現代的課題についての学習
		しゃくなげ青年講座	特別支援学校・学級の卒業生	5月～3月	11	・知的障がい者を対象としたレク活動、社会体験と仲間づくり
		福島エール川柳事業	どなたでも	7月～2月	2	・作品募集ならびに優秀作品の表彰式、川柳講座
		ふるさと学びカレッジ事業	団塊の世代等	11月～12月	3	・団塊の世代を中心とした学習
		生涯学習アップデート事業	一般市民	9月～1月	9	・各界で活躍する高名な方を講師として招いての講演会等
市民学習プラン支援事業		〃	4月～3月	5	・地域団体等の企画による公共性の高い事業の実施を支援する	
スマートフォン利活用支援事業	〃	2月	2	・スマートフォンの使い方等についての学習		
高齢者	中央寿大学	60歳以上の男女	5月～3月	15	・高齢者の健康、生きがいや社会参加についての学習	
	ふくしまマスターズ大学連絡会	マスターズ同期生会	4月～3月	6	・同期会等で相互の親睦や連絡調整を図る	
家庭教育	中央家庭教育学級					
	- 0歳児コース(前期・後期)	0歳児と保護者	6月～2月	16	・新しい家庭を築き望ましい親となるための学習	
	- 1歳児コース(前期・後期)	1歳児と保護者	6月～2月	16	・〃	
	- 2・3歳児コース	2・3歳児と保護者	6月～10月	10	・親子での遊びをとおした育児についての学習	
	- 義務教育コース	小中学生の保護者	6月～12月	10	・遊び、家庭、学校生活のあり方を理解、親としての役割の学習	
学社連携事業（認定こども園出前講座）	4・5歳園児	9月～12月	2	・民話などを聞き子どもの感性を豊かにする		
家庭教育相談事業	幼小中の保護者	4月～3月	随時	・家庭生活や教育上の諸問題についての個別相談		
芸術文化	中央地区文化祭	一般市民	10月	1	・学習センター利用団体、学級講座および地区住民の作品展示 ・学習センター利用団体及び地区住民による学習成果発表	
レク・体育	中央地区親善スポーツ大会	一般市民	9月～11月	2	・ソフトボール、家庭バレーボール大会をとおした、市民スポーツの振興	
	中央地区囲碁大会	〃	9月	1	・中央地区在住、在勤、在学等の囲碁愛好者の交流と技術向上	
運住動民	明るい選挙推進事業	一般市民	4月～3月	随時	・明るい選挙推進協議会の設立化	
地域学校協働	地域学校協働本部事業 ・学校支援活動 ・地域学校協働活動	福島第一小 福島第二小 福島第三小 福島第四小 清明小 福島第二中 福島第四中	年間	随時	・学校の要望に沿った地域内ボランティアの発掘とコーディネート（授業の補助・校舎内外の環境整備・登下校中の安全確保・学校行事運営の支援等） ・学校がより幅広い層の地域住民や団体とのネットワークを形成し、双方向で関わり合う活動（地域課題解決学習、地域貢献活動） ・対象学校長との打合せ(基本方針・要望)と年間のふりかえり(評価・反省)	
ビジ運ヨ管	・ときめきウィークエンド事業 ・市民広場DE わくわく事業	一般市民 〃	年間	随時	・市民センターを活用したイベント。発表会等の企画を募集しにぎわい創出につなげる。	

(2) 三河台学習センター



所在地	〒 960-8055 福島市野田町七丁目1-42 TEL 533-8330 531-1636 FAX 533-8331		
交通機関	福島交通バス 上姥堂線「野田」徒歩5分 由添団地經由庭坂線「桜の聖母学院」徒歩1分		
設置年月日	昭和53年4月1日	建設年月日	令和4年10月28日
面積と構造	(建物) 1,245.89㎡ (敷地) 5,198.00㎡ (構造) RC2F		
人口 (R7.4.1現在)	(男)6,094人 (女)6,610人 (計)12,704人	世帯数	6,364世帯
地区面積	2.71km ²	学校数	(小) 1 (中) 2 (高) 1
職員数	館長 1名 職員 2名 生涯学習指導員 1名 技能職員 1名 その他 1名 計 6名		
委員 指導員数	運営審議委員 9名 青少年指導員 1名 女性教育指導員 1名		

<地域の概要>

市街地中心部を南北に貫く東北本線の西側に隣接する地域で、県都福島市の西の玄関口として大きな変貌を遂げている。

三河台地域は三河北町、三河南町、矢剣町、太田町、須川町、野田町、東中央（の一部）、南中央（の一部）の各地区により構成され、面積は2.71km²と狭い地域ながらも1km²あたりおよそ4,700人余りの住民が暮らす人口密度の高い地域である。

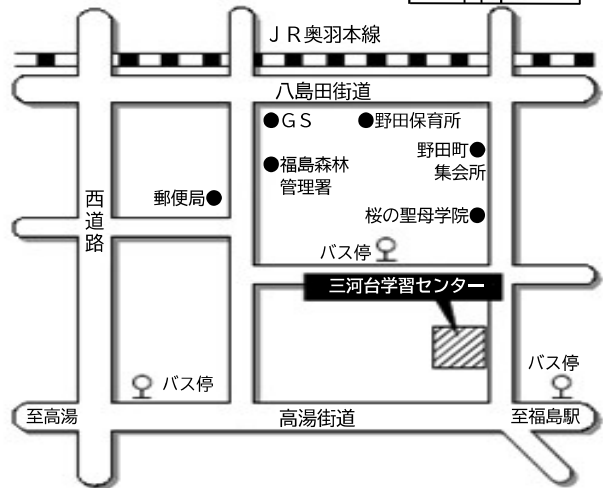
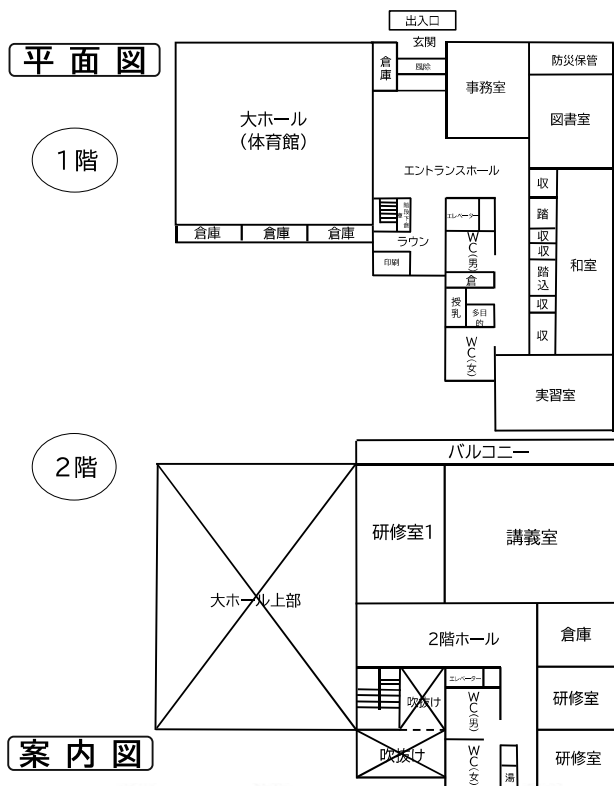
また、平成7年の福島国体の開催を契機に都市基盤の整備が進んだ地域でもあり、今後「腰浜町庭坂線」や「方木田茶屋下線」の延伸事業も計画されており、さらに市街化が進むと期待される。

<地域、施設の案内紹介>

- 名所・旧跡 御用水路→福島城及び五十辺地内まで生活用水路として利用された。
杉登川 →王老杉伝説

○学習センター施設概要

1階	ホール	309.0 m ²	260人
	和室	90.0 m ²	60人
			40畳
	実習室	59.0 m ²	25人
		調理台	5台
		ガス台	4台
		IH機器	1台
	図書室	49.0 m ²	蔵書 10,000冊
2階	講義室	120.0 m ²	90人
	研修室1	60.0 m ²	33人
	研修室2・3	30.0 m ²	各15人
その他	駐車場	60台	



<運営方針>

- (1) 生涯学習社会の進展の中で、生涯学習・社会教育の振興充実のため、多様な学習の機会と場所・情報を提供する。
- (2) 情報化、少子高齢化の社会に対応し、住民の学習ニーズを的確に把握した事業の推進に努める。
- (3) 学習の成果が地域活動やボランティア活動に結びつき、連帯と潤いのある地域づくりに役立つよう努める。
- (4) 各種団体・サークルを育成支援し、団体間の協力により、連携のとれた自主活動を推進する。
- (5) 学習センターの施設設備の効率的な活用と、読書活動の推進に努める。
- (6) 地域の文化・スポーツ活動の推進、青少年活動の推進と支援に努める。

<特色ある事業>

どじんじま道場、ファミリー教室、三河台寿大学、女性セミナー、オトナ女子セミナーplus、スマイル・ミドルエイジ講座

<主な事業>

領域	事業名	対象	時期	回数	事業内容	
少年教育	どじんじま道場	小学4～6年生	5月～3月	12	・地域少年会のリーダー養成	
	リーダーズクラブ	中学・高校・大学・専門学生	〃	22	・地域ボランティア活動	
	少年会育成会指導者研修会	育成会員	7月	1	・少年会の運営、指導のための研修	
成人教育	1upカレッジ	青年	5月～2月	随時	・一般教養、体育レクリエーション	
	教女育性 女性セミナー	成人女性	5月～3月	16	・一般教養、家庭、社会生活に関する学習	
	各種講座等	市民学校	一般市民	年間	随時	・一般教養、文化、スポーツ、生活技術などの学習
		IT活用セミナー	〃	〃	〃	・パソコンの技術習得
	ふるさと学びカレッジ	〃	〃	〃	・住民が自らの住む地域への愛着をより深める	
	市民学習プラン支援事業	〃	〃	〃	・市民が主体となり公益性の高い事業を展開する	
高齢者教育	三河台寿大学	一般市民	5月～3月	11	・健康保持、時事講話、芸術・文化などの学習	
家庭教育	ファミリー教室	幼児や小学生と保護者	前期 (5月～10月) 後期 (10月～3月)	14	・親子体操等のふれあい学習を通し親子の絆を深める ・子どもの心と体の健全な育成を図るための学習 ・家族全員（特に父親）のふれあい活動（後期）	
芸術・文化	俳句大会	一般市民	3月	1	・他地区同好者との交流、作品の発表、鑑賞指導	
	文化祭	〃	10月	1	・地区民、サークルの作品の展示発表と地区民の相互交流を図る	
	サークル展	サークル団体	4月～3月	随時	・サークル活動の作品展示と地区民相互の交流	
レク・体育	三河台地区運動会	一般市民	10月	1	・町会対抗戦	
	新春囲碁等大会	〃	1月	1	・同好者による世代交流、相互親睦	
住民運動	青少年健全育成の推進 地区明選運動の啓発 交通安全運動の推進 地区社会福祉協議会との連携 ボランティア活動の支援 三河台地区一斉清掃	一般市民 〃 〃 〃 〃 〃	年間 〃 〃 〃 〃 6月	随時 〃 〃 〃 〃 1	・学級、講座、サークルなどに対する啓発 ・地域各種団体との連携協力による啓発活動 ・ ・ ・ ・ ・クリーン運動の協力	
地域学校協働	地域学校協働本部事業 ・学校支援活動 ・地域学校協働活動	三河台小 岳陽中	年間	随時	・学校の要望に沿った地域内ボランティアの発掘とコーディネート（授業の補助・校舎内外の環境整備・登下校中の安全確保・学校行事運営の支援等） ・学校がより幅広い層の地域住民や団体とのネットワークを形成し、双方向で関わり合う活動（地域課題解決学習、地域貢献活動） ・対象学校長との打合せ（基本方針・要望）と年間のふりかえり（評価・反省）	

(3) 渡利学習センター



所在地	〒 960-8141 福島市渡利字岩崎町190 TEL 523-1551 FAX 523-1592		
交通機関	福島交通バス、渡利南回り 「渡利病院前」停留所より徒歩10分		
設置年月日	昭和54年7月1日	建設年月日	令和2年11月16日
面積と構造	(建物) 1,490.91㎡ (敷地) 8,977.54㎡ (構造) RC2F		
人口 (R7.4.1現在)	(男)7,571人 (女)7,806人 (計)15,377人	世帯数	7,415世帯
地区面積	32.09km ²	学校数	(小) 3 (中) 1 (高) 2
職員数	館長 1名 職員 2名 生涯学習指導員 1名 技能職員 1名 その他 1名 計 6名		
委員 指導員数	運営審議委員 9名 青少年指導員 1名 女性教育指導員 1名		

<地域の概要>

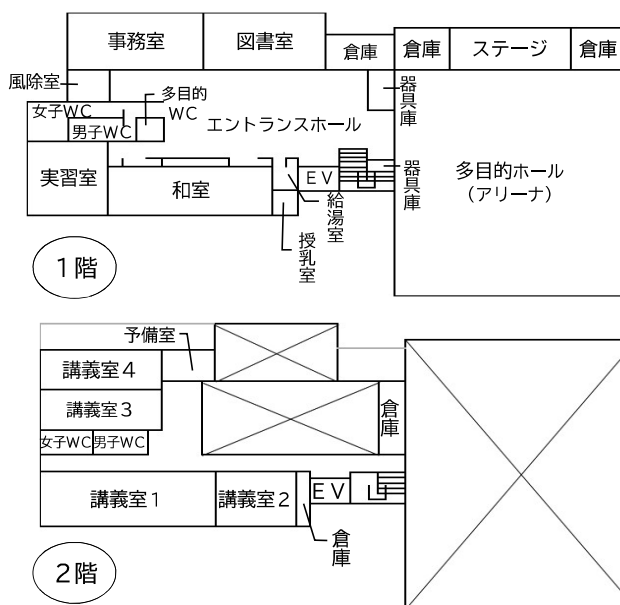
渡利地区は阿武隈川の東岸に位置し、戦前は農業地帯として栄えた。戦後は、市街地に近いという地理的条件もあり、南向台ハイタウンの造成など、住宅地としてめざましい発展を遂げている。地区の西側を4号国道、中央部を114号国道の2本の幹線が通っており、中心には、小中学校と高等学校、専門学校、医療機関等がある。

また、本地区には「花見山」、「ウォーキングトレイル」、「小鳥の森」などの観光資源や土木遺産に認定された福島の石橋群のひとつ「甚念坊山2号橋」、子ども達の身近な自然体験の場「水辺の楽校」などがあり、自然にふれあうことのできる住宅地としてますます発展が期待されている。

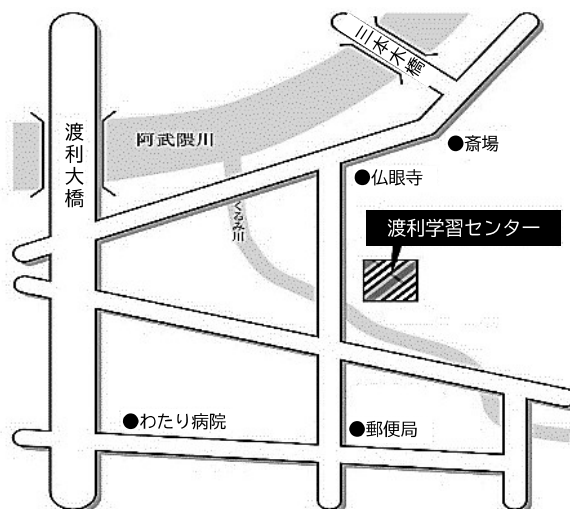
立子山地区は市の南東部に位置し、阿武隈山系にある農山村地帯である。地区の中心部には支所、小学校、多目的集会所、農村広場があり、地域住民の拠点となっている。

また、西側の阿武隈峡には鮎滝渡船場跡や蓬莱岩があり、県指定名勝地となっているほか、地区の特産物として凍み豆腐が広く知られている。

平面図



案内図



<地域、施設の案内紹介>

○学習センター施設概要

1階	和室	75.0 m ²	65人
	実習室	57.0 m ²	25人
	多目的ホール	543.0 m ²	300人
	図書室	70.0 m ²	
	蔵書		10,543冊
2階	講義室1・2	140.0 m ²	72人
	講義室3	40.0 m ²	22人
	講義室4	38.0 m ²	20人
	(防音室)		
	駐車可能台数		60台

<運営方針>

- (1) 生涯学習活動を支援する「学びの拠点」として、地域に親しまれ利用される環境づくりに努める。
- (2) 多様化する住民ニーズに対応した学びの機会の創出に努める。
- (3) 多様な主体との連携・協働や地域人材の支援による、「開かれ、つながる社会教育」の充実に努める。
- (4) 各種団体・サークルの育成支援を図り、団体活動の促進と充実に努める。
- (5) 世代間交流・地域交流事業の実施・推進に努める。
- (6) 防災拠点（避難所）としての役割に努める。

<特色ある事業>

郷土の民俗 わたり青空図書館 ぶらっと談話室

<主な事業>

領域	事業名	対象	時期	回数	事業内容
教少 育年	わんぱくキッズ 渡利寺子屋	小学4～6年生 小学生	5月～2月 7月・12月	10 2	・ 野外キャンプ、料理教室、宿泊研修などの体験活動 ・ 小学生を対象とした長期休業期間中の学習支援
成人 教育	各種青年事業	18歳～30歳代の 男女	4月～3月	12	・ 一般教養、レクリエーション・健康等の学習
	渡利レディースセミナー	渡利地区の 成人女性	5月～3月	18	・ 一般教養や生活技術の習得、レクリエーション等幅広い学習
	たつこレディース	立子山地区の 成人女性	4月～3月	12	・ 一般教養や生活技術の習得、レクリエーション等幅広い学習
	市民学校	一般市民	4月～3月	12	・ 渡利・立子山地区の幅広い世代を対象に料理、手芸、芸術、スポーツ等の専門的内容について短期間、集中的に学習
	ふるさと学びカレッジ	〃	11月～12月	随時	・ 地域の歴史について学び、健康に地域で活動していく為のきっかけづくり
	市民学習プラン支援事業	〃	4月～3月	随時	・ 地域団体等の企画による公共性の高い事業の実施を支援する
高 教 育 者	ICT活用セミナー	一般市民	年間	5	・ 主に初心者向けのパソコン講習会を開催する
	渡利寿大学	60歳以上の男女	4月～3月	12	・ 歴史、時事、健康、安全などの講話及び施設見学、研修、懇親など
	渡利グレートアカデミー	おおむね60歳以上の 男女	〃	22	・ 一般教養、歴史、健康、時事等の学習
教 家 育 庭	立子山寿講座	立子山の 60歳以上の男女	3月	1	・ 施設見学、健康講話など
	コアラ学級 コアラファミリー (家庭教育特別講座)	2～4歳児 と保護者 2歳児～小学4年生 と保護者	5月～2月 10月～1月	10 4	・ 親子でのふれあい体操を通して、健康づくりやしつけを学ぶ ・ 体験活動を通じて親子のふれあいと社会性を高める
文 化 ・ 芸 術	第42回文化祭	一般市民	10月	1	・ 渡利・立子山地区の文化祭 (各種利用団体等による学習成果の発表)
	郷土の民俗(年中行事)	親子	5・9・1月	3	・ 年中行事である端午の節句、お月見、だんごさしを行い、郷土の民俗を伝承する
体 育 ・ レ ク	第33回十方劫市民ハイキング	一般市民	4月29日	1	・ 地区内最高峰へのハイキングと史跡の解説
	館長杯バドミントン大会	バドミントン 愛好者	3月	1	・ クラス別によるバドミントン大会
	南方部親善球技大会	成人	8月	1	・ 渡利・南向台・立子山・杉妻・蓬萊、各5体協同の親善交流会
	グランドゴルフ大会 新春囲碁大会	愛好者 囲碁愛好者	10月 1月	1 1	・ 愛好者によるグランドゴルフ大会 ・ クラス別による囲碁大会
住 民 運 動	明るい正しい選挙推進啓発	一般市民	年間		・ 関係機関団体と連携をとりつつ啓発運動を推進する
	市民憲章の普及啓発	〃	〃		
	青少年健全育成運動の推進	〃	〃		
地 域 学 校 協 働	地域学校協働本部事業 ・ 学校支援活動 ・ 地域学校協働活動	渡利小 南向台小 立子山小 渡利中	年間	随時	・ 学校の要望に沿った地域内ボランティアの発掘とコーディネート(授業の補助・校舎内外の環境整備・登下校中の安全確保・学校行事運営の支援等) ・ 学校がより幅広い層の地域住民や団体とのネットワークを形成し、双方向で関わり合う活動(地域課題解決学習、地域貢献活動) ・ 対象学校長との打合せ(基本方針・要望)と年間のふりかえり(評価・反省)
	わたり青空図書館	一般市民	年間	12	・ 寄付された本の無料持ち帰りと無期限貸出とともに、来館者同士の交流を目的とする
そ の 他	ぶらっと談話室			12	・ 集まってきた方が自由にお話する場所
	体験入門講座			随時	・ 利用団体の会員拡充と活動内容の紹介

(4) 杉妻学習センター



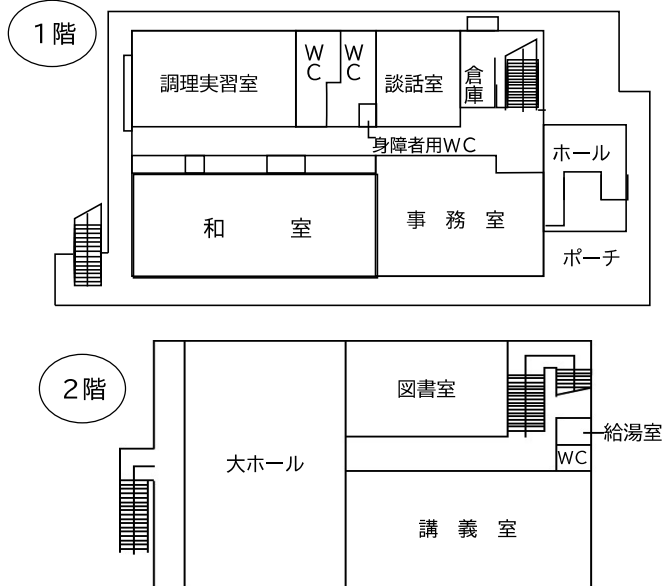
所在地	〒 960-8153 福島市黒岩字田部屋53-2 TEL 545-5717 FAX 545-5738		
交通機関	福島交通バス バイパス経由医大線「鳥谷野扇田」 徒歩5分		
設置年月日	昭和54年4月1日	建設年月日	昭和54年3月31日
面積と構造	(建物) 671.69㎡ (敷地) 1,372.88㎡ (構造) RC2F		
人口 (R7.4.1現在)	(男)5,721人 (女)5,736人 (計)11,457人		世帯数 5,549世帯
地区面積	5.82km ²	学校数	(小) 1 (中) - (高) -
職員数	館長 1名 職員 2名 生涯学習指導員 1名 技能職員 1名 その他 1名 計 6名		
委員 指導員数	運営審議委員 9名 青少年指導員 1名 女性教育指導員 1名		

<地域の概要>

杉妻地区は、中心市街地南に位置し、郷野目・鳥谷野・太平寺・黒岩・伏拝・あさひ台・弥生の7地区からなり、国道4号、国道115号・西部環状道路等幹線道路網が整備され、飲食店や大型店舗の進出、また、各種製造業の工場も誘致され、商工業の発展が著しい。

歴史的には、古墳群が多く点在しており、満願寺虚空蔵堂をはじめ寺社仏閣や伝説が数多く残されている。各町内会の活動が盛んに行われ、商工業との交わりも多く、互いに支えあう調和のとれた地域を形成している。

平面図

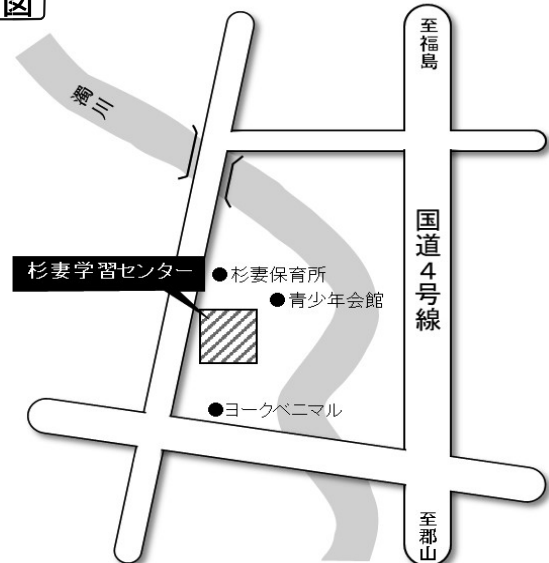


<地域、施設の案内紹介>

○学習センター施設概要

1階	和室	91.8 m ²	60人
	実習室	52.7 m ²	30人
2階	ホール	129.0 m ²	100人
	講義室	91.0 m ²	50人
	図書室	50.0 m ²	
	蔵書		8,623冊
駐車可能台数		13台	

案内図



<運営方針>

学習センターでの学びの場をとおして、個々人が豊かなライフステージで活躍し、さらに、新しい未来の創造にむけた活動ができるように生涯学習の推進をはかる。

- (1) 生涯学習の拠点として親しまれ、「いつでも」「だれでも」が気軽に利用できる学習センターづくりを目指す。
- (2) 地域住民の「声」を大切に、住民ニーズに柔軟に対応した学習の機会を提供するとともに、教養・文化の向上に努める。
- (3) 団体・サークルの支援に努め、関係機関等との世代を越えた連携強化により、明るい地域づくりに貢献する。
- (4) 次世代につながる新しい「地域の人材」の活用と「ボランティア意識」の醸成に努め、地域参画力を高めるよう努力する。

<特色ある事業>

わくわく子育て健康教室、「ほっと一息」コンサート、子育てカフェ、個人ごとの課題に応じたパソコンアドバイス会

<主な事業>

領域	事業名	対象	時期	回数	事業内容	
少年教育	すぎのめわんぱくクラブ	小学4～6年生	5月～2月	10	・小学4～6年生を対象に年間を通じて各種体験講座を開催する	
	夏休み小学生対象事業	小学生3～6年生	7月～8月	8	・夏休みに理科の実験教室開催や部屋を開放し子どもの居場所（勉強場所）をつくる	
	宿泊学習事業	小学5・6年生	7月	1	・夏休みを利用して子どもたちが宿泊体験活動をする	
成人教育	教女性	成人女性	5月～2月	13	・参加者の共通テーマのもと、実習、講義を実施し、魅力ある女性ををめざす	
	各種講座等	ベターライフセミナー（ふるさと学びカレッジ）	一般市民	5月～3月	16	・一般成人向け、教養、健康、文化等、ライフワーク発見のきっかけづくりを支援する
		市民講座	〃	年間	13	・生活、文化、教養、スポーツ、趣味を中心に講座を開講する
		パソコンアドバイス講座	〃	11月・12月	4	・一般向けパソコン講習会を開催する
		いい街“すぎのめ”さんぽ道	〃	年間	3	・地元商店街と連携した講座を開講することにより、地元の活性化と理解を深める
		PC操作アドバイス会	〃	4月～3月	11	・パソコンを習いたい方を対象にパソコンを持参していただき月1回、ボランティアがアドバイスを行う
		“ほっと一息”コンサート	〃	12月	1	・師走のひとつとき、お茶を飲みながら軽音楽のLIVEを楽しむ
		市民学習プラン支援事業	〃	年間	随時	・地域団体等の企画による公共性の高い事業の実施を支援する
高齢者	杉妻寿大学	60歳以上	5月～3月	11	・時事解説、健康管理、講話、館外学習、選択学習、音楽教室などの学習会を行う	
家庭教育	すこやかファミリー教室	1～4歳児と保護者	4月～3月	20	・音楽療法を中心に、家庭の教育力に寄与する学習活動を目指し、健やかな心と体を育む情操教育を行う	
	思春期家庭教育講座	中学生と保護者	11月	1	・中学校における家庭教育講座	
	おひざにだっこのおはなし会	乳幼児と保護者	4月～3月	9	・絵本の読み聞かせをする（ボランティアによる事業）	
	わくわく子育て健康教室	〃	7月・2月	6	・4ヶ月からひとり歩き前までの赤ちゃんとお母さんを対象に体操やおはなし会等で交流を図る	
	子育てカフェ	〃	4月～3月	12	・お母さん同士で自由におはなしができるスペースを開放する	
芸術・文化	杉妻地区文化祭	一般市民	10月	1	・団体、グループ、一般住民の創作活動の発表、展示、鑑賞交流	
	杉妻地区芸能祭	〃	4月	1	・杉妻芸能協会主催、民謡、舞踊等の発表交流	
	すぎのめ短歌大会	〃	2月	1	・短歌愛好者の作品発表交流	
レク・体育	新春囲碁・将棋大会	一般市民	1月	2	・囲碁、将棋の地区内愛好者の交流と親善対局	
	福島市南方部親善球技大会（ソフトボール・家庭バレーボール）	成人	8月	1	・渡利、杉妻、蓬萊、三学習センター合同親善交流試合	
	各種スポーツ大会	一般市民	年間	2	・地区体協や利用団体連絡会と共催する地区運動会やスポーツ大会	
運住動民	明るく選挙啓発運動	一般市民	年間	随時	・明るく正しい選挙の啓発運動を推進する	
	青少年健全育成運動	〃	〃	〃	・地区推進協会と共に関わりあう青少年の健全育成事業を推進する	
地域学校協働	地域学校協働本部事業	清明小	年間	随時	・学校の要望に沿った地域内ボランティアの発掘とコーディネート（授業の補助・校舎内外の環境整備・登下校中の安全確保・学校行事運営の支援等）	
	・学校支援活動 ・地域学校協働活動	杉妻小 福島第一中				・学校がより幅広い層の地域住民や団体とのネットワークを形成し、双方向で関わり合う活動（地域課題解決学習、地域貢献活動）
					・対象学校長との打合せ（基本方針・要望）と年間のふりかえり（評価・反省）	

(5)-I 蓬萊学習センター



所在地	〒 960-8157 福島市蓬萊町四丁目1番2号 TEL 549-1821 FAX 549-1875		
交通機関	福島交通バス、バイパス経由医大線「蓬萊小学校」 徒歩1分		
設置年月日	平成5年10月1日	建設年月日	平成5年9月30日
面積と構造	(建物) 1,720.02㎡ (敷地) 3,771.00㎡ (構造) RC1F		
人口 (R7.4.1現在)	(男) 4,496人 (女) 5,022人 (計) 9,518人		世帯数 4,633世帯
地区面積	8.94km ²	学校数	(小) 2 (中) 1 (高) -
職員数	館長 1名 職員 2名 生涯学習指導員 1名 技能職員 1名 図書職員 3名 その他 1名 計 9名		
委員 指導員数	運営審議委員 9名 青少年指導員 1名 女性教育指導員 1名		

<地域の概要>

福島市の南方部に位置し、市の中心部から4号国道を7km程南へ進んだところに拓かれた街、蓬萊ニュータウンと歴史のある清水町、田沢地区との包摂された地域である。

地域の中央には、市役所支所、郵便局、銀行等の公共施設があり、恵まれた快適な住宅環境にある。また、野球場、テニスコート等のスポーツ施設公園や豊かな緑に包まれた周辺一帯は住民のいこいの場となっている。

近隣には福島大学、県立医科大学、同附属病院等があり、民間の宅地開発も進み、着実に発展をみせている。

<地域、施設の案内紹介>

- 名所 県指定名勝および天然記念物
阿武隈峡(蓬萊岩)
- 旧跡 根子町宿場
- 施設 清沢体育館
(運動場、アーチェリー50m)
蓬萊中央公園
(野球場、自由広場、多目的運動広場)

○学習センター施設概要

- 多目的ホール 468㎡
 - ・ バレーボール 1面
 - ・ ミニバスケット 1面
 - ・ バドミントン 2面
 - ・ 卓球台 8台
 - ・ 更衣室
 - ・ ステージ
 - ・ 放送設備
 - ・ 暗幕設備
 - ・ ピアノ 1台
 - ・ イス 400脚

- 図書室 489㎡ 蔵書 45,201冊
 - ・ こどものへや
 - ・ くつろぎコーナー
 - ・ 読書コーナー
 - ・ AV〔ビデオ・LD・CD〕コーナー

- 視聴覚室 68㎡ 収容人数 30人
 - ・ 液晶プロジェクター VTR 0HC16mm映写設備

- 研修室 66㎡ 収容人数 30人

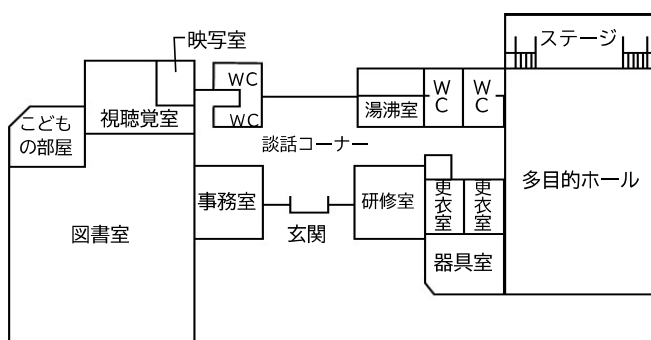
談話コーナー

駐車可能台数 25台

案内図



平面図



(5)-II 蓬萊学習センター分館



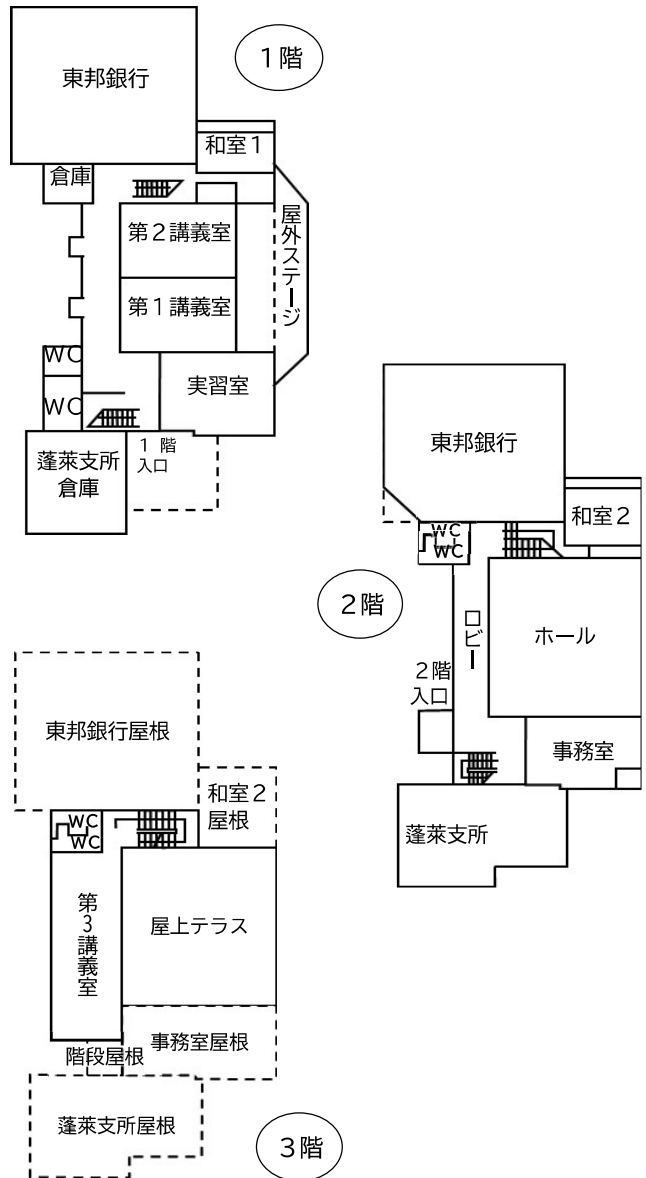
所在地	〒 960-8157 福島市蓬萊町四丁目1-1 TEL 549-1636 FAX 549-1641		
交通機関	福島交通バス バイパス経由医大線「蓬萊小学校」 徒歩1分		
設置年月日	昭和50年10月1日	建設年月日	昭和50年10月1日
面積と構造	(建物) 1,170.62㎡ (敷地) 513.61㎡ (構造) RC3F		
職員数	生涯学習指導員 1名	その他 1名	計 2名

<地域、施設の案内紹介>

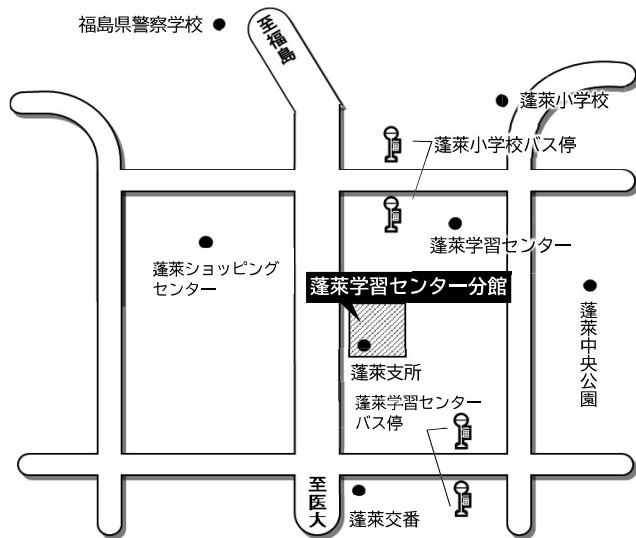
○学習センター分館施設概要

1階	和室 1	54.2 ㎡	20 人
	実習室	80.1 ㎡	30 人
	第一講義室	79.8 ㎡	40 人
	第二講義室	79.8 ㎡	40 人
2階	ホール	211.8 ㎡	120 人
	和室 2	45.3 ㎡	20 人
3階	第三講義室	124.3 ㎡	80 人
駐車可能台数	35 台		

平面図



案内図



<運営方針>

地区の特性を活かし、多様化する学習ニーズに応じた事業を展開することで、自発的な学習意欲を喚起し、地域住民の健康的で充実した生活に寄与するとともに「誰もが」「いつでも」「気軽に」施設を利用できる環境を整えることにより、地域住民の「きずな」づくりの拠りどころとなることをめざす。

- (2) 地域住民の要望を把握し、市民との協創による事業の推進に努める。
- (3) 地域住民の身近な学習・スポーツ・交流の場として、いつでも、誰でも、気軽に利用できる環境づくりに努める。
- (4) 地域住民の心と体の健康に寄与できる事業を推進する。
- (5) 地域全体で学校教育を支援する体制づくりの推進を図る。

- (1) 地域住民の自己実現を目指す生涯学習の推進・支援に努める。

<特色ある事業>

小学3～6年生を対象とした「ちびっこ教室」、小学4～6年生を対象とした「ほうらい科学クラブ」
 高齢者を対象とした「蓬萊アカデミー」、「蓬萊寿大学」
 女性を対象とした「ほうらいレディースカレッジ」
 2～4歳までの子どもとその保護者を対象とした「メダカの学校」

<主な事業>

領域	事業名	対象	時期	回数	事業内容	
少年教育	ほうらい子どもひろば	小学生・中学生	7月～1月	3	・「生きる力」を育む ・野外活動を中心とした体験学習 ・実験や工作などを中心としたさまざまな科学体験	
	ちびっこ教室	小学生	5月～12月	8		
	ほうらい科学クラブ	〃	12月～3月	5		
成人教育	教青年 ヤングカレッジ	青年	4月～3月	1	・スポーツ、文化等の講座を通じた仲間づくり	
	教女性 ほうらいレディースカレッジ	成人女性	4月～3月	20	・豊かな人間性を培い社会参画への意識形成	
	各種講座等	市民学校	一般市民	4月～3月	28	・一般教養、生活文化、スポーツ等の学習活動の場の設定 ・IT活用を学ぶ ・団塊の世代を中心とした学習 ・地域団体等の企画による公共性の高い事業の実施を支援する
		ICT活用セミナー	〃	7月～3月	4	
ふるさと学びカレッジ 市民学習プラン支援事業		〃 〃	7月～2月 年間	2 随時		
高齢者教育	蓬萊寿大学	高齢者	5月～3月	16	・高齢者相互の親睦と健康増進を図る ・高度な内容を体系的に学習する	
	蓬萊アカデミー	〃	〃	17		
教家庭教育庭	メダカの学校	2～4歳児の保護者	6月～1月	4	・子どもの理解と親の自覚と態度を学ぶ	
文・芸・術文化	地区文化祭	一般市民	10月	1	・作品の展示等	
体育・レク	スポーツ教室	一般市民	1月～2月	1	・基礎技術の習得 ・ソフトボール大会、家庭バレーボール大会 ・ダブルス町会対抗 ・クラス別個人戦 ・町会対抗 ・団体・個人戦	
	ソフトバレーボール大会	〃	1月	1		
	南方部親善球技大会	南方部	8月	1		
	卓球大会	一般市民	12月	1		
	囲碁、将棋大会	〃	1月	1		
	館長杯家庭ソフトバレーボール大会 館長杯木球大会	〃 小学5年生以上	7月 10月	1 1		
運住動民	明るい選挙推進啓発	一般市民	年間	随時		
地域学校協働	地域学校協働本部事業 ・学校支援活動 ・地域学校協働活動	蓬萊小 蓬萊東小 蓬萊中	年間	随時	・学校の要望に沿った地域内ボランティアの発掘とコーディネート（授業の補助・校舎内外の環境整備・登下校中の安全確保・学校行事運営の支援等） ・学校がより幅広い層の地域住民や団体とのネットワークを形成し、双方向で関わり合う活動（地域課題解決学習、地域貢献活動） ・対象学校長との打合せ（基本方針・要望）と年間のふりかえり（評価・反省）	

(6)-I 清水学習センター



所在地	〒 960-8252 福島市御山字松川原5-1 TEL 557-7400 FAX 557-7401		
交通機関	福島交通バス イオン福島線「清水学習センター前」 停留所 徒歩0分		
設置年月日	平成9年4月1日	建設年月日	平成8年11月21日
面積と構造	(建物) 2,159.90㎡ (敷地) 12,629.46㎡ (構造) RC一部SIF		
人口 (R7.4.1現在)	(男)15,652人 (女)17,282人 (計)32,934人		世帯数 15,603世帯
地区面積	9.17km ²	学校数	(小) 4 (中) 1 (高) 1
職員数	館長 1名 職員 3名 生涯学習指導員 1名 技能職員 1名 図書職員 3名 その他 1名 計 10名		
委員 指導員数	運営審議委員 9名 青少年指導員 1名 女性教育指導員 1名		

<地域の概要>

清水地区は自然公園として市民から親しまれる信夫山の北部および西部に位置し、森合、泉、御山、南沢又、北沢又、野田町の一部の地区から成る。

福島駅から約4kmの市中央部に隣接しており、交通網の整備と共に急激に市街化が進んでいる。3万3千余の多数の人口を有する。

<施設の案内紹介>

清水学習センターは、従来の公民館との一体化により、清水学習センターが拠点となり、清水学習センター分館（旧清水公民館）と共に生涯学習の事業を実施している。

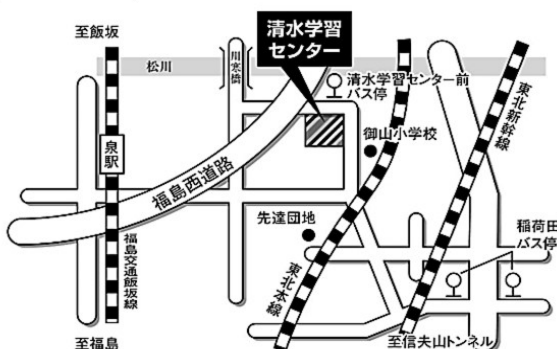
地域の連帯協創を図るために関係団体と連携し、青少年教育の充実と体系化に努め、女性教育では、身近な生活課題の学習に力を注いでいる。さらに成人を対象とした家庭教育、市民学校、高齢者教育など各領域にわたり調和と統一のある事業活動を推進し、生活文化の向上と、明るく住みよいまちづくりに努めている。

清水学習センターの施設利用については、地区の住民及び団体の他、市内各地区からの利用が活発である。

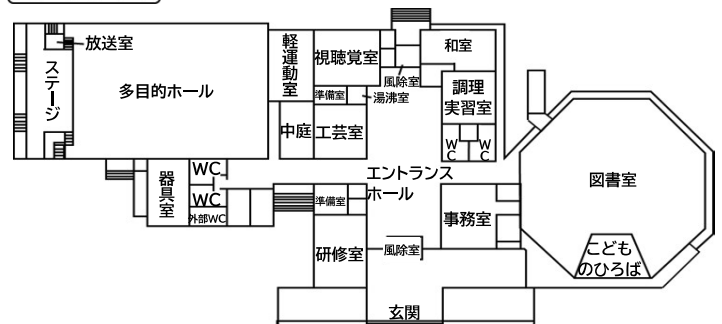
○学習センター施設概要

- 図書室(489㎡)
 - ・蔵書49,937冊
 - A V(ビデオ・CD)等コーナー こどものひろば
 - 多目的ホール (576㎡)
 - ・バレーボール1面 バドミントン2面
 - ミニバスケットボール1面
 - ・卓球台7台 ステージ ピアノ1台 舞台照明設備
 - 放送設備 暗幕設備 イス350脚
 - 軽運動室 (57㎡) 壁面ミラー付
 - 視聴覚室 (67㎡) 収容人員45人 机 椅子
液晶プロジェクト VTR OHC
16mm映像設備 ピアノ1台
 - 研修室 (70㎡) 収容人員45人 机 椅子
 - 和室 (49㎡) 収容人員45人 23畳間
茶道用電熱器 水道
座卓 座布団
 - 調理実習室 (50㎡) 収容人員24人 丸椅子
調理台4台 電気オーブンレンジ
 - 工芸室 (54㎡) 収容人数25人
工芸台5台 電気陶芸窯
電気工作設備 イーゼル
 - エントランスホール
 - ・談話コーナー 情報コーナー
 - ・オストメイト対応WC
 - その他
 - ・テニスコート1面 多目的広場 児童遊び場
- 駐車可能台数 95台 (第1㊦40台、第2㊦55台)

案内図



平面図



(6)-II 清水学習センター分館



所在地	〒960-8254 福島市南沢又字柳清水8-1 TEL 557-1411 FAX 557-1464		
交通機関	福島交通飯坂線「泉駅」徒歩3分		
設置年月日	昭和32年4月1日	建設年月日	昭和46年3月25日
面積と構造	(建物)674.00㎡ (敷地)1,383.50㎡ (構造)RC2F		
職員数	生涯学習指導員 1名 その他 1名 計 2名		

〈地域の概要〉

清水学習センター分館(旧清水公民館)は、清水学習センターと共に、地区の生涯学習の一翼を担う事業を継続して実施している。平成14年には、清水小学校の余裕教室を一部改修し、学習センター機能を補完する施設(名称「清水ゆうがく館」)を開設し、生涯学習の場として活用している。

〈施設の案内紹介〉

○清水学習センター分館施設概要 (土足禁止)

- 1階 講義室 (91.75㎡)
 収容人員40人
 机 椅子
 ピアノ
- 研修室 (53.38㎡)
 調理実習室 (45.00㎡)
 収容人員25人
 調理台
 (ガス2台 電気2台)
- 和室(小) (39.03㎡)
 収容人員15人
 水道 座卓
- 2階 ホール (152.15㎡)
 収容人員100人
 ピアノ
 スクリーン ビデオ
 アンプ 机 椅子
- 和室(大) (92.15㎡)
 収容人員50人
 座卓 座布団

駐車可能台数 20台

○清水ゆうがく館施設概要 (土足禁止)

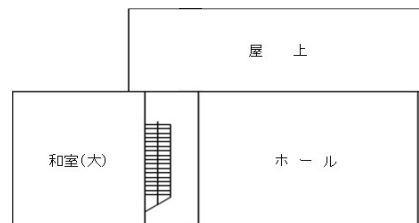
- 1階 第1講義室 64.0㎡ 30人
 第2講義室 86.0㎡ 40人 水道
- 駐車可能台数 20台

平面図

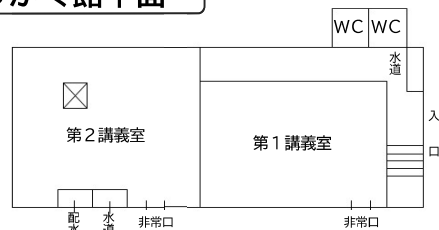
1階



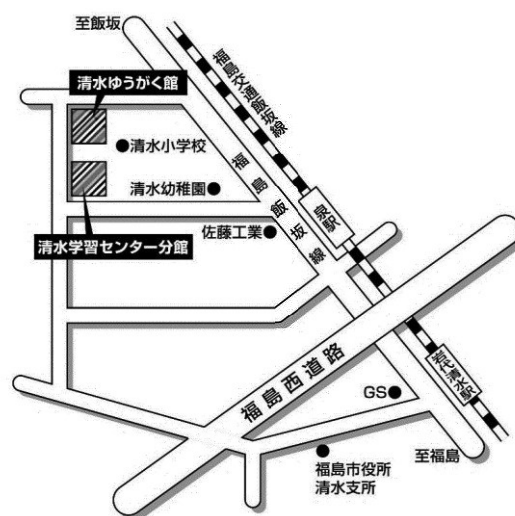
2階



清水ゆうがく館平面



案内図



〈運営方針〉

- 市民との協創による生涯学習のまちづくりを進めるため、絆づくりと活力あるコミュニティ形成に向けた学習活動を推進するとともに、地域住民が主体となって学習活動を行い地域コミュニティの再生を実現していくために、多様な学習ニーズに応え、地域での学習活動を支えることを通じて、地域の中に多くの人材を育成する。
- また、地域課題に適切に対処し、より住民に密着した施設とするため、地域や社会教育団体等との連携に努めるほか、各団体との橋渡しをすることでより効果的に生涯学習を推進する。
- (3) 団体・サークルの育成、支援、及び関係機関・団体との連携強化。
 - (4) 生涯学習の相談機能の充実と、生涯学習に関する情報提供の促進。
 - (5) 地域の人材等を活かした市民との協創による事業の推進と、市民運動の促進。
 - (6) 施設の立地、及び機能の特性を活かした有効利用の推進。
 - (7) 「学校支援地域本部」の推進。
 - (8) ICT（情報通信技術の使い方）に対応した学習の推進。
- (1) 生涯学習活動の拠点として、集団学習及び個人学習の学習環境の充実。
 - (2) 社会の変化と多様なニーズに応える学級・講座を通じた教養、芸術、文化の向上。

〈特色ある事業〉 遊びの広場、思春期セミナー、不老の広場

〈主な事業〉

領域	事業名	対象	時期	回数	事業内容	
教 少 育 年	少年育成会研修会 遊びの広場 世代間交流事業	一般市民 小学4～6年生 小学生・高齢者	7月 年間 9月	1 10 1	・少年会・子ども会の育成指導上の研修と情報交換 ・遊びを通じた心身の育成 ・子どもと高齢者が遊びや体験を通しての交流	
	女性 教育	しみず女性スクール(午前コース) " (夜間コース) レディースジャンプ 清水地区女性大会	成人女性 " " 清水地区女性	5～2月 5～2月 11月 2月	10 10 1 1	・一般教養・健康・社会生活に関する学習 " ・学習課題の協議、各学級間の交流を図る ・住みよい地区を創るため
教 青 育 年		清水青年スキルアップ講座	一般市民	5～3月	8	・青年に対し主体的活動を支援する
成 人 教 育	各種講座等	市民学校	一般市民	6月～3月	6	・現代的課題や人々から要望のある各種学習の場の提供と自主活動の助長
		豊かなセカンドライフ講座	60歳前後の方	年間	12	・団塊の世代を中心とした豊かな趣味の世界を広げる体験学習活動
		ICT活用セミナー (スマホ写真講座)	一般市民	2月	2	・スマホカメラアプリの基本操作や加工技術の修得
		スマートフォン活用支援事業 高齢者と女性のつどい 市民学習プラン支援事業	一般市民 高齢者・成人女性 一般市民	8月～12月 11月 年間	4 1 随時	・スマートフォンの基本的な操作方法の習得 ・高齢者と女性の交流による明るい地域社会の創成 ・市民団体が主体的に企画、立案した講座の支援
高 齢 者 教 育	生きがい広場 不老の広場 高齢者の意見発表大会	高齢者 " "	5月～2月 5月～2月 3月	10 10 1	・生きる喜びと仲間意識の醸成 ・豊かな老後の生活と高齢者の果す役割 ・人前で発表することにより自信をもって健やかに生きる糧とする	
	家 庭 教 育	すくすく親子広場(1歳～4歳児)	親子	6月～3月	9	・幼児とその保護者を対象に集団でのルールと子育てについて学習する
		清水思春期セミナー	一般市民	6月～2月	8	・子どもたちを取り巻く諸問題と成長の変化に対する親(大人)のかかわり方の学習
芸 術 ・ 文 化	地区文化祭	青少年・成人	10月	1	・団体・一般住民等の創作活動の発表と交流	
	生涯学習のつどい	"	9月	1	・団体の創作活動の発表と地域住民との交流	
体 育 ・ レ ク	テニススクール " (ナイター) 清水地区親善テニス大会 体育協会情報交換会	一般市民 " " "	4月・5月 5月～9月 5月 3月	4 6 1 1	・テニス普及・向上のため、初級・中級コース実技 " ・クラス別ダブルス大会 ・各体育協会の活動内容等の情報交換	
	運 住 動 民	明るい選挙推進啓発	一般市民	年間	常時	・関係機関団体と連携をとりつつ啓発運動を推進する
	地 域 学 校 協 働	地域学校協働本部事業 ・学校支援活動 ・地域学校協働活動	森合小 清水小 御山小 北沢又小 清水中	年間	随時	・学校の要望に沿った地域内ボランティアの発掘とコーディネート(授業の補助・校舎内外の環境整備・登下校中の安全確保・学校行事運営の支援等) ・学校がより幅広い層の地域住民や団体とのネットワークを形成し、双方向で関わり合う活動(地域課題解決学習、地域貢献活動) ・対象学校長との打合せ(基本方針・要望)と年間のふりかえり(評価・反省)

(7) もちずり学習センター



所在地	〒960-8204 福島市岡部字高畑46 TEL 534-2470 FAX 534-2473		
交通機関	福島交通バス 文知摺・掛田行「高畑」徒歩2分 月輪・梁川行「岡部」徒歩6分「東部支所前」徒歩1分		
設置年月日	昭和56年4月1日	建設年月日	昭和56年3月20日 平成18年1月23日増改築
面積と構造	(建物)1,316.40㎡ (敷地)6,360.00㎡ (構造)RC一部S2F		
人口 (R7.4.1現在)	(男)5,097人 (女)5,416人 (計)10,513人		世帯数 4,757世帯
地区面積	32.65km ²	学校数	(小)2 (中)- (高)-
職員数	館長1名 職員2名 生涯学習指導員1名 技能職員1名 図書職員3名 その他1名 計9名		
委員 指導員数	運営審議会委員9名 青少年指導員1名 女性教育指導員1名		

〈地域の概要〉

もちずり地区は、毎年、白鳥が飛来することで市民に親しまれている阿武隈川の東部に位置し、岡山・大波・月輪・向瀬上地区から構成されている。当地区は、福島市の中心市街地より近距離にあり、宅地化の進行、さらに福島工業団地の造成などにより着実な発展を続けている。

農業面では、都市近郊型農業としてきゅうり栽培が盛んで、県内有数の生産量を誇っている。

また、松尾芭蕉ゆかりの文知摺観音・月輪渡し跡、さらに宮畑遺跡等の史跡・文化財が多数点在するほか、小鳥の森も有するなど、自然と文化の調和のとれた地域である。

〈施設の案内紹介〉

○学習センター施設概要

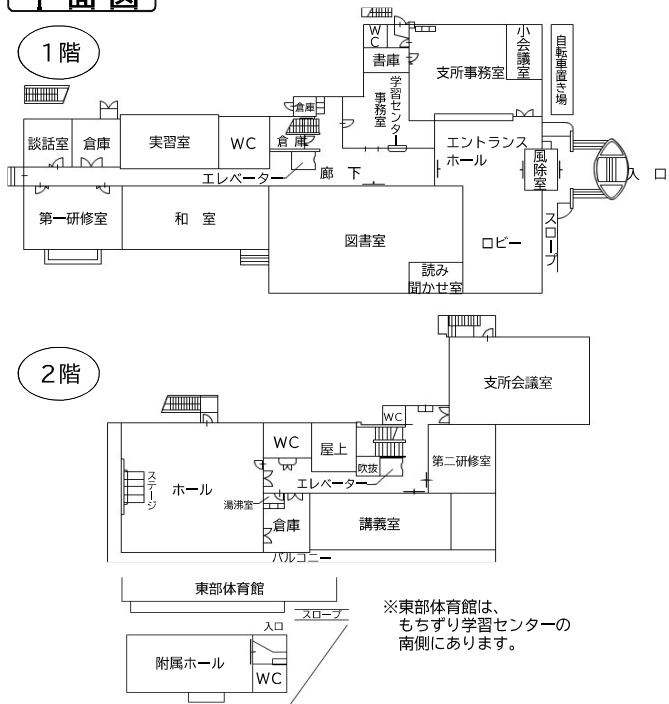
図書室 212㎡
蔵書数 33,211冊
AVコーナー
(ビデオ・DVD等)

読み聞かせ室

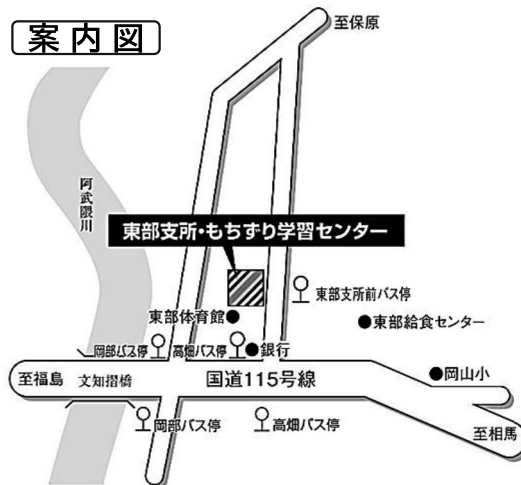
ホール	201㎡	120名
附属ホール	117㎡	40名
第一研修室	60㎡	30名
講義室	90㎡	60名
第二研修室	50㎡	20名
和室	90㎡	80名
実習室	52㎡	30名
談話室	23㎡	10名
その他	エントランスホール ロビー	

駐車可能台数 100台 (東部支所・東部体育館共用)

平面図



案内図



〈運営方針〉

多様化する地域住民の生涯学習に対するニーズと地域課題等を的確に把握し、幅広い世代の学習意欲向上につながる魅力ある事業の研究と推進に努め、活気ある生涯学習拠点としての機能の充実を図る。

- (1) 社会教育、スポーツ・文化活動及び個人学習の拠施設として、健康で心豊かな活力ある地域住民の育成に努める。
- (2) 社会教育関係団体との連携を深め、地域における各種団体活動の促進と活動内容の充実を支援する。

(3) 地域に根ざした学習センターとして、地域住民の利用しやすい学習機能の充実と安心・安全に利用できる施設の環境整備に努める。

(4) 地域住民や関係団体との協創による事業の推進を図り、明るく住みよい地域づくりに努める。

(5) 地域学校協働本部事業の推進を図る。

〈特色ある事業〉いきいきふれあい広場、ひよこの広場、夏の宿題ごちそうSUMMER！

〈主な事業〉

領域	事業名	対象	時期	回数	事業内容
青少年教育	ジュニアリーダー教室	少年	5月～2月	12	<ul style="list-style-type: none"> ・小学5・6年生対象、少年会リーダーとしての知識技術の習得 ・小学生対象、調理や門松作りなど多様な経験を積む ・幼稚園（年長）～小学4年生対象、世代間交流事業 ・中学生向け夏休み特別講座
	子どもチャレンジ	少年	7月～1月	4	
いきいきふれあい広場	少年	5月～2月	11		
夏の宿題ごちそうSUMMER！	少年	7月～8月	4		
教育年	つながるフィットネス	青年	4月～3月	12	・ヨガ・ウェーブストレッチ等
成人教育	家庭教育学級（ひよこの広場） 子育て広場 親と子と本のつどい	幼児と保護者 " "	5月～3月 5月～3月 11月	9 11 1	<ul style="list-style-type: none"> ・0～4歳児と保護者対象、幼児の心身発達の学習 ・未就園児と保護者対象、子育ての情報交換、育児相談 ・絵本の読み聞かせ、人形劇等
	女性学級もちずりレディース もちずり女性講座 女性講座（大波地区） 女性団体研修会	成人女性 " " "	5月～3月 " 8月 4月～3月	19 12 2 2	
	ふるさと学びカレッジ ICT活用セミナー 市民学習プラン支援事業	一般成人 " "	4月～3月 5月～2月 年間	8 10 2	
高齢者教育	ことばき大学 ゆうゆうセミナー 高齢者出前講座	高齢者 " "	5月～2月 " 9月～12月	10 10 2	<ul style="list-style-type: none"> ・教養や生活文化に関する学習 ・" " ・"
芸術文化	文化祭	一般市民	10	1	・各種作品の展示
	芸能祭	"	3月	1	・歌謡曲・日本舞踊等の発表及び交流
体育・レク	体育協会代表者会議 スポーツ講座 親善球技大会 高齢者スポーツ大会 新春囲碁将棋大会	代表者 少年・成人 一般市民 高齢者 一般市民	12月 7月 6月 6月・9月 1月	1 3 1 2 1	<ul style="list-style-type: none"> ・体育行事等の打合せ ・ニューススポーツ教室 ・チーム対抗ソフトバレーボール大会 ・老人クラブ対抗スポーツ・レクリエーション大会 ・クラス別囲碁・将棋大会
住民運動	地域クリーン活動 選挙啓発活動	少年・成人 "	年間 "	1 常時	<ul style="list-style-type: none"> ・学習センター一斉清掃 ・明るい選挙推進事業
地域学校協働	地域学校協働本部事業 ・学校支援活動 ・地域学校協働活動	岡山小 月輪小 福島第三中 ふくしま支援学校	年間	随時	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の要望に沿った地域内ボランティアの発掘とコーディネート（授業の補助・校舎内外の環境整備・登下校中の安全確保・学校行事運営の支援等） ・学校がより幅広い層の地域住民や団体とのネットワークを形成し、双方向で関わり合う活動（地域課題解決学習、地域貢献活動） ・対象学校長との打合せ（基本方針・要望）と年間のふりかえり（評価・反省）
図書室	古文書講座 おひざにだっこのおはなし会 おはなしバスケット おはなしパレード	一般成人 幼児と保護者 " " "	1月～2月 5月～3月 4月～3月 7月、12月	3 11 12 2	<ul style="list-style-type: none"> ・福島市ゆかりの文学を古文書で読み説く ・子育て広場と合同による読み聞かせ、手遊び等 ・読み聞かせ、本の紹介等 ・スペシャルおはなし会、大型絵本、工作等

(8) 北信学習センター



所在地	〒960-0102 福島市鎌田字中江1 TEL 554-1115 FAX 554-1322		
交通機関	東北本線「東福島駅」 徒歩10分 阿武隈急行「卸町駅」 徒歩 7分		
設置年月日	昭和42年4月1日	建設年月日	平成 5年3月15日 増改築平成20年3月28日
面積と構造	(建物)1,554.98㎡ (敷地)8,996.78㎡ (構造)RC2F		
人口 (R7.4.1現在)	(男)15,027人 (女)15,835人 (計)30,862人		世帯数 14,537世帯
地区面積	17.26km ²	学校数	(小) 4 (中) 1 (高) 1 (大) 1 (短) 1
職員数	館長 1名 職員 3名 生涯学習指導員 1名 技能職員 1名 図書職員 3名 その他 1名 計 10名		
委員 指導員数	運営審議会委員 9名 青少年指導員 1名 女性教育指導員 1名		

〈地域の概要〉

北信地区は、福島市の東北部に位置し、鎌田・瀬上・余目の3つの行政区から成り立っている。主な特徴として、市中央の隣接地であることから域内の宅地化が進み、他方において県北地方の物流拠点でもある公設地方卸売市場、卸商団地、そして近隣の工業団地には企業が多数立地しており、それらを軸とした商工業の展開による安定した雇用の土台がある。さらに幹線道路沿いの出店などもあり都市化も進んでいる。また農業面においては、りんごの主産地としても知られている。

福島学院大学や福島県教育センターをはじめとして6校の公立学校のほか、医療センターなども設置されており、文教・医療の地区といった側面もある。

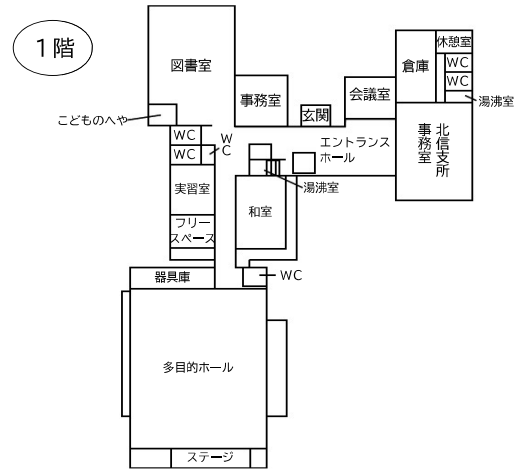
〈地域、施設の案内紹介〉

○名所・旧跡 宮代館跡、
鎌田館跡、本内館跡、
瀬上陣屋跡、月輪渡跡、日枝神社

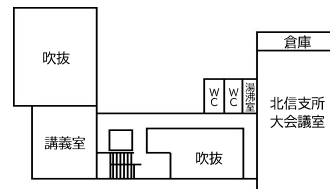
○学習センター施設概要

1階	和室	84.0㎡	60人
	実習室	51.9㎡	30人
	多目的ホール	665.0㎡	200人
	図書室	283.27㎡	蔵書33,821冊
			AVコーナー
			こどものへや
2階	講義室	108.0㎡	60人
	駐車可能台数	85台	

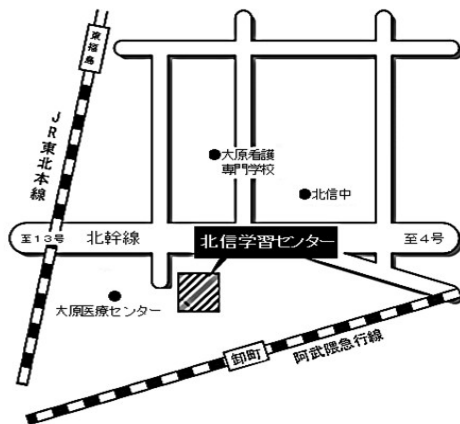
平面図



2階



案内図



〈運営方針〉

市民一人ひとりが生涯にわたって主体的に学び、交流し、地域で支えあいながら心豊かに暮らすための学びの場になることを目指す。

そのため、学習センターにおける学びが、住民相互の地域づくりにつながるよう、地域の団体や企業などの多様な主体との共創を進め、生涯学習の推進に努める。

- (1) 様々な学びによる人づくりの推進
- (2) 市民の共創による持続可能な地域づくりの推進
- (3) 地域に広がる事業の振興
- (4) 学びを支える体制と環境の充実

〈特色ある事業〉地域学校協働本部事業、お年寄り作品展会、世代間交流事業

〈主な事業〉

領域	事業名	対象	時期	回数	事業内容
少年教育	あそびの広場	小学3・4年生	5月～2月	10	・様々な遊びを通じ、健全な心身を養う
	北信リーダー教室	小学5・6年生 ・中学生	〃	10	・様々な活動を通じ、社会性・協調性を養い、集団をまとめるリーダー養成と集団研修
	北信ジュニア将棋教室	小・中学生	5月～3月	10	・将棋を通して、礼儀作法と物事に耐える力を養う
	夏休みレクリエーション企画	小学生	8月	1	・レクリエーションを通じた交流
	親子ふれあい広場	親子	年間	4	・親子参加による体験学習
成人教育	女性スクール (2クラス) レディースジャンプ	成人女性	年間 11月	40 1	・女性の資質向上と地域連帯意識の醸成
	市民学校	一般市民	年間	15	・生活・文化・教養等の学習
	ほくしん学びカレッジ	〃	5月～12月	7	・“地域を知る”、“仲間づくり”を図る
	ICT活用セミナー 市民学習プラン支援事業	〃 〃	9月・1月 年間	4 2	・パソコン操作の基礎、応用など ・地域社会教育団体への支援
高齢者教育	北信悠々クラブ	高齢者	5月～2月	10	・高齢者の生きがいづくりと地域参加
	北信寿学園	〃	7月、3月	2	・ 〃
	世代間交流事業	三世代	6月	1	・世代間交流と地域活動
家庭教育	ほくしんキッズクラブ	幼児と保護者	5月～2月	10	・家庭教育の重要性と親の役割についての学習
芸術・文化	北信文化まつり	地区住民	10月	2	・作品展示と芸能発表など
	北信文化講演会	〃	2月	1	・教育文化講演会
	おとしより作品展	高齢者	10月	2	・高齢者の手作り作品展
体育・レク	北信スキー・スノボ教室	小学生	1月	2	・スキー基礎実技の習得
	一般スポーツ教室	一般市民	6月～2月	10	・スポーツの基礎技術習得と健康増進を図る
	高齢者ミニゴルフ大会	高齢者	9月	1	・高齢者親善ミニゴルフ大会
	新春囲碁・将棋大会	一般市民	1月	1	・愛好家による親善大会(囲碁・将棋)
運住動民	明るい選挙推進事業	一般市民	年間	随時	・関係機関団体との連携協力による啓発事業
地域学校協働	地域学校協働本部事業	鎌田小 瀬上小 余目小 矢野小 北信中	年間	随時	・学校の要望に沿った地域内ボランティアの発掘とコーディネート(授業の補助・校舎内外の環境整備・登下校中の安全確保・学校行事運営の支援等)
	・学校支援活動 ・地域学校協働活動				・学校がより幅広い層の地域住民や団体とのネットワークを形成し、双方向で関わり合う活動(地域課題解決学習、地域貢献活動) ・対象学校長との打合せ(基本方針・要望)と年間のふりかえり(評価・反省)

(9) 吉井田学習センター



所在地	〒960-8166 福島市仁井田字西下川原1番地の1 TEL 546-3445 FAX 546-3516		
交通機関	福島交通バス 土船線 「国体記念体育館入口」徒歩5分		
設置年月日	平成7年7月1日	建設年月日	平成7年6月1日
面積と構造	(建物)852.22㎡ (敷地)6,436.10㎡ (構造)RC2F		
人口 (R7.4.1現在)	(男)5,533人 (女)5,887人 (計)11,420人		世帯数 5,380世帯
地区面積	4.52km ²	学校数	(小)1 (中) - (高)1 (養)1
職員数	館長1名 職員2名 生涯学習指導員1名 技能職員1名 その他2名 計7名		
委員 指導員数	運営審議会委員9名 青少年指導員1名 女性教育指導員1名		

〈地域の概要〉

吉井田地区は、清流荒川右岸に沿った仁井田、吉倉、八木田、方木田の4地区からなり、JR福島駅西口から荒川を挟み、南西へ約2kmの近距離に位置している。

かつては、水田、果樹地帯が多くを占めていたが、国道115号バイパスや国道13号福島西道路等の幹線道路のほか、荒川桜づつみ河川公園、生涯スポーツの拠点施設となる福島トヨタクラウンアリーナ（国体記念体育館）など、都市基盤や施設整備が着実に進み、自動車産業系施設や大型商業施設などが立地する一方、八木田、方木田地区を中心に宅地化も進み、良好な住宅環境を形成している。

また、福島大学附属特別支援学校、県立福島西高等学校、福島市あらかわクリーンセンター、リサイクルプラザや福島市老人福祉センターなど多くの公共施設が立地しているほか、介護支援事業所も増加している。

〈地域、施設の案内紹介〉

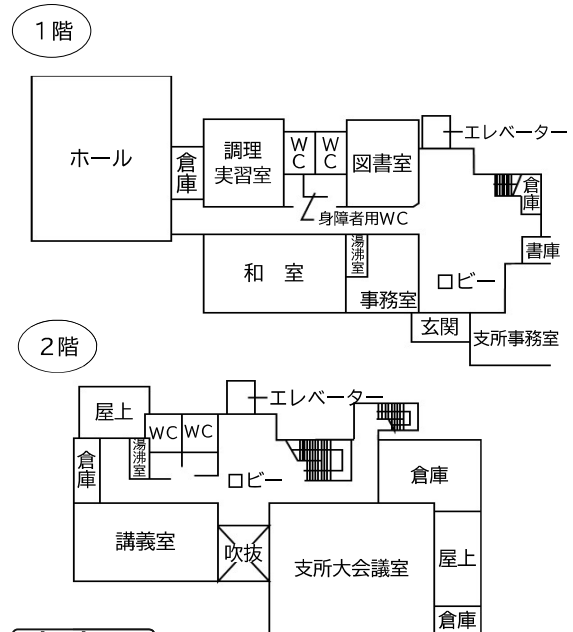
○名所・旧跡

吉倉八幡神社本殿壁面彫刻（市有形文化財）
仁田神社、北島の雨地蔵、宝勝寺、双体道祖神、
山王道標、八木田神明神社、方木田稻荷神社など

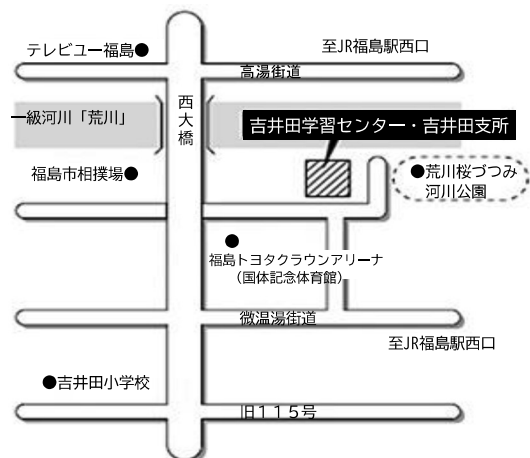
○学習センター施設概要

1階	ロビー	149.08㎡	
	ホール	180.00㎡	100人
	和室(45.5)	90.65㎡	60人
	調理実習室	52.22㎡	25人
	図書室	48.22㎡	蔵書 9,335冊
	事務室	37.89㎡	
2階	ロビー	103.46㎡	
	講義室	88.02㎡	50人
	駐車可能台数	60台	

平面図



案内図



〈運営方針〉

- (1) 地域の力を育む社会教育・生涯学習活動の推進に努める。
- (2) 多様化するニーズに応じた学びを通じて、地域への関心を高め地域社会とつながる意識や住民同士のつながりづくりに努める。
- (3) 地域のコミュニティづくりを支える地域の各種団体等への継続的かつ必要な活動支援に努めるとともに、市民の共創による持続可能な地域づくりの推進に努める。
- (4) 地域を担う人材の発掘と多様な学びによる人づくり、及び、学びを地域や社会に還元する「学びと活動の循環」を形成できる環境づくりに努める。
- (5) 地域とともにある生涯学習の土台となる施設として、利用しやすい学習環境づくりと施設の効率的な管理・運営に努める。

〈特色ある事業〉 少年教室ヨッシーキッズ、子どもひろば、夏休み防災キャンプ、ふるさと再発見事業、食と健康づくり事業

〈主な事業〉

領域	事業名	対象	時期	回数	事業内容	
少年教育	少年教室ヨッシーキッズ	小学3～6年 主に小学生	5月～2月 1月～3月	10 3	・異年齢集団活動、世代間交流、ふるさとから学ぶ事業 ・体験遊びの場の提供・地域の交流 ・学童クラブ等との連携による映画上映 ・NP0との連携による地域の子ども居場所づくりと多世代交流の場「よしいだキッチン」の支援 ・夏休みこども寺子屋、冬休み子ども書き初め教室など ・地域の協力、連携による防災教育 避難生活体験型の宿泊	
	子どもひろば	小学生	7月～3月 4月～3月	2 12		
	子どもの居場所づくり支援事業	小学生	7月～1月 8月	2 1		
	夏・冬休みこども応援事業 地域連携防災教育事業 「夏休み防災キャンプ」	主に小学生				
成人教育	1 UPカレッジ (三河台・吉井田・西・吾妻4館合同事業)	青年	6月～2月	8	・青年期に必要な学び	
	吉井田女性スクールSAKURA	成人女性	5月～3月	12	・食の安全・環境、健康に関する学び、防災・防犯	
	各種講座等	市民講座 (各期)	一般市民	6月～2月	随時	・一般教養、文学講座など ・地域の団体・関係機関等と連携・協働による食と健康づくり ・男性の社会参加と地域交流 ・地域への愛着や誇りを育み、特色ある地域づくりを支援 ・高齢者のICTスキル向上、交流機会を創出する ・地域団体等の生涯学習事業企画を支援する ・地区の町内会、各種団体等の要望に応じ開催 ・防災の学びと交流を通して地域づくりを支援 ・デジタルに関する知識や技術の習得
		食と健康づくり支援事業	〃	6月～3月	2	
		「よしいだ健康教室」	〃	〃	〃	
		男の料理教室	〃	〃	2	
		ふるさと再発見事業	〃	4月～3月	2	
ICT活用推進事業	〃	6月～2月	2			
市民学習プラン支援事業	〃	年間	随時			
地区出前講座	〃	〃	1			
防災・減災教育事業	〃	9月～12月	1			
スマートフォン活用支援事業	〃	9月～2月	2			
高齢者教育	よしいだ悠遊塾	高齢者	5月～2月	12	・世代間交流、健康づくり、高齢者の生きがい支援	
家庭教育	ママRingよしいだ もも、りんご、コース	未就学児と保護者	5月～2月	12	・食生活と健康、子育て講話、季節の行事体験 (教育託児)	
	親子ふれあい講座	〃	9月～2月	4	・親子のコミュニケーションを深める	
芸術文化	吉井田地区文化祭	一般市民	10月	1	・作品の展示発表・活動紹介と地域交流	
体育・レク	地区少年会育成会球技大会	小・中学生	6月～2月	4	・サッカーソフトボール等の少年会対抗戦 ・ソフト、バレー、木球、卓球等の地区対抗戦 ・ソフト、バレー、ボウリング等の地区対抗戦 ・地区内の町会対抗による各種競技 ・愛好者による個人戦	
	西部部親善球技大会	一般市民	8月～2月	4		
	地区内親善スポーツ大会	〃	5月～3月	6		
	吉井田地区民大運動会	〃	10月	1		
	新春囲碁大会	〃	2月	1		
住民運動	青少年健全育成推進事業	一般市民	年間	随時	・関係機関団体との連携協力による啓発活動等 ・ ・ ・河川環境整備の協力等 ・田植え、稲刈り等の地域協働活動の協力 ・常時啓発と推進	
	明るい選挙推進事業	〃	〃	〃		
	地区社会福祉協議会との連携	〃	〃	〃		
	ふるさとの川・荒川づくり協議会との連携	〃	〃	〃		
	荒川酒造り協議会との連携 市民憲章運動の推進	〃	〃	〃		
地域学校協働	地域学校協働本部事業	吉井田小 岳陽中	年間	随時	・学校の要望に沿った地域内ボランティアの発掘とコーディネート (授業の補助・校舎内外の環境整備・登下校中の安全確保・学校行事運営の支援等) ・学校がより幅広い層の地域住民や団体とのネットワークを形成し、双方向で関わり合う活動 (地域課題解決学習、地域貢献活動) ・対象学校長との打合せ (基本方針・要望) と年間のふりかえり (評価・反省)	
	・学校支援活動 ・地域学校協働活動					

(10) 西 学 習 セ ン タ ー



所在地	〒960-2155 福島市上名倉字妻下4-2 TEL 593-1013 FAX 593-5198		
交通機関	福島交通バス 荒井 土湯温泉線 「佐倉局前」徒歩1分「あらいクリニック前」徒歩3分		
設置年月日	昭和40年4月1日	建設年月日	昭和59年3月26日
面積と構造	(建物)821.04㎡	(敷地)4,904.12㎡	(構造)RC2F
人口 (R7.4.1現在)	(男)3,445人 (女)3,257人 (計)6,702人		世帯数 2,584世帯
地区面積	94.81km ²	学 校 数	(小)3 (中)1 (高)ー
職 員 数	館長 1名 職員 2名 技能職員 1名	生涯学習指導員 1名 その他 2名	計 7名
委 員 指導員数	運営審議会委員 9名 女性教育指導員 1名	青少年指導員 1名	

〈地域の概要〉

西地区は福島市の西南に位置し、佐倉、荒井、土湯温泉町の3地区からなり、土湯峠から福島西I.C周辺まで荒川の流に添うかのように広がる。管内を国道115号線が東西に走っている。

佐倉には各種企業が立地し、荒井には自衛隊や官公庁の出先機関があり、公共公益施設が集中しているが、西地区全体としては静かな農村のたたずまいをまだ残している。

また、あづま総合運動公園や民家園、水林自然林、クロスカントリーコース、四季の里（農村マニユファクチャー公園）もあり、豊かな自然環境に恵まれた土湯温泉郷とともに市のレクリエーションエリアになっている。

〈地域、施設の案内紹介〉

- 名所 ・ 旧跡
- 名所 慈徳寺の種まき桜
- 水林自然林
- 聖徳太子堂
- 旧跡 名倉城跡

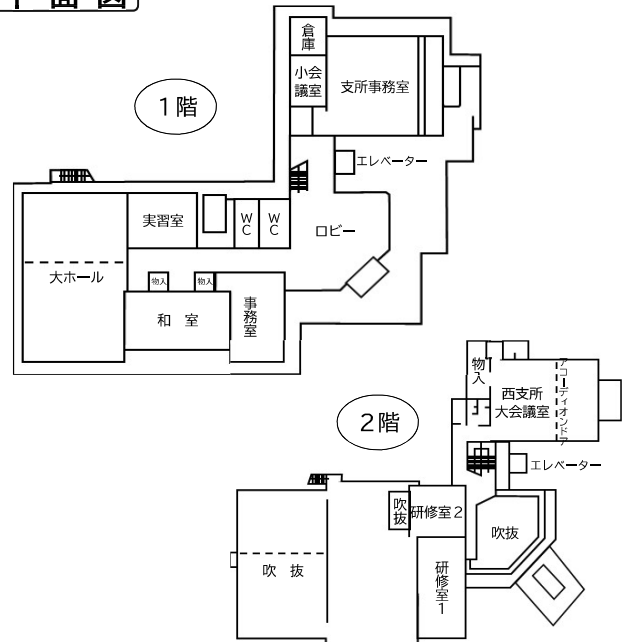
○学習センター施設概要

1階	和 室	74.34㎡	70人
	実 習 室	46.80㎡	30人
	大ホ ー ル	210.27㎡	200人
	ロ ビ ー	106.01㎡	
(図書室として使用、蔵書11,423冊)			
(いこい広場のストリートピアノ、学習スペース)			

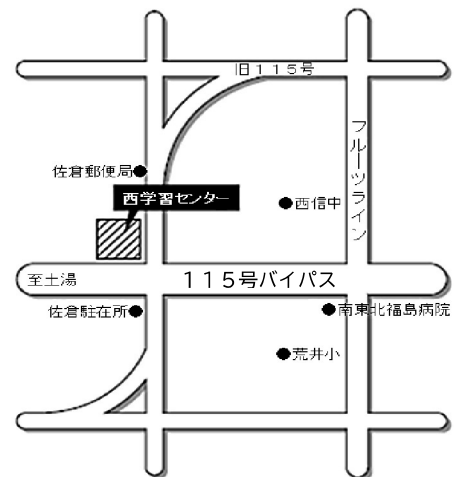
2階	研 修 室 1	70.89㎡	30人
	研 修 室 2	44.28㎡	18人

駐車可能台数 40台

平面図



案内図



〈運営方針〉

- (1) 地域の生涯にわたる学習の中心施設として、学習活動への支援、多様な学習機会と情報の提供、相談体制の充実に努め、かつ自ら学ぶ意欲の形成を図る。
- (2) 地域住民の身近な学習・交流の場として、親しまれ、利用される環境づくりに努める。
- (3) 地域公共施設、地域環境資源、地域人材の活用を図り、住みよい地域づくりに努める。
- (4) 関係機関・団体と連携し、団体・グループの育成助長に努める。

〈特色ある事業〉 わくわく交流通学合宿

〈主な事業〉

領域	事業名	対象	時期	回数	事業内容		
少年教育	子ども会育成会役員等研修会	小中学生の保護者	11月	1	・地域で指導できる親づくりのための研修等		
	少年教室「西こどもクラブ」	小学生	5月～3月	13	・ふるさとから学ぶ地域学習、自然探訪や世代間交流など		
	こども仕事じゅく	〃	8月	1	・仕事の体験（見学）学習		
	科学工作教室	〃	〃	1	・身近なもので共同製作		
	親子教室	小学生と保護者	12月	1	・親と子の体験学習などで親子の絆を深める		
	わくわく交流通学合宿	小学生	8月～9月	1	・小学校3～4年生向けの短期間の通学合宿		
	こども自然体験教室 新春書き初め&茶道教室	〃 〃	7月 1月	1 1	・地域での自然体験 ・書き初めと茶道の学習を通じた世代間交流		
教青 育年	四館合同IUPカレッジ	青年	5月～2月	8	・青年期に必要な学びと交流		
教女 育性	西女性スクール	成人女性	4月～3月	13	・女性の資質向上と地域参加		
成人教育	各種講座等	町会への出前講座	一般市民	2月	3	・町会との共催による生活に密着した身近な学習会	
		市民学校	〃	7月～12月	5		・生活、文化、教養等の学習
		ふるさと学びカレッジ ～マイライフClub～	〃	7月～9月	3		・いきがいくくりと地域交流の場を提供する
		市民学習プラン支援事業	〃	年間	随時	・地域団体等の企画による公共性の高い事業の実施を支援する	
		ICT活用推進事業	〃	2月	1	・スマホ、Excel、Wordなどの身近なICT講座	
		大人のための社会科見学 ヒストリーウォーク	〃 〃	4月 9月	1 1	・特色ある事業所の見学学習 ・史跡をめぐる教養を深める	
高 教 育 者	西ことぶき学級	高齢者	5月～2月	10	・健康と生きがいづくりの学習		
教 家 育 庭	ぼかぼかClub	0～3歳児と保護者	5月～2月	10	・親と子の関わり、子育てと仲間づくりなどの学習		
文 化 ・ 芸 術 化	歴史講座 西地区文化祭	一般市民 〃	8月～3月 10月	2 1	・歴史から学ぶ、ふるさと再発見 ・西学習センターを会場にしての学習発表と地域住民の交流		
体 育 ・ レ ク	西部少年球技大会 西部少年卓球大会 西部総合球技大会 西部親善木球大会 西部親善ボウリング大会 西部親善卓球大会 西部親善ポッチャ大会 ふる里自然探訪	小・中学生	7月	1	・ソフト、フットベースボール、バレーボール ・卓球 ・ソフトボール、家庭バレーボール ・木球 ・ボウリング ・卓球 ・ポッチャ ・トレッキングで自然にふれあう		
		〃	1月	1			
		一般市民	8月	1			
		〃	9月	1			
		〃	11月	1			
		〃	2月	1			
		〃	3月	1			
		〃	5月	1			
運 送 民	明るい選挙推進事業	一般市民	年間	随時	・関係機関団体との連携協力による啓発		
地 域 学 校 協 働	地域学校協働本部事業	荒井小 佐倉小 西原小 信成中	年間	随時	・学校の要望に沿った地域内ボランティアの発掘とコーディネート(授業の補助・校舎内外の環境整備・登下校中の安全確保・学校行事運営の支援等) ・学校がより幅広い層の地域住民や団体とのネットワークを形成し、双方向で関わり合う活動(地域課題解決学習、地域貢献活動) ・対象学校長との打合せ(基本方針・要望)と年間のふりかえり(評価・反省)		
	・学校支援活動 ・地域学校協働活動						

(11) 信陵学習センター



所在地	〒960-0241 福島市笹谷字オノ神1 TEL 558-1234 FAX 559-2097		
交通機関	福島交通飯坂線「笹谷駅」 福島交通バス 中野行「信陵支所」		
設置年月日	昭和42年4月1日	建設年月日	平成6年5月30日
面積と構造	(建物)955.06㎡ (敷地)9,264.76㎡ (構造)RC2F		
人口 (R7.4.1現在)	(男)6,565人 (女)7,127人 (計)13,692人		世帯数 6,382世帯
地区面積	48.80km ²	学校数	(小)2 (中)1 (高)- (支)1
職員数	館長 1名 職員 2名 生涯学習指導員 1名 技能職員 1名 その他 3名 計 8名		
委員 指導員数	運営審議会委員 9名 青少年指導員 1名 女性教育指導員 1名		

〈地域の概要〉

信陵地域は福島市の北西部に位置し、「大笹生地区」と「笹谷地区」の2地区からなっている。

大笹生地区は歴史と豊かな自然に恵まれ、フルーツライン沿いに果樹地帯が広がり、くだもの王国福島観光の一翼を担っている。さらに、十六沼公園やびよんびよんドームなど施設の充実、近年は東北中央自動車道の大笹生インターチェンジ付近の道の駅や工業団地整備などにより新たな発展がめざましい。

笹谷地区は福島交通飯坂線の利便性を有し、閑静な住宅街として発展している。近年、区画整理や道路網の整備によって多くの企業や大型店舗等の進出が著しく、地域の生活経済を支えるとともに福島市の経済発展に大きな役割を果たしている。

今後、2地区の特性を融合し、さらなる発展が予想される。

〈地域、施設の案内紹介〉

- 名 所 大笹生十六沼公園の“桜”
愛宕神社の“ヒイラギ”
- 施設 “大笹生ダム”
“ふくしまスカイパーク”
“十六沼公園”

○学習センター施設概要

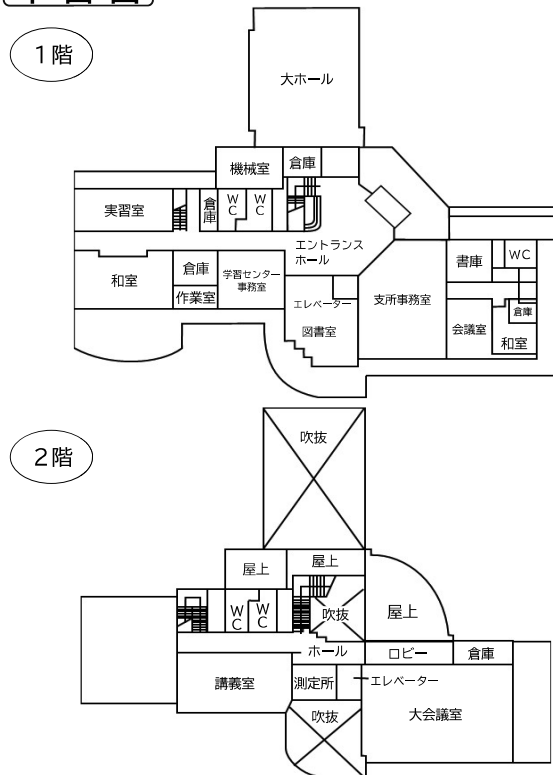
1階	和室	76.7㎡	50人
	実習室	54.8㎡	30人
	大ホール	193.0㎡	120人
	図書室	78.3㎡	蔵書 9,165冊
2階	講義室	90.6㎡	60人

体育施設

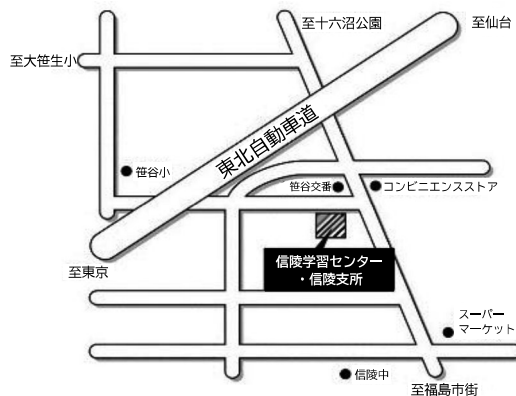
ゲートボール場 1面 623.9㎡

駐車可能台数 100台（信陵支所と共用）

平面図



案内図



〈運営方針〉

- (1) 社会の変化に対応し、住民ニーズの把握に努めると共に、ライフステージに応じた各種事業を展開する。
- (2) これまで培ってきた経験や知識が豊富な地域の人材を活かすため、その発掘に努めるとともに、各講座の講師を依頼するなどしてその育成を図る。(市民企画型市民講座)
- (3) 地域の関係機関、団体との連携を図る。特に小中学校・支援学校との連携の強化に努める。(地域学校協働本部事業の推進)
- (4) 各利用団体・サークル活動を支援し育成を図るとともに、活動の発表の場である地区文化祭などの行事の企画運営を委ね、積極的な運営参加を促す。

〈特色ある事業〉 信陵ジュニアカレッジ-SJC-、ふるさと学びカレッジ「あづま男と淑女の会」、企画もちこみ型市民講座

〈主な事業〉

領域	事業名	対象	時期	回数	事業内容
教少 育年	信陵ジュニアカレッジ-SJC- 信陵わいわい広場	小学4~6年生 4歳~小学生	5月~3月 7月	11 1	・リーダーとしての知識や技術の習得及び諸学習 ・多様な体験講座により、子どもの感性や創造力を育む
成人 教育	ICA・KITAヤングカレッジ	18~35歳程度の男女	4月~2月	18	・一般教養、体育レク、野外活動を通じた仲間づくりと豊かな人間形成を図る
	信陵スマイルレディース 信陵梨花レディース	成人女性 "	5月~3月 5月~2月	11 10	・昼間・夜間ごとに活動し、主体的な学級運営を推進する。 女性の資質向上、社会生活への適応力、家庭生活における技能の向上を目指す。併せて、学級生の交流を図る。
	レディスジャンプ	"	11月	1	・各学級の運営、学習課題の協議、各学級間の交流を図る
	ICT活用セミナー スマートフォン活用支援事業 ふるさと学びカレッジ 「あづま男と淑女の会」 市民講座 (主体型・市民企画型・応援型) 市民学習プラン支援事業	一般市民 一般市民 40~70歳代の男女 一般市民 "	6月・7月 12月 4月~3月 " -	4 2 10 15 0	・パソコン入門及び活用講座 ・働きざかりの世代を主な対象とした事業を実施し、働きざかりの世代が活躍できる場面づくりをする ・住民ニーズに応じた各種事業を展開し、地域の教育力の向上を図る ・地域団体等が主体的に行う事業の実施を支援し、地域の教育力の向上を図る
高齢 育者	悠遊塾(木曜コース) 悠遊塾(金曜コース)	高齢者 "	5月~3月 "	11 11	・高齢者対象の教養・生活文化、健康等に関する学習と交流
家庭 教育	ひまわり教室	2~4歳児と保護者	5月~3月	11	・親子ふれあいの学習を通して、友達づくりや子どものしつけ方を学ぶ
	キッズフェスティバル	3~6歳児と保護者	11月	1	・影絵、人形劇などの演劇等により親子でふれあい子育て家庭相互の交流を図る
芸術 文化	信陵地区文化祭	地区住民	10月	1	・各種作品、資料の展示、学習成果発表、演技披露、模擬店等による地域交流と生涯学習の啓発・推進
	信陵地区芸能祭	"	6月	1	・地区内の各種団体による学習成果発表(演技披露)による地域交流と生涯学習の啓蒙・推進
体育 ・ レク	信陵地区スポーツレクリエーションまつり	地区住民	6月	1	・地区住民を対象とした各種スポーツの祭典
	信陵地区ウォークラリー大会	"	11月	1	・子どもから高齢者まで、誰でも参加できる「ウォークラリー大会」
	利用団体対抗!ユニカール大会	利用団体会員	-	0	・ユニカールによる利用団体登録サークル間の交流
	利用団体対抗!ポッチャ大会	"	12月	1	・ポッチャによる使用団体登録サークル間の交流
運往 動民	青少年健全育成運動の推進 明るい選挙推進啓発	地区 "	年間 "	常時 "	・関係機関団体との連携協力による啓発事業
地域 学校 協働	地域学校協働本部事業 ・学校支援活動 ・地域学校協働活動	大笹生小 笹谷小 信陵中	年間	随時	・学校の要望に沿った地域内ボランティアの発掘とコーディネート(授業の補助・校内内外の環境整備・登下校中の安全確保・学校行事運営の支援等) ・学校がより幅広い層の地域住民や団体とのネットワークを形成し、双方向で関わり合う活動(地域課題解決学習、地域貢献活動) ・対象学校長との打合せ(基本方針・要望)と年間のふりかえり(評価・反省)

(12) 飯坂学習センター



所在地	〒960-0201 福島市飯坂町字銀杏6-11 TEL 542-2122 FAX 542-2153		
交通機関	福島交通飯坂線「花水坂駅」徒歩3分		
設置年月日	昭和23年4月1日	建設年月日	平成16年12月24日
面積と構造	(建物)1,799.58㎡ (敷地)9,858.23㎡ (構造)RC一部S2F		
人口 (R7.4.1現在)	(男)9,402人 (女)10,008人 (計)19,410人		世帯数 8,964世帯
地区面積	270.9km ²	学校数	(小)3 (中)3 (高)1
職員数	館長1名 職員2名 生涯学習指導員2名 技能職員1名 図書職員3名 その他2名 計11名		
委員 指導員数	運営審議会委員9名 青少年指導員1名 女性教育指導員1名		

〈地域の概要〉

市街地から北西へ約11km・奥羽山脈の東南麓に位置し、市面積の36%の面積を有する旧6町村からなり、約60%は丘陵山岳地帯である。

管内には東部に東北自動車道、南部に国道13号そして中央部を399号線、また福島駅からは県道と福島交通飯坂線が走り、環境に恵まれた地域である。

また、飯坂温泉は、鳴子・秋保とともに奥州3名湯に数えられる歴史ある温泉地で、名所旧跡が数多く点在し、さらに周辺地域は果樹栽培が盛んで、自然環境にも恵まれた「いで湯とくだもの里」である。

視聴覚室(61㎡) 収容人員37人
(研修室1) マルチプロジェクターVTR
ピアノ マイク設備

研修室2(63㎡) 収容人員37人
和室1~3(83㎡) 収容人員60人 12.5畳×3間
茶道用電熱器

実習室(52㎡) 収容人員25人
調理台5台 ガスオーブンレンジ

工芸室(67㎡) 収容人員25人
工芸台5台 電気陶芸窯

その他・ホール ワークスペース1・2 テラス
駐車可能台数 100台

〈地域、施設の案内紹介〉

飯坂は、「いで湯とくだもの里」として全国的に知られて、さくらんぼ、桃、りんご、梨、ぶどうなど四季折々のくだもの生産地でもある。春にはこれらのくだもの花とともに、桜・はなももの花がいつせいに咲き誇る。

また、味覚の時期は「フルーツライン」沿いに観光果樹園が軒を並べ、くだもの狩りを楽しむ観光客や家族連れで賑わう。

○名所・旧跡 大鳥城址、鱒湖湯、医王寺、
旧堀切邸、天王寺、
摺上川ダム、花ももの里

○学習センター施設概要

図書室(260㎡)

・蔵書 36,204冊

AV(ビデオ・CD等)コーナー

多目的ホール(551㎡)

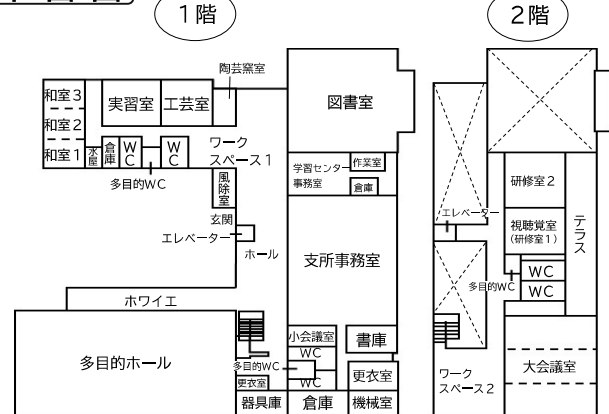
・バレーボール1面 ミニバスケット1面

バドミントン2面 卓球台5台

ステージ 舞台照明設備 放送設備

暗幕設備 ピアノ イス280脚

平面図



案内図



〈運営方針〉

- (1) 生涯学習の推進及び会社の変化とニーズに対応した学習機会の充実をはかる。
- (2) 各種事業活動の内容充実と実施運営の効率化につとめる。
- (3) 関係団体の健全な組織運営と事業活動の育成支援につとめる。
- (4) 諸機関、団体と連携し、効果的な地域活動の推進をはかる。
- (5) 市民運動の啓発推進と「地域づくり」のための学習推進をはかる。

〈特色ある事業〉遊びのがっこう、夏休みこどもひろば、飯坂方部女性のつどい、世代間交流事業（3地区）

スプリング・サマー・ウィンタースクール

〈主な事業〉

領域	事業名	対象	時期	回数	事業内容
少年教育	遊びのがっこう	小学4～6年生	5月～3月	11	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や学年の枠にとられない野外活動等の体験学習 ・工作、折りがみ、プラ板づくりなど ・世代間の交流、レクリエーション等 ・地域の協力、連携による防災教育、避難所体験 ・子どもたちの学習支援、子どもたちの居場所づくり
	夏休みこどもひろば	小学生	7月～8月	3	
	子どもまつり	小・中学生	10月	1	
	防災キャンプ	小・中学生	8月	1	
	スプリングスクール	小・中学生	3月	3	
	サマースクール	小・中学生	7～8月	3	
ウィンタースクール	小・中学生	12～1月	3		
成人教育	ICA・KITAヤングカレッジ	青年	4月～2月	18	・青年の教養学習と仲間づくり
	女性講座（4地区）	成人女性	5月～3月	10	・女性の資質の向上と地域課題の学習
	女性スクール（3学級）	〃	〃	33	・女性の資質の向上と地域課題の研究
	レディスジャンプ	〃	11月	1	・現代的課題の学習と学級生の交流
	飯坂方部女性のつどい	〃	10月	1	・地域の課題を研究討議
	女性団体リーダー研修会	〃	9月	1	・女性団体のリーダー養成
	市民学校	一般市民	年間	10	・一般教養及び生活、文化の学習
	ICT活用セミナー	〃	7月・12月	4	・パソコン操作技術の基礎と応用
	ふるさと学びカレッジ ～男性チャレンジスクール～	〃	5月～3月	9	・仲間づくりや生活を豊かにするきっかけづくり
	市民学習プラン支援事業	〃	5月～2月	2	・市民学習の支援
高齢者教育	ながいき大学（2地区）	高齢者	5月～3月	各10	<ul style="list-style-type: none"> ・地区老人会のリーダー養成といきがい学習 ・世代間の交流と明るい家庭づくり
	世代間交流（3地区）	一般市民	4月～2月		
家庭教育	家庭教育講座（1地区）	一般市民	5月～3月	4	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児をもつ母親の家庭教育のあり方の学習 ・主に思春期の子どもたちの成長や教育に関する学習 ・親子のふれあい、子どもへのしつけ、親のあり方などの学習
	いざか家庭セミナー 家庭教育学級 （ももちゃんクラブ・平野）	〃	6月～2月 年間	13	
芸術文化	飯坂総合文化祭&子どもまつり	一般市民	11月	1	・作品展示・学習発表会・子どもまつり・模擬店などの総合文化祭
	各地区展覧会（3地区）	〃	12月～3月	3	・趣味の愛好者による地区展覧会
レク・体育	ジュニアスキー・スノボ教室	小・中学生	1月	1	<ul style="list-style-type: none"> ・スキー・スノボの基礎技術の習得 ・卓球・家庭バレーボール・グラウンドゴルフ ・ソフトバレーボール・ポッチャ・個人種目 ・健康づくり、仲間づくり、生きがいづくりの場の提供
	飯坂総合スポーツ祭（6種目） 健康麻雀大会	一般市民 一般市民	10月～2月 1月	6 1	
運住動民	明るい選挙推進運動	一般市民	年間	常時	・明るい選挙推進の学習及び啓発活動
地域学校協働	地域学校協働本部事業 ・学校支援活動 ・地域学校協働活動	飯坂小 平野小 湯野小 湯野中 大野中 西根中	年間	随時	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の要望に沿った地域内ボランティアの発掘とコーディネート（授業の補助・校舎内外の環境整備・登下校中の安全確保・学校行事運営の支援等） ・学校がより幅広い層の地域住民や団体とのネットワークを形成し、双方向で関わり合う活動（地域課題解決学習、地域貢献活動） ・対象学校長との打合せ（基本方針・要望）と年間のふりかえり（評価・反省）

(13) 松川学習センター



所在地	〒960-1241 福島市松川町字杉内33 TEL 567-2323 FAX 567-2403		
交通機関	東北本線「松川駅」徒歩25分 福島交通バス 医大 水原線「松川支所」徒歩1分		
設置年月日	昭和24年4月1日	建設年月日	平成27年2月27日
面積と構造	(建物)1,960.36㎡ (敷地)9,078.00㎡ (構造)RC2F		
人口 (R7.4.1現在)	(男)6,481人 (女)6,421人 (計)12,902人	世帯数 5,701世帯	
地区面積	63.07km ²	学校数	(小)4 (中)1 (高)1 (大)2
職員数	館長1名 職員3名 生涯学習指導員1名 技能職員1名 図書職員3名 その他2名 計11名		
委員 指導員数	運営審議会委員9名 青少年指導員1名 女性教育指導員1名		

〈地域の概要〉

松川町は福島市の南に位置し、西は吾妻山山麓の水原から北に金谷川、そして東は阿武隈川に至る下川崎と東西に長い丘陵で起伏の多い地域である。中央部を南北に通る旧奥州街道の宿場町八丁目宿を中心として、東部及び西部に広がる農村部を背景に発達してきた町であるが、時代と共に変化し、特に金谷川地区は文教地区としての変化をみせ、国立の福島大学、県立医科大学、同附属病院などがあり、福島大学は3学部5学類の教育組織を実現させた。また国・県・市道の整備も進む中、平成18年10月1日から東北自動車道松川パーキングエリアのスマートインターが恒久化され、現在旧四号国道からのアクセス道路が整備されつつある。

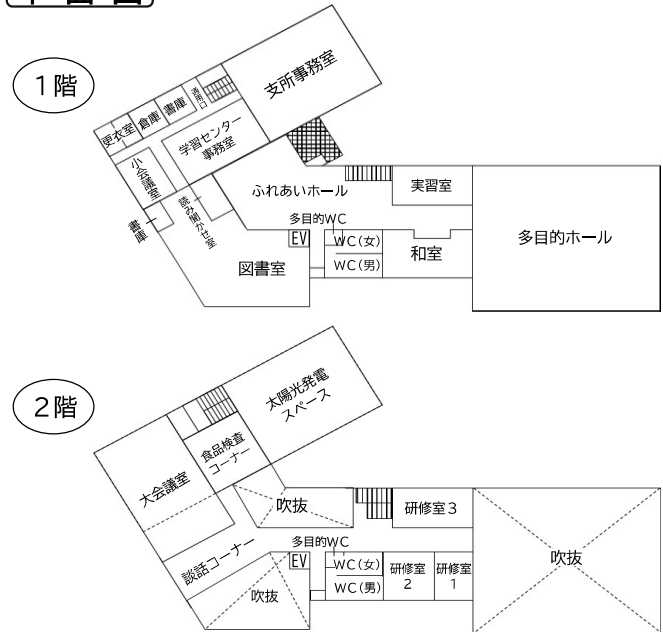
〈施設の案内紹介〉

○学習センター施設概要

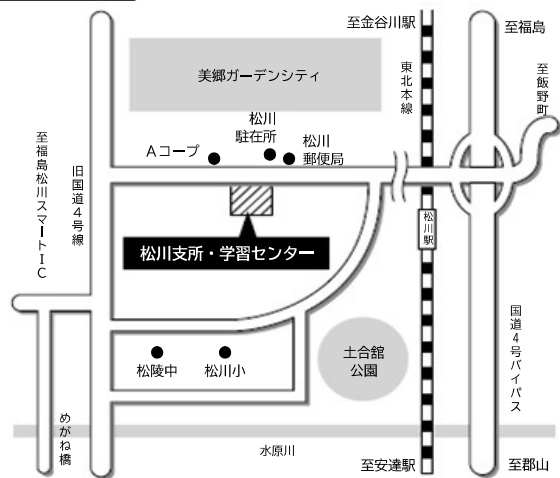
1階	和室	68㎡	60人
	実習室	67㎡	30人
	図書室	270㎡	蔵書28,433冊
	多目的ホール	490㎡	200人
	・バレーボール 1面 (ソフトバレーのみ)		
	ミニバスケットボール 1面		
	バドミントン 2面、卓球台 5台		
	・ステージ、放送設備、ピアノ、イス200脚		
2階	研修室1	63㎡	30人
	研修室2	54㎡	24人
	研修室3	67㎡	36人

駐車可能台数 129台

平面図



案内図



〈運営方針〉

- (1) 生涯学習情報の収集及び提供等生涯学習推進体制の充実を図る。
- (2) 地域の人材等を活かした市民協創による生涯学習の推進と学習成果を活かしたボランティア活動の促進に努めるとともに、市民の社会参加を進める学習の支援と充実を推進する。
- (3) 学校、家庭、地域との連動を深め、会社の変化とニーズに対応した学習の推進に努めるとともに、家族や地域の教育力を図る学習の促進と支援体制の充実に努める。
- (4) 芸術文化、スポーツ、レクリエーション活動の拠点としての施設整備充実に努める。

〈特色ある事業〉 家庭教育講座

〈主な事業〉

領域	事業名	対象	時期	回数	事業内容
少年教育	わくわく広場	小学4～6年生	年間	10	・野外活動、体験学習等
	子どもフェスタ	小学生	7月・12月	4	・科学教室、書初め、折り紙ヒコーキ教室
成人教育	つながるフィットネス 秋のカレー講座	青年	4月～3月 11月	12 2	・ヨガ・ウェーブストレッチ等 ・笑夢カレー料理教室
	レディースまつかわ	成人女性	年間	21	・教養、趣味、健康等
	パソコン講座 スマートフォン講座 市民学校(ウォーキング等) ふるさと学びカレッジ(ゆとり講座) 市民学習プラン支援 花のまちガーデニング教室	一般市民 " " 団塊の世代等 一般市民 "	7月 11月～12月 年間 5月～9月 年間 6月～12月	2 3 5 4 3 2	・文書、デジカメ活用 ・文字入力、メール、マップ等 ・一般教養・文化などの学習 ・ゆとりある時間を楽しむ趣味等の体験学習を学ぶ ・地区団体が主催で実施 ・ガーデニングに対する興味関心を高める
高齢者教育	ことぶき学園	高齢者	年間	10	・高齢者の教養、健康講座等
家庭教育	まつかわ家庭教育学級(すくすく)	幼児と保護者	年間	10	・乳幼児の教育について
	まつかわ家庭教育講座(ラッコ)	幼児と保護者	"	10	・ミュージックセラピー
	家庭教育出前講座(3講座)	幼保園児と保護者	"	各4～5	・家庭教育出前講座
芸術・文化	文化祭(共催)	一般市民	10月	1	・作品展示と各種イベント
	短歌・俳句大会	"	12月	1	・作品発表等
	歴史講座	"	8月～9月	3	・地域の文化財や歴史について学ぶ
レクリエーション	将棋大会	一般市民	2月	1	・クラスごとのリーグ戦
住民運動	明るい選挙推進啓発事業	一般市民	年間	常時	・会議、研修、啓発運動
	市民運動推進	"	"	"	・市民憲章、市民ぐるみ運動
	交通安全運動の推進	"	"	"	・団体育成・協力・啓発活動
地域学校協働	地域学校協働本部事業 ・学校支援活動 ・地域学校協働活動	松陵義務教育学校	年間	随時	・学校の要望に沿った地域内ボランティアの発掘とコーディネート(授業の補助・校舎内外の環境整備・登下校中の安全確保・学校行事運営の支援等) ・学校がより幅広い層の地域住民や団体とのネットワークを形成し、双方向で関わり合う活動(地域課題解決学習、地域貢献活動) ・対象学校長との打合せ(基本方針・要望)と年間のふりかえり(評価・反省)

(14) 信夫学習センター



所在地	〒960-1101 福島市大森字馬場1 TEL 546-5207 FAX 546-5216		
交通機関	福島交通バス平田線「大森本町信夫支所入口」徒歩3分		
設置年月日	昭和22年10月1日	建設年月日	平成2年2月10日
面積と構造	(建物)830,28㎡ (敷地)9,860.00㎡ (構造)RC2F		
人口 (R7.4.1現在)	(男)11,392人 (女)11,614人 (計)23,006人		世帯数 10,143世帯
地区面積	41.20km ²	学校数	(小)4 (中)1 (高)1
職員数	館長1名 職員3名 生涯学習指導員1名 技能職員1名 その他2名 計8名		
委員 指導員数	運営審議会委員9名 青少年指導員1名 女性教育指導員1名		

〈地域の概要〉

信夫地区は福島市の中心部から南南西に約5km、平坦地と丘陵地が相半ばする大森、鳥川、平田の3地区からなる歴史と自然環境に恵まれた平和な「しのぶの里」である。中心部の大森は旧奥羽(米沢)街道筋の城下町で、福島市の歴史上欠くことのできない大森城跡があり、城山公園と呼ばれて市民から親しまれ、周辺には史跡、文化財が数多く点在する。東部には南北に東北本線と東北新幹線、中心部を南北に東北自動車道、その東側に国道13号線福島西道路、北部には東西に国道115号線が走り、JR南福島駅や福島西ICがある。かつては静かなたたずまいを見せる農村地域であったが、近年道路交通網の整備等によって商工業の進出や住宅団地の造成が進み、人口・世帯数が急増して大きく様変わりしている。

なお、平成27年7月に平田地区にパークゴルフ場がオープンしている。

〈地域、施設の案内紹介〉

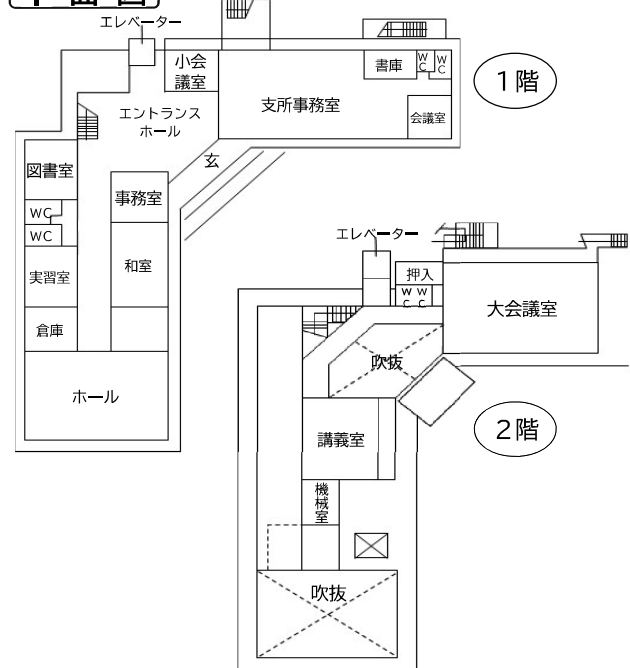
○名所・旧跡

大森城跡、城山観音堂、朝日館跡、
石那坂戦将士の碑、陽林寺、陽泉寺、観音寺、
鹿島神社、成川薬師堂、日吉神社、下鳥渡供養塔

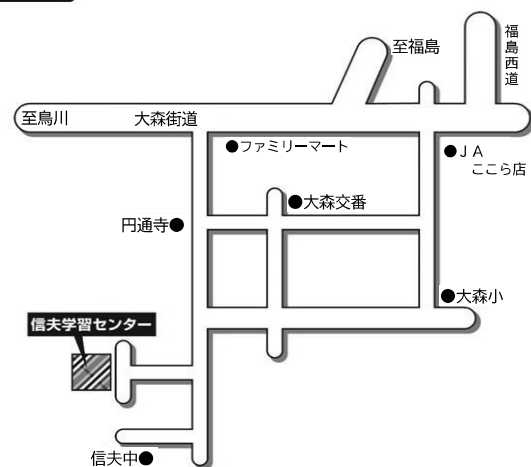
○学習センター施設概要

1階	事務室	53.75㎡	
	エントランスホール	129.06㎡	
	和室	88.0㎡	40人
	調理実習室	48.0㎡	25人
	ホール	198.0㎡	100人
	図書室	48.0㎡	蔵書11,112冊
2階	講義室	88.0㎡	40人

平面図



案内図



〈運営方針〉

- (1) 生涯学習活動の拠点施設として、団体・個人を問わず幅広い年代が学べる環境づくりと管理運営に努め、主体的な学習活動の充実と場の提供を図る。
- (2) 児童・生徒の自主的な学習・活動の場や地域の居場所として機能するよう、気兼ねなく使用できる環境構築と雰囲気づくりを推進する。(個人学習による施設使用の推進)
- (3) 団体・サークルの継続的な学習活動を支援するとともに、相互の協力による連携のとれた自主活動を推進する。
- (4) 地域の歴史的資産を十分に活用するとともに、技術や知見を有する地域人材・サークルを講師に招くなど、地域特性を活かした事業の実施に努める。
- (5) ライフステージに応じた興味・関心の芽生えや学習意欲の高揚につながる事業の実施に努める。
- (6) 学校と地域人材をコーディネートし、授業補助や体験学習の充実をサポートする。併せて、学校と地域の交流が図られるよう支援に努める。(地域学校協働本部事業の推進)

〈特色ある事業〉 しのぶジュニア茶道、信夫ジュニア将棋教室、実践スマホ講座、折り紙・大人の塗り絵くらぶ

〈主な事業〉

領域	事業名	対象	時期	回数	事業内容	
少年教育	わくわくクラブ	小学3～6年生	6月～2月	9	・様々なジャンルの体験活動と学校や学年をこえた交流	
	親子教室	小学1～4年生と保護者	6月～3月	9	・親子の体験活動(料理・運動・ものづくりなど)	
	しのぶジュニア茶道	小・中学生	6月～3月	9	・茶道の稽古を通じ美しい所作と礼法を学ぶ	
	信夫ジュニア将棋教室	小学2～6年生	6月～3月	10	・実践指導と対局を通じ礼儀と耐える力を養う	
	夏休み特別講座	小学生	7・8月	2～5	・学校では体験できない学習活動	
	夏休み学習支援	児童・生徒・学生	7・8月	随時	・自習や創作活動の場として施設の一部を開放	
成人教育	女性教育	しのぶ女性カレッジ	成人女性	5月～3月	17	・幅広い分野の学びと体験、教養を深め交流する(平日コース)
		しのぶ花咲レディース	成人女性	5月～3月	11	・幅広い分野の学びと体験、教養を深め交流する(休日コース)
		レディースジャンプ	成人女性	年間	1	・女性学級間で運営や学習課題のディスカッションと交流
	各種講座等	実践スマホ講座・基本編	一般市民	7月～2月	8	・日常生活に必要な操作方法と知識を反復学習で習得
		実践スマホ講座・中級編	一般市民	7月～2月	8	・各種アプリケーションの操作方法と知識を反復学習で習得
		スマートフォン利活用支援講座	一般市民	年間	2	・ピンポイントテーマで利活用法を学習
		折り紙・大人の塗り絵くらぶ	一般市民	4月～3月	40	・作品制作を通じ芸術的感性や集中力を育成、ワークショップ型
市民講座	一般市民	年間	随時	・一般教養、芸術、歴史などの学習		
市民学習プラン支援事業	一般市民	年間	随時	・地域団体等が企画する公共性の高い学習会等を支援		
高齢者教育	信夫いきいき倶楽部	高齢者	5月～12月	8	・ライフステージに応じた趣味、教養、健康などの学習	
家庭教育	すくすくセミナー	2～4歳児と保護者	5月～12月	4～6	・親子のふれあいを深めながら育児の学習	
芸術文化	信夫地区文化祭 史跡巡り	地区住民	秋季	1	・作品や学習成果の展示とイベント、地域内・世代間交流	
		一般市民	春季・秋季	2	・史跡、旧跡、文化財を巡るフィールドワーク	
レク・体育	囲碁・将棋大会	一般市民・小学生	3月	1	・団体戦、個人戦、クラス別対抗戦	
運住動民	明るい選挙推進運動	地区住民	年間	随時	・選挙前啓発、会議、研修	
	青少年健全育成活動	地区住民	年間	随時	・来館者への啓発	
地域学校協働	地域学校協働本部事業 ・学校支援活動 ・地域学校協働活動	鳥川小 大森小 小平小 平田小 信夫小	年間	随時	・学校の要望に沿った地域内ボランティアの発掘とコーディネート(授業支援・学校行事運営の支援等) ・学校がより幅広い層の地域住民や団体とのネットワークを形成し、双方向で関わり合う活動(地域課題解決学習・地域貢献活動) ・対象学校長との期首打合せと年間のふりかえり	

(15)- I 吾妻学習センター



所在地	〒960-8057 福島市笹木野字折杉41-1 TEL 526-3353 FAX 526-3352		
交通機関	福島交通バス 上姥堂線 「吾妻支所」 徒歩1分		
設置年月日	平成11年4月1日	建設年月日	平成11年2月26日
面積と構造	(建物)2,037.00㎡ (敷地)9,994.46㎡ (構造)RC一部2F		
人口 (R7.4.1現在)	(男)11,114人 (女)12,097人 (計)23,211人		世帯数 10,528世帯
地区面積	111.9km ²	学校数	(小)4 (中)2 (高)-
職員数	館長1名 職員2名 生涯学習指導員1名 技能職員1名 図書職員3名 その他3名 計11名		
委員 指導員数	運営審議会委員9名 青少年指導員1名 女性教育指導員1名		

〈地域の概要〉

吾妻地区は、福島市の西部に位置し、野田・庭坂・庭塚・水保の4地区からなり、地区面積は111.9km²で、福島市の面積の約15%を占めています。

磐梯朝日国立公園の一角をなす吾妻連峰に広がる森林地帯と、果樹栽培を中心とする田園地帯、市中心部に隣接する住宅地と工業団地で形成する市街地からなります。果樹を中心とする農業を主力産業としながら、市街地に立地する自動車等鑄造部品製造工場や、田園地帯に広がる西工業団地の企業群など、2次・3次産業も盛んです。

磐梯吾妻スカイラインの玄関口としても知られ、高湯街道やフルーツラインには、もも、ナシ、リンゴなどの観光果樹園が軒を並べています。また、福島市のナシの生産の基礎を築いた「萱場梨」や、日本三大「五葉松」のひとつに数えられる「吾妻五葉松」の歴史ある産地です。

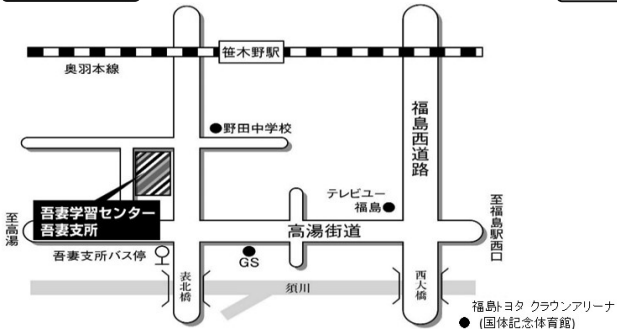
〈地域、施設の案内紹介〉

- 指定文化財
 - 国指定天然記念物…吾妻山ヤエハクサン シャクナゲ自生地
 - 市指定天然記念物…上野寺の大ハリギリ 土船の忍びの松 清水観音の大モミ

○学習センター施設概要

- 多目的ホール (600㎡)
 - ・バレーボール 1面
 - ・ミニバスケット 1面
 - ・バドミントン 2面
 - ・卓球台 4台
 - ・ステージ 舞台照明設備 放送設備
 - ・暗幕設備 ピアノ イス370脚
- 視聴覚室 (59㎡) 収容人員37人
 - ・液晶プロジェクター VTR OHC
 - ・16mm映写設備
 - ・ピアノ マイク設備
- 研修室 1 (62㎡) 収容人員40人
- 研修室 2 (76㎡) 収容人員50人
- 和室 1 (22㎡) 収容人員20人
 - ・12畳間 茶道用電熱器
- 和室 2 (32㎡) 収容人員30人
 - ・18畳間
- 実習室 (39㎡) 収容人員20人
 - ・調理台3台 電子オープンレンジ
- 工芸室 (57㎡) 収容人員25人
 - ・工芸台5台 七宝焼窯
- 図書室 (493㎡)
 - ・蔵書52,159冊
 - ・AV (ビデオ・CD等) コーナー
 - ・こどものへや やすらぎの間
- その他
 - ・エントランスホール 展望ロビー
 - ・展示ホール 情報コーナー
- 駐車可能台数 116台

案内図



平面図



(15)- II 吾妻学習センター分館



所在地	〒960-8076 福島市上野寺字下平場35-1 TEL 591-4571 着信591-4560 FAX 591-4597		
交通機関	福島交通バス 上姥堂線「吾妻学習センター分館前」 徒歩1分		
設置年月日	昭和31年9月30日	建設年月日	昭和54年4月1日
面積と構造	(建物)766.47㎡	(敷地)6,009.43㎡	(構造)RC2F
職員数	生涯学習指導員 1名 その他 2名 計 3名		

〈施設の案内紹介〉

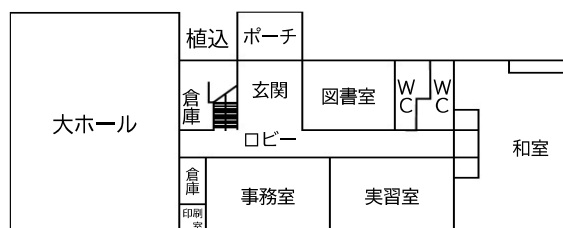
○学習センター分館施設概要

1階	和室	115.6㎡	80人
	実習室	52.3㎡	30人
	図書室	35.0㎡	蔵書 10,357冊
	大ホール	200.0㎡	120人
2階	研修室	52.3㎡	30人
	講義室	88.6㎡	60人

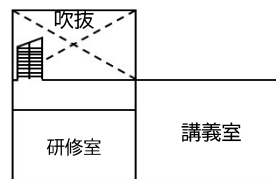
駐車可能台数 65台

平面図

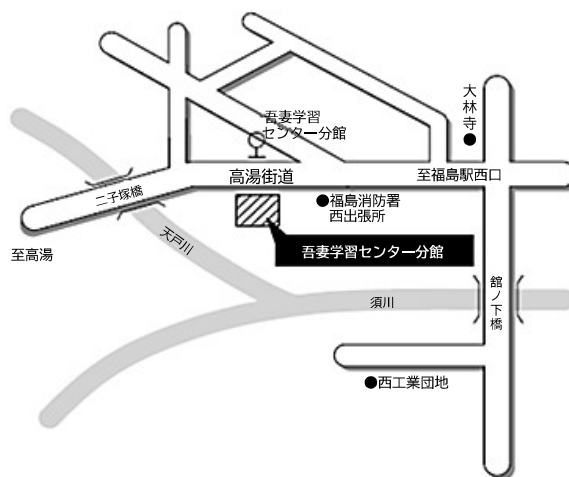
1階



2階



案内図



〈運営方針〉

- (1) 充実した生涯学習社会の構築を目指し、学習機会の拡充と学習環境整備に努める。
- (2) 地域文化復興意識の高揚を図り、地域に根ざした生涯学習活動の推進に努める。
- (3) 住民参加型の「協創と交流」を通じて地域づくりへの支援に努める。
- (4) 各種団体・サークル等の育成を図るとともに、団体相互の連携・交流の支援に努める。
- (5) ボランティアの意識醸成と活用を図るとともに、学習成果の地域還元に努める。

〈特色ある事業〉 高齢者教育（5学級）

〈主な事業〉

領域	事業名	対象	時期	回数	事業内容
教少 育年	スノーラビット	小学4～6年生	5月～3月	11	・体育レク、集団行動、奉仕活動
	あづまっ子書道会	小学3～6年生	5月～3月	24	・書道を通じて集中力や礼儀作法の育成
成人 教育	1UPカレッジ（三河台、吉井田、西、吾妻 4館合同事業）	青 年	6月～2月	8	・一般教養
	女性学級（2学級） レディースジャンプ	成人女性 〃	4月～3月 11月	23 1	・一般教養、健康、趣味、交歓等 ・2女性学級の合同学習・三河台、西学習センターとの合同開催
	常設市民学校 満月会 市民公開講座	一般市民 〃	5月～3月 〃	2 19	・一般教養、趣味、実技など全般 ・一般教養、生活、歴史等の学習
	ふるさと学びカレッジ 市民学習プラン支援事業 ICT活用講座	〃 〃 〃	〃 〃 〃	2 1 1	・趣味・教養等の講座 ・生涯学習推進員と連携し、自主学習を支援する ・高度情報化社会に対応できる成人の育成
高 齢 者 教 育	野田明大学級	高 齢 者	4月～3月	11	・一般教養、生活文化等の学習 ・地区内高齢者団体のリーダー養成
	庭坂寿大学	〃		10	
	庭塚大学	〃		12	
	水保長寿大学	〃		12	
	熟年パワースクール	〃	5月～3月	18	
教家 育庭	いちごクラブ	1～4歳児と保護者	5月～3月	11	・家庭におけるしつけや教育についての学習
芸 術 ・ 文 化	文化祭	地 区 住 民	10月	1	・作品展示・活動発表会 ・学習成果発表
	活動発表会	〃	〃	1	
体 育 ・ レ ク	ミニゴルフ大会	地 区 住 民	6月	1	・ミニゴルフ大会（地区対抗） ・ソフトボール、家庭バレーボール ・ランク別個人戦 ・地区対抗戦 ・夏休みの課題、メダカ飼育
	吾妻地区球技大会	〃	11月	1	
	囲碁大会	〃	1月	1	
	吾妻地区カローリング大会	〃	2月	1	
	吾妻サマースクール、めだかの学校	小 学 生	8月	1	
住 民 運 動	市民憲章運動の推進	地 区 住 民	4月～3月	常時	・常時啓発と推進
	明るい選挙啓発推進運動	〃	〃	〃	・ 〃
地 域 学 校 協 働	地域学校協働本部事業	野 田 小 庭 坂 小 庭 塚 小 水 保 中 野 野 中 吾 妻 中	年 間	随 時	・学校の要望に沿った地域内ボランティアの発掘とコーディネート（授業の補助・校舎内外の環境整備・登下校中の安全確保・学校行事運営の支援等） ・学校がより幅広い層の地域住民や団体とのネットワークを形成し、双方向で関わり合う活動（地域課題解決学習、地域貢献活動） ・対象学校長との打合せ（基本方針・要望）と年間のふりかえり（評価・反省）
	・学校支援活動 ・地域学校協働活動				

(16) 飯野学習センター



所在地	〒960-1301 福島市飯野町字後川10-2 TEL 562-3335 FAX 562-3686		
交通機関	福島交通バス「福島～飯野線」 医大立子山経由「飯野町」下車 徒歩1分		
設置年月日	昭和30年5月1日	建設年月日	令和5年3月31日
面積と構造	(建物)2,054.00㎡ (敷地)6,443.20㎡ (構造)RC3F		
人口 (R7.4.1現在)	(男)2,338人 (女)2,425人 (計)4,763人	世帯数	1,937世帯
地区面積	21.31km ²	学校数	(小)1 (中)1 (高)-
職員数	館長1名 職員2名 生涯学習指導員1名 技能職員1名 その他2名 計7名		
委員 指導員数	運営審議会委員9名 青少年指導員1名 女性教育指導員1名		

〈地域の概要〉

飯野地区は福島市の南東部に位置し、飯野、大久保、青木、明治の4地区からなり、地区の中心部を県道福島飯野線・川俣安達線が横断し南北には飯野三春石川線が縦断している。地区の北部を国道114号線が走っている。文化財として、東北地方南部では最大級の縄文集落跡の和台遺跡は、国指定となっている。

また、同じ縄文時代の白山遺跡では日本で始めて命名された複式炉がある。以前からUF0の里として地区のシンボルである千貫森や堰堤公園は景勝地として人々に親しまれ、緑豊かな自然と文化の調和がとれた地域である。そして近年は、11月に国内最大のUF0と宇宙人イベントであるUF0フェスティバルで市内外から多くの方が訪れて賑わっている。

〈地域、施設の案内紹介〉

○名所・旧跡 千貫森公園 (UF0ふれあい館)、堰堤公園、花やしき公園、和台遺跡

○学習センター施設概要

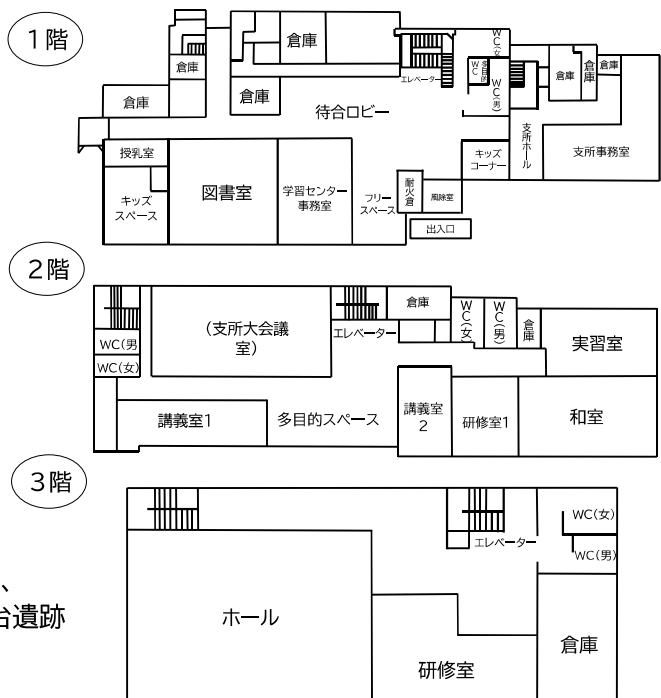
1階	図書室	111.6㎡	蔵書 10,000冊
2階	講義室 1	71.4㎡	29名
	講義室 2	45.0㎡	13名
	研修室 1	55.2㎡	16名
	和室	89.3㎡	50名
3階	実習室	59.1㎡	18名
	ホール	212.5㎡	150名
	研修室 2	69.6㎡	41名

駐車可能台数 80台 (支所と併用)

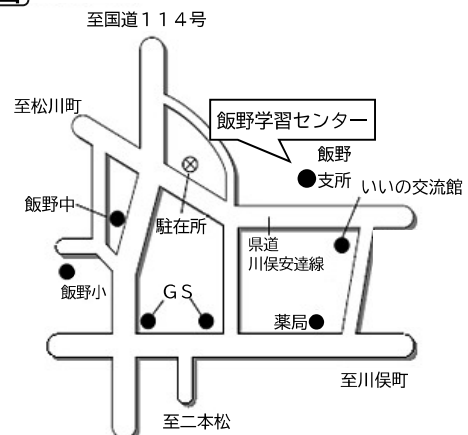
〔分館〕

飯野学習センター青木分館 飯野町青木字向広表50
 // 大久保分館 飯野町大久保字岩見内17
 // 明治分館 飯野町明治字北小戸明利30

平面図



案内図



〈運営方針〉

人生100年時代を見据え、ライフステージに応じた生涯学習の提供に努める。

(1) 社会の変化と多様なニーズに応える学級・講座の開催及び地域に根ざした生涯学習の推進。

(2) 地域の人材等を活かした市民協働による活動の推進及び地域性に合わせた学習の充実。

(3) 生涯学習活動団体の支援及び各種生涯学習情報の提供・相談。

(4) 文化・スポーツに関する学習機会の提供及び地域・社会教育関係団体との連携・支援。

(5) 地域の生涯学習施設として利用しやすい環境の整備。

(6) 地域全体で学校教育を支援する体制の推進。

〈特色ある事業〉 年中行事（ちまき作り、月見だんご作り、だんごさし）

〈主な事業〉

領域	事業名	対象	時期	回数	事業内容	
少年教育	いいのこどもクラブ	小学3～6年生	5月～3月	10	・スポーツや様々な体験学習を通して、協調性・社会性を育む ・夏休み期間中、夏休みの宿題や自由勉強を自主的に学習する場所を提供する	
	サマースクール	小学生・中学生	7月～8月	3		
成人教育	青年教育事業	18～35歳の男女	5月～3月	随時	・青年の交流、仲間づくり	
	教女育性	成人女性	5月～3月	11	・女性の資質を高める学習及び地域づくり	
	各種講座等	いいの日曜塾	一般市民	5月～1月	7	・平日学習できない人を対象とした教養・文化等の学習 ・話題性やニーズのあるテーマごとに数回継続した講座の実施 ・ICT機器を活用した学習 ・団塊世代を対象とした仲間づくりを支援する ・地区団体が主催する事業の実施を支援する ・健康をテーマにした講座の実施
		市民講座	〃	5月～3月	3	
		ICT活用推進事業	〃	〃	2	
		ふるさと学びカレッジ	団塊世代等	〃	1	
市民学習プラン支援事業	一般市民	4月～3月	1	・地区団体が主催する事業の実施を支援する		
健康講座	〃	5月～3月	4	・健康をテーマにした講座の実施		
教者高齢	ナイスいいの学級	65歳以上の高齢者	5月～3月	8	・高齢者のための生涯学習と生きがいづくり	
家庭教育	ユータンキッズ	未就学児と保護者	5月～1月	8	・未就学児を持つ親を対象とした家庭教育	
	子育てマルシェ	小学生までの子と保護者	5月～2月	4	・子育て中のすべての保護者を対象とした家庭教育	
芸術・文化	文化祭	一般市民	10月～11月	2	・利用団体及び地域住民の文化活動の成果発表、地域文化の向上、地域住民の交流を図る ・地区に伝わる年中行事の伝承	
	芸能祭	〃	11月	1		
	年中行事	〃	6月～1月	3		
体育・レク	登山教室	一般市民	5月～3月	1	・福島県内登山	
	スケート教室	小学生	2月	1	・スケートの基礎習得	
	健康ラジオ体操	一般市民	8月	3	・地区民の健康増進、世代間交流	
	シニア向け企画（ニュースポーツ）	高齢者	9月	1	・地区高齢者の健康増進、交流	
運住動民	明るい選挙啓発推進運動	一般市民	4月～3月	随時	・会議、啓発活動	
地域学校協働	地域学校協働本部事業	飯野小 飯野中	年間	随時	・学校の要望に沿った地域内ボランティアの発掘とコーディネート（授業の補助・校舎内外の環境整備・登下校中の安全確保・学校行事運営の支援等） ・学校がより幅広い層の地域住民や団体とのネットワークを形成し、双方向で関わり合う活動（地域課題解決学習、地域貢献活動） ・対象学校長との打合せ（基本方針・要望）と年間のふりかえり（評価・反省）	
	・学校支援活動 ・地域学校協働活動					

☆ 各学習センターの図書室

〈各施設の案内紹介〉

○休館日と開館時間

施設名	休館日	開館時間		
		月・水～土曜日	日曜日	休日
蓬萊学習センター図書室	・火曜日（火曜日が休日に当たるときは、直後の平日） ・国民の祝日 ・年末年始（12月29日～1月3日） ・毎月月末（館内整理日）※その日が上記に掲げる日、日曜日、土曜日、休日に当たるときはその前日） ・特別整理期間（教育委員会が別に定める日）	午前9時～午後5時45分	午前9時～午後5時	
清水学習センター図書室				
もちずり学習センター図書室				
北信学習センター図書室				
飯坂学習センター図書室				
吾妻学習センター図書室				
松川学習センター図書室				
その他の学習センター図書室	・火曜日（火曜日が休日に当たるときは、直後の平日） ・国民の祝日 ・年末年始（12月29日～1月3日）	午前9時～午後5時45分		
吾妻学習センター分館図書室				

○利用方法 図書貸出券による貸出

○貸出冊数と期間 1人10冊以内 2週間まで

〈主な事業〉

○定例事業の紹介

場所	事業名	期日	時間	対象	内容
蓬 萊	おひざにだっこのおはなし会	第4日曜日	午前10時30分～	3歳までの乳幼児と保護者	絵本の読み聞かせ・てあそび・わらべうたなどを行う。
	おはなしのくれよん	第2土曜日	午前10時30分～	4歳～小学生	絵本の紹介・読み聞かせなどを行う。
清 水	おひざにだっこのおはなし会	第3木曜日	午前10時30分～	3歳までの乳幼児と保護者	絵本の読み聞かせ・てあそび・わらべうたなどを行う。
	おはなしポケット	第3土曜日	午後2時～	4歳～小学生	絵本の紹介・読み聞かせなどを行う。
もちずり	おひざにだっこのおはなし会	第1水曜日	午前10時～	3歳までの乳幼児と保護者	絵本の読み聞かせ・てあそび・わらべうたなどを行う。
	おはなしバスケット	第4土曜日	午後2時～	4歳～小学生	絵本の読み聞かせ・紙芝居などを行う。
北 信	おひざにだっこのおはなし会	第1水曜日	午前10時30分～	3歳までの乳幼児と保護者	絵本の読み聞かせ・てあそび・わらべうたなどを行う。
	おはなしのとびら	第2土曜日	午後2時～	4歳～小学生	絵本の紹介・読み聞かせなどを行う。
飯 坂	おひざにだっこのおはなし会	第2木曜日	午前10時30分～	3歳までの乳幼児と保護者	絵本の読み聞かせ・てあそび・わらべうたなどを行う。
	おはなしひろば	第1土曜日	午前11時～	4歳～小学生	絵本の読み聞かせ・本の紹介などを行う。
吾 妻	おひざにだっこのおはなし会	第4木曜日	午前10時30分～	3歳までの乳幼児と保護者	絵本の読み聞かせ・てあそび・わらべうたなどを行う。
	おはなしのじ	第3土曜日	午前10時30分～	4歳～小学生	絵本の紹介・読み聞かせなどを行う。
松 川	おひざにだっこのおはなし会	第1木曜日	午前10時30分～	3歳までの乳幼児と保護者	絵本の読み聞かせ・てあそび・わらべうたなどを行う。
	おはなしロケット	第1土曜日	午前10時30分～	4歳～小学生	絵本の読み聞かせ・本の紹介などを行う。

○その他の事業

- 対面朗読 : 目の不自由な方のための朗読会を実施している。
- 特別事業 : 随時、各施設ごとにテーマを設定し実施している。
- 本の展示 : 随時、各施設ごとにテーマに合わせて実施している。
- 障がい者サービス : 大型活字本・朗読テープ・手でさわる絵本を揃えている。